

放課後の子どもたちアンケート報告



平成30年12月

第24回いるま生涯学習フェスティバル 放課後の子どもたちアンケートプロジェクト

「放課後の子どもたちアンケート」パート2調査実施について

◎いるま生涯学習フェスティバルについて

入間市では、市民の様々な生涯学習活動を推進し、その学習成果を「まちづくり」に生かしていくため、平成7年より毎年「いるま生涯学習フェスティバル」を開催しています。開催は24回目となり、地域課題の解決を目指すなどの取り組みも行っています。

◎「地域の中で育つ子どもたちを考える」

平成18年（12年前）のフェスティバルでは、子どもに関わる行政・市民団体・有志のネットワーク「いるま子育てしやすいまちづくり連絡会」を中心に「地域と子ども部会」を形成し、地域の中の子どもたちの遊びについて考えるため、放課後の子どもたちアンケートを実施しました。

「大人たちは「最近の子どもは…」という言葉で始めて「〇〇しなくなった」「〇〇の力が落ちている」「〇〇ばかりしている」など、「子どもたちに問題あり」という切り口で話をする人が多いようです。本当にそうなのでしょうか？もしそうだとすれば、それは一体なぜでしょうか？入間市に住む子どもたちについて考えるとき、その結論を出すのに十分な情報を我々大人は本当に持っているのでしょうか？」

12年前にそんな思いで実施したアンケート調査にふたたび取り組むことにしました。

放課後の子どもたちアンケートプロジェクトチームでは、このアンケートの結果を元に、一人ひとりの大人が子どもの遊びや育つ環境について考えるきっかけにして欲しいと思っています。そしてデータから見える課題とその解決方法を、市民と市民団体、そして行政が協働し子どもたちがそれぞれの「こどもの時間」を十分に過ごし、幸せに育っていける入間市にしていきたいと考えています。

目次

1.	目的	……	3
2.	方法	……	3
	① 調査地域		
	② 対象者		
	③ 抽出方法		
	④ 収集方法		
	⑤ 調査期間		
	⑥ 実施主体		
3.	アンケート内容	……	4
4.	アンケート協力者	……	5
5.	基本属性	……	5
	① 乳幼児学年別割合		
	② 幼児学年別割合		
	③ 小学生学年別割合		
	④ 中学生性別		
	⑤ 居住地区		
	⑥ 住居の形体		
6.	放課後の生活	……	8
	① 帰宅時間		
	② 遊ぶ相手		
	③ よく遊ぶ場所		
	④ 遊びの種類		
	⑤ 遊びから帰る時間（きっかけ）		
	⑥ あったらいいと思う遊び場（理想の遊び場）		
	⑦ 部活動（中学生のみ）		
	⑧ 塾（中学生のみ）		
	⑨ 習い事		
	⑩ テレビ・ビデオ（DVD）を見る時間		
	⑪ ゲーム（TV・携帯・PC）をする時間		
	⑫ メールの利用（中学生）		
	⑬ 夕食を食べる相手		
7.	自由意見（幼児～小学校低学年を持つ親・ アンケートの有効性についても含む）	……	39
8.	まとめ	……	50
9.	各参加団体より感想・意見	……	51
10.	第24回いるま生涯学習フェスティバル当日配布資料	……	巻末

調査概要

1. 目的

入間市に住む子どもたち（対象：0～15才）の放課後の様子を明らかにし、12年前とも比較する。アンケート結果をもとに、各団体及び行政が今後どのような取り組みが出来るかを考えていく。

2. 方法

①調査地域： 入間市全域

	アンケート対象者数（ ）内は配布枚数に対する回収率
乳幼児の保護者	386
保育所・保育園児の保護者	358
幼稚園児の保護者	300
小学校低学年（1，2年生）とその保護者	342
小学校中学年（3，4年生）	427
小学校高学年（6年生）※1	387
中学生	367
合計	2567（人）（回収率約80%）

②対象者： 下記参照

③抽出方法： 市内の子育て支援センター6カ所を新たに取り組みほか、
12年前に依頼した幼稚園・保育所・園を抽出し、
各学年から1クラスずつ
小学校は地区ごとに低・中・高学年から1クラスずつ
中学校は全11校から1クラスずつ

※ただし、小学5年生と中学2年生は市で行う別のアンケートのため、対象から外す

④収集方法： ①各施設に持参して依頼・回収

②教育委員会から各学校に配布・回収

⑤調査期間： 平成30年10月17日～10月31日

⑥実施主体： 第24回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会

放課後の子どもたちアンケートプロジェクトチーム

〔アドバイザー〕： 駿河台大学 経済学部教授 南林さえ子

放課後の子どもたちアンケートプロジェクト参加団体

NPO法人子育て広場あいくる、NPO法人あそびあーと、入間市社会教育課、いるま子育て情報発信隊、入間遊び場づくり協会、あんず幼稚園

3. アンケート内容

(○は実施・ーは対象外)

	乳幼児	保育所・ 保育園児	幼稚園児	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学生
学年	○	○	○	○	○	○	○
居住地区	○	○	○	○	○	○	○
住居の形体	○	○	○	○	○	○	○
子育て情報の入手場所	○	-	-	-	-	-	-
学童保育の利用	-	-	-	○	○	○	-
放課後こども教室の利用	-	-	-	○	○	○	-
帰宅時間	-	○	○	○	○	○	-
遊び相手	-	○	○	○	○	○	○
遊び場所	○	○	○	○	○	○	○
遊びの種類	-	○	○	○	○	○	○
帰宅のきっかけ	-	○	○	○	○	○	
理想の遊び場	○	○	○	○	○	○	○
部活動への参加	-	-	-	-	-	-	○
部活動の活動回数	-	-	-	-	-	-	○
塾通いの有無	-	-	-	-	-	-	○
塾に通う日数	-	-	-	-	-	-	○
習い事の有無	-	○	○	○	○	○	○
習い事の回数	-	○	○	○	○	○	○
習い事の種類	-	○	○	○	○	○	○
テレビ・ビデオの 視聴時間		○	○	○	○	○	○
ゲームで遊ぶ時間		○	○	○	○	○	○
スマホの所持		-	-	○	○	○	○
スマホの利用/利用時間	○	○	○	○	○	○	○
SNS の利用	-	-	-	○	○	○	○
スマホを見せる機会	○	○	-	-	-	-	-
スマホで見せるもの	○	○	-	-	-	-	-
絵本の読み聞かせ	○	-	-	-	-	-	-
夕食の相手	○	○	○	○	○	○	○
夕食の時間	○	○	○	○	○	○	○
自由意見	○	○	○	○	-	-	-

4. アンケートの協力者(地区別)

単位:(人)

	豊岡	東金子	金子	藤沢	宮寺・ 二本木	西武	市外他	合計
乳幼児の保護者	255	28	14	48	23	18	—	386
保育所・園児の保護者	157	13	19	74	38	48	9	358
幼稚園児の保護者	119	27	6	99	10	26	13	300
小学校低学年	83	63	59	56	30	51	—	342
小学校中学年	79	45	81	89	65	68	—	427
小学校高学年	66	54	65	68	78	56	—	387
中学生	128	33	26	69	39	72	—	367
合計	887	263	270	503	283	339	22	2567

5. 基本属性

①【乳幼児・学年別】

単位:(人)

	保育所・園	支援センター	合計
0歳児	0	72	72
1歳児	40	96	136
2歳児	82	96	178
合計	122	264	386

②【幼児・学年別】

単位:(人)

	保育所・園	幼稚園
年少児(3歳児)	111	90
年中児(4歳児)	123	109
年長児(5歳児)	124	101
合計	358	300

③【小学生・学年別】

単位:(人)

	奇数学年	偶数学年	合計
小学校低学年	188	154	342
小学校中学年	223	204	427
小学校高学年	0	387	387

④【中学生・学年別】

単位:(人)

	1年	3年	合計
中学生	172	195	367

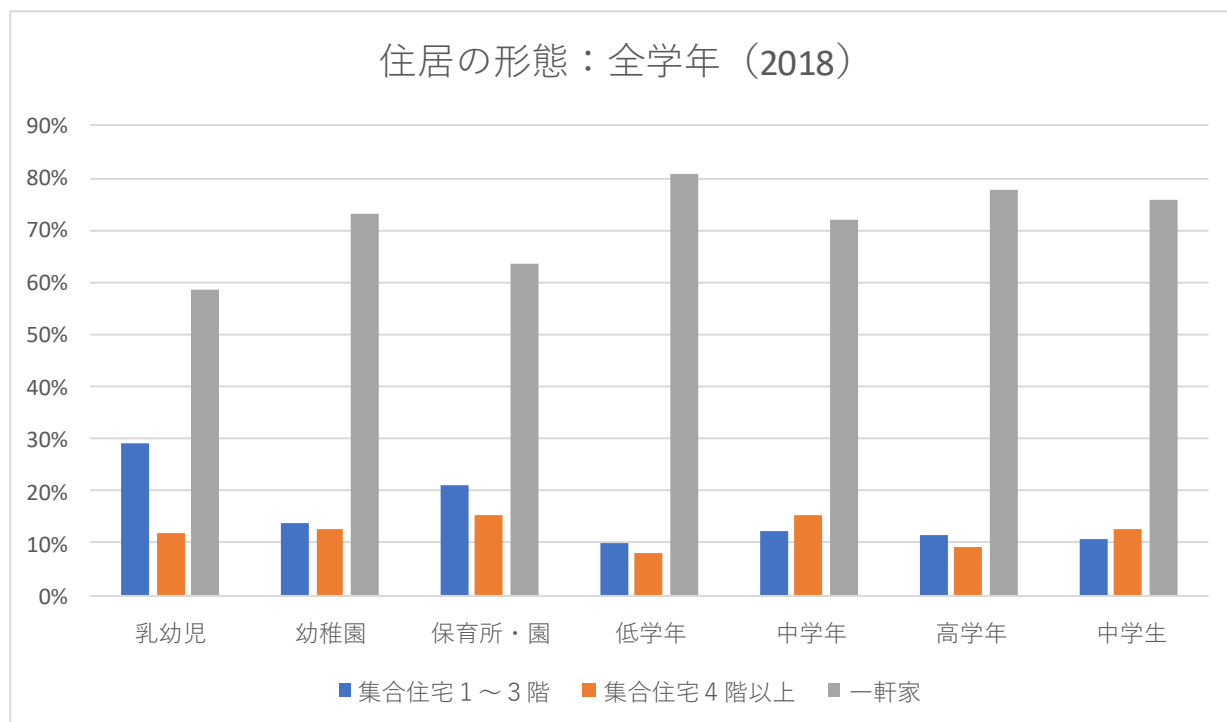
⑤【住居の形態】

2018年

単位：(%) (数値は小数点以下四捨五入)

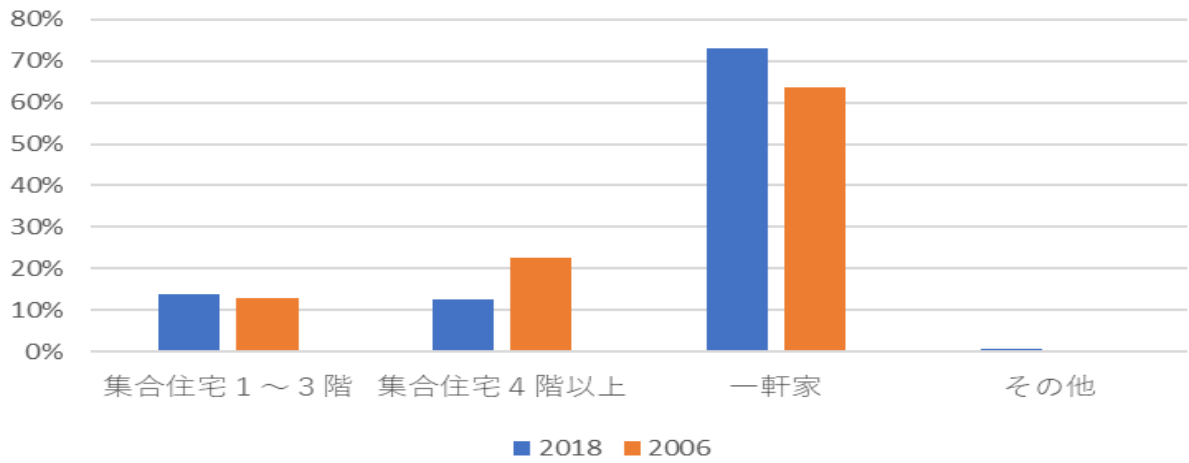
下段は2006年

	乳幼児	保育所・園	幼稚園	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学生
集合住宅1～3階 (2006年)	29% (-)	21% (15%)	14% (13%)	10% (12%)	12% (13%)	11% (16%)	11% (10%)
集合住宅4階以上 (2006年)	12% (-)	15% (20%)	13% (23%)	8% (12%)	15% (19%)	9% (12%)	13% (23%)
一戸建て	59% (-)	64% (63%)	64% (64%)	81% (75%)	72% (67%)	78% (71%)	76% (65%)
その他	0% (1%)	1% (0%)	0% (1%)	0% (0%)	0% (1%)	1% (0%)	1% (1%)

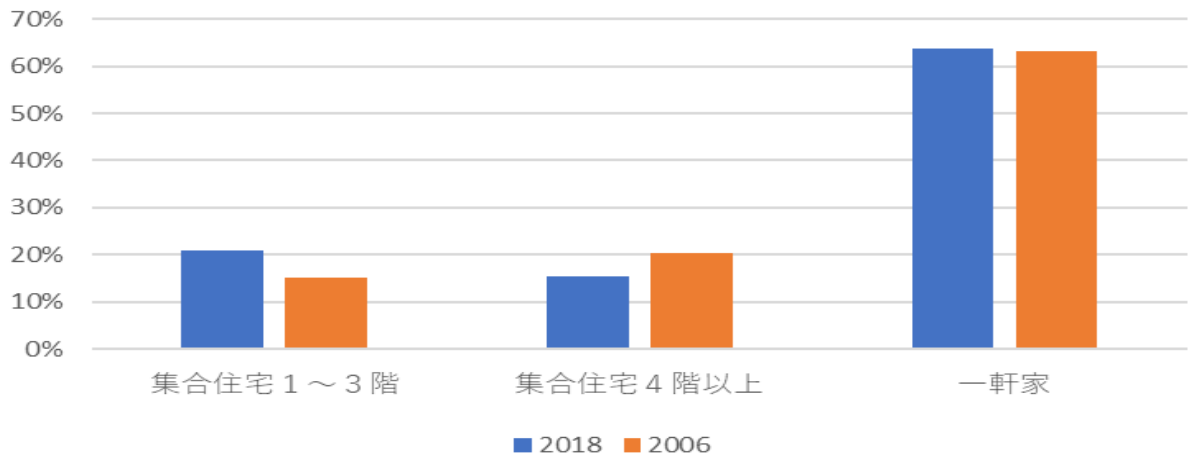


* ※2006年との比較では、全学年で戸建て率が上がっています。小学校低学年で戸建ての割合が高まります。入学に合わせて住宅を購入する傾向があることが考えられます。

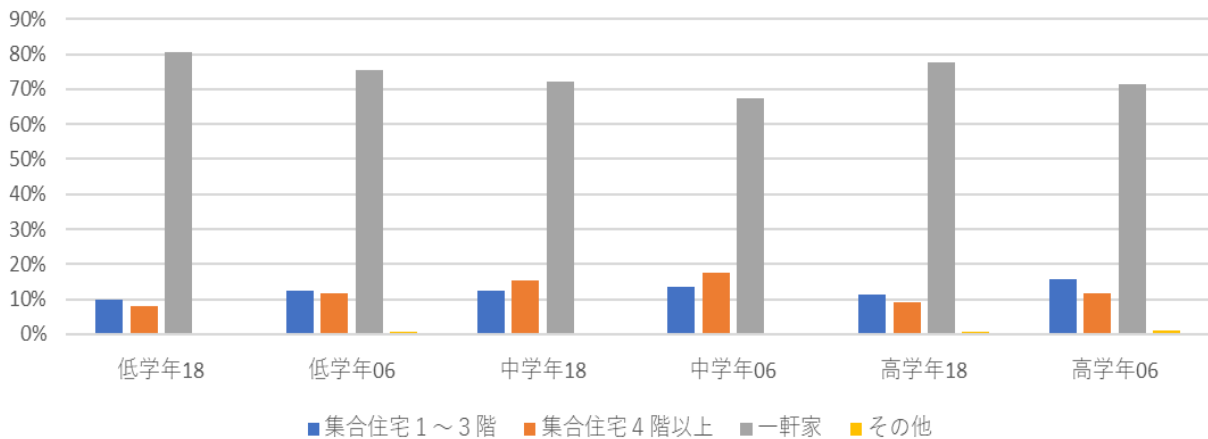
住居の形態比較：幼稚園



住居の形態比較：保育所・保育園



住居の形態比較：小学生

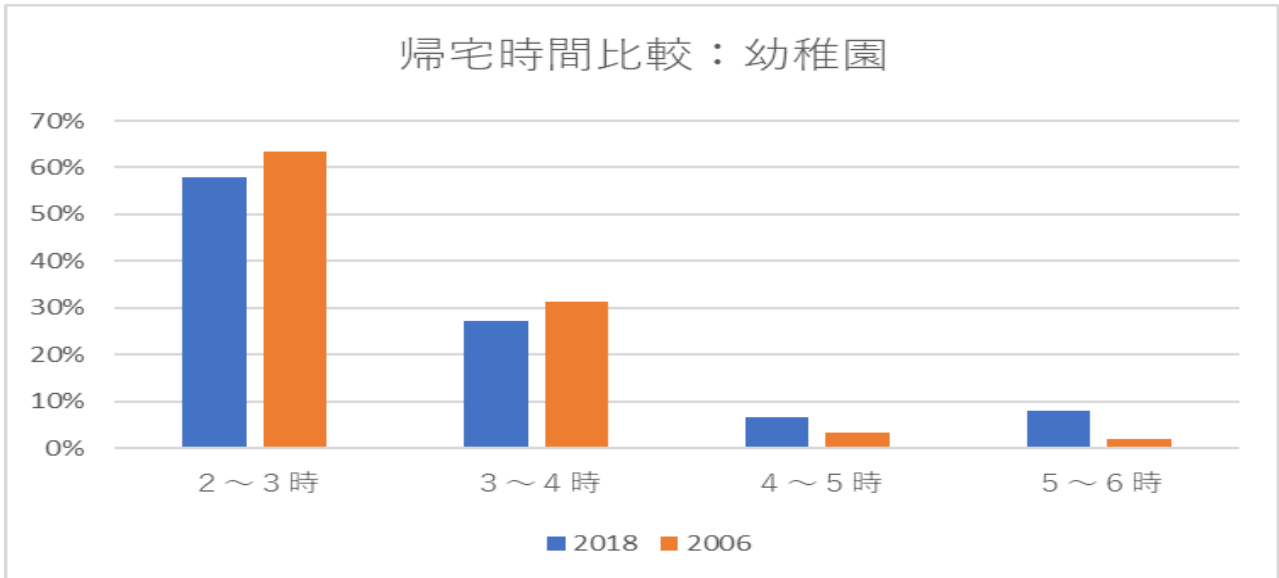


6. 放課後の生活

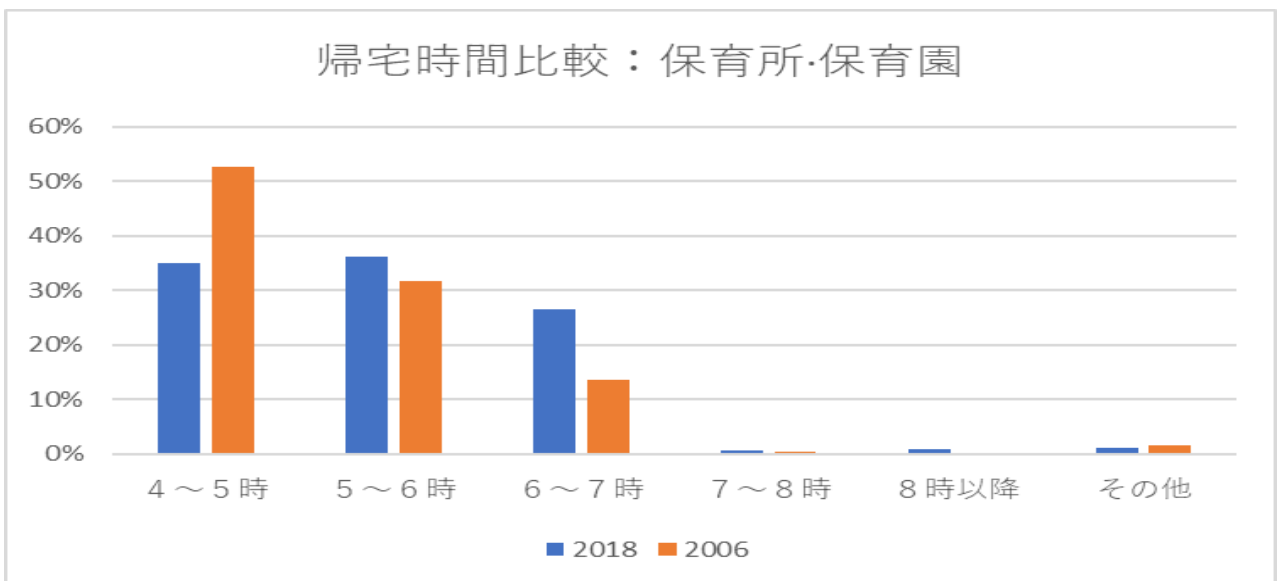
① 帰宅時間

【幼稚園児の帰宅時間比較】（グラフ1）

『保育所・保育園、幼稚園から家に帰るのは何時ごろですか』



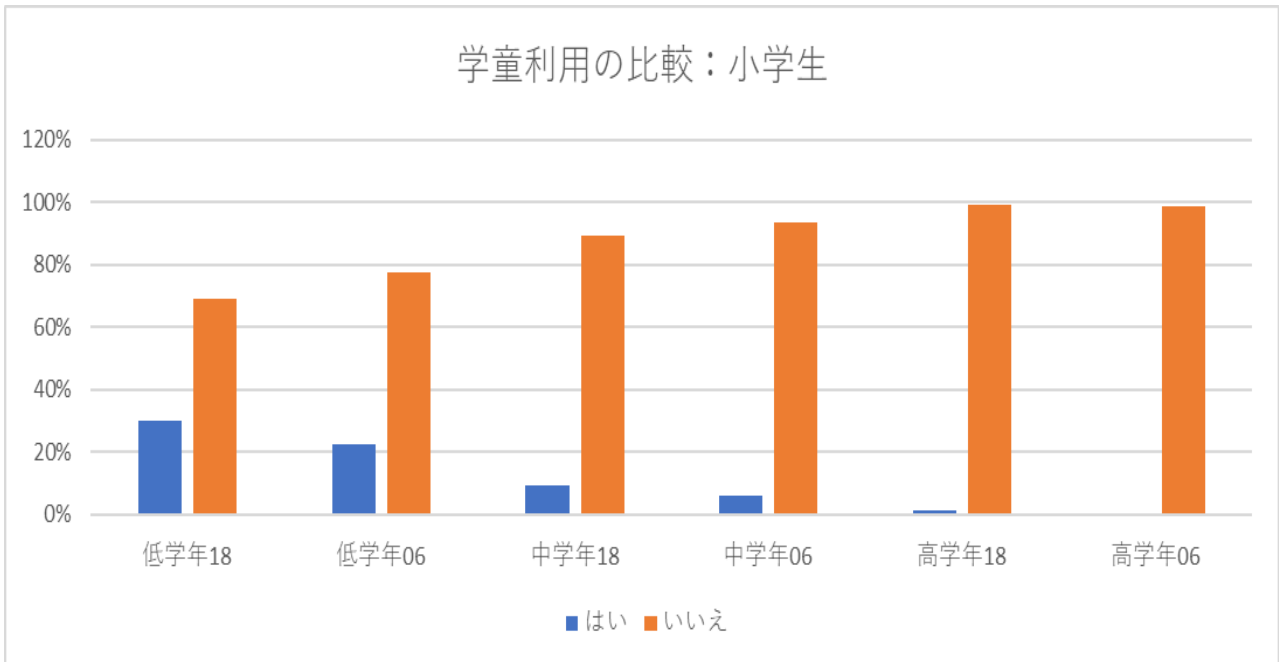
【保育所・保育園児の帰宅時間比較】（グラフ2）



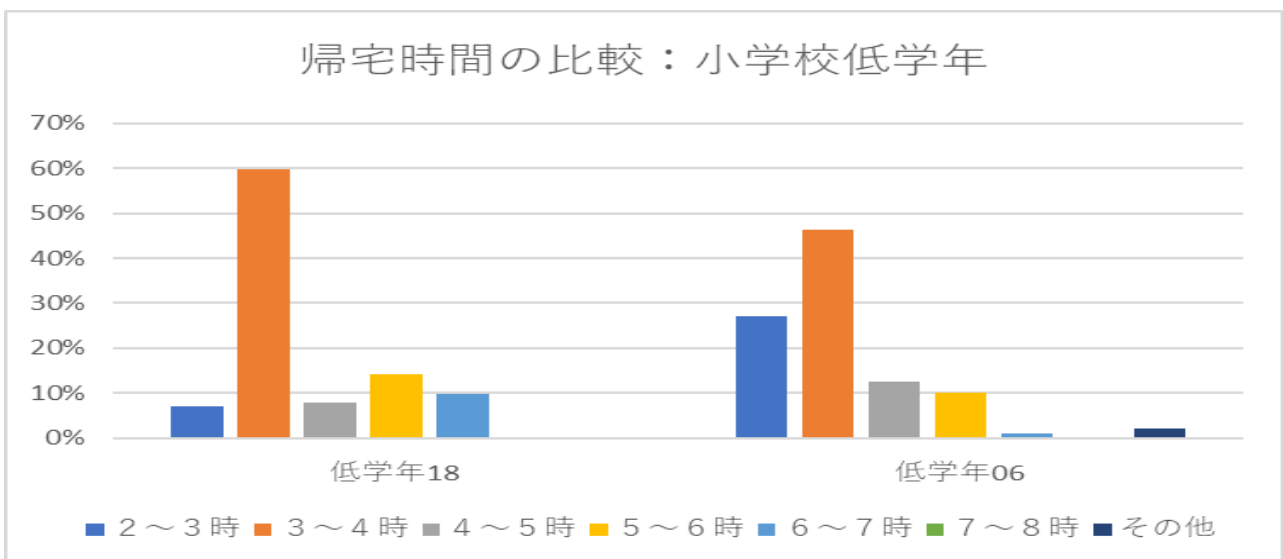
※ 2006年に比べ、全体として帰宅時間が遅くなっています。幼稚園に通う子どもでは、12年前は2～3時に帰宅する子が60%を3～4時の子が30%をそれぞれ超えていましたが、今回は両方の数字が減少しています。保育所・保育園に通う子どもでは、12年と比べ4～5時に帰宅する子が減り、5～6時と6～7時に帰宅する子が増えています。

【小学生の帰宅時間比較】（グラフ3）

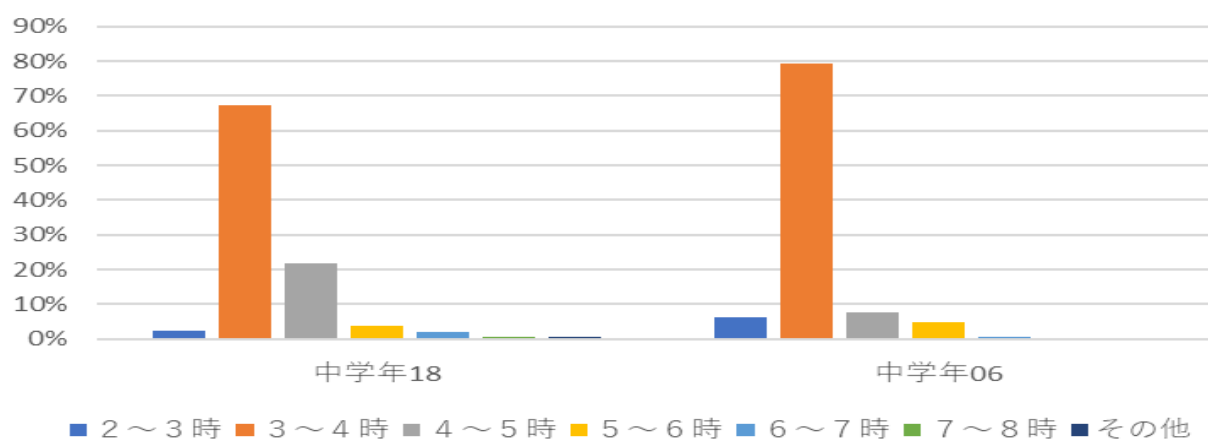
『学童に通っていますか？』



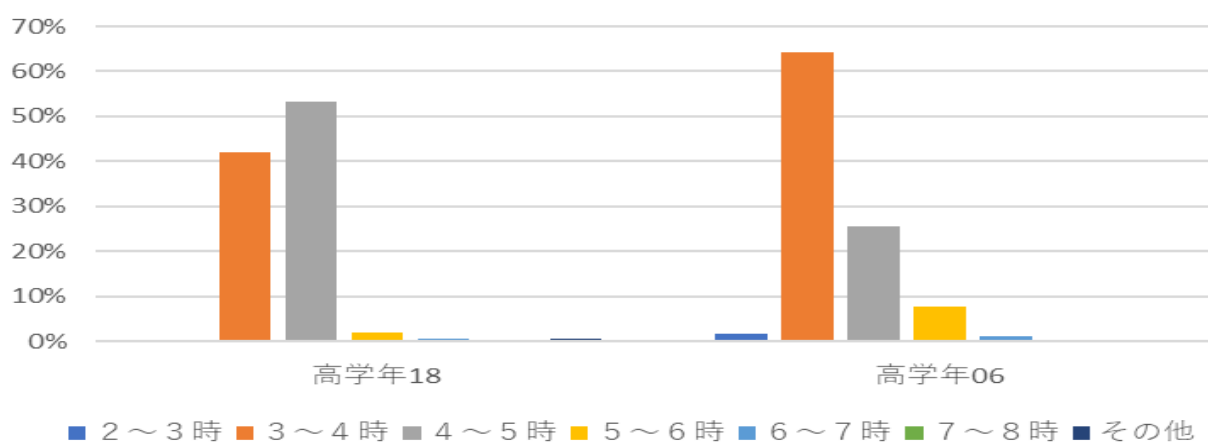
『学校から家に帰るのは何時ごろですか』（グラフ4）



帰宅時間の比較：小学校中学年



帰宅時間の比較：小学校高学年

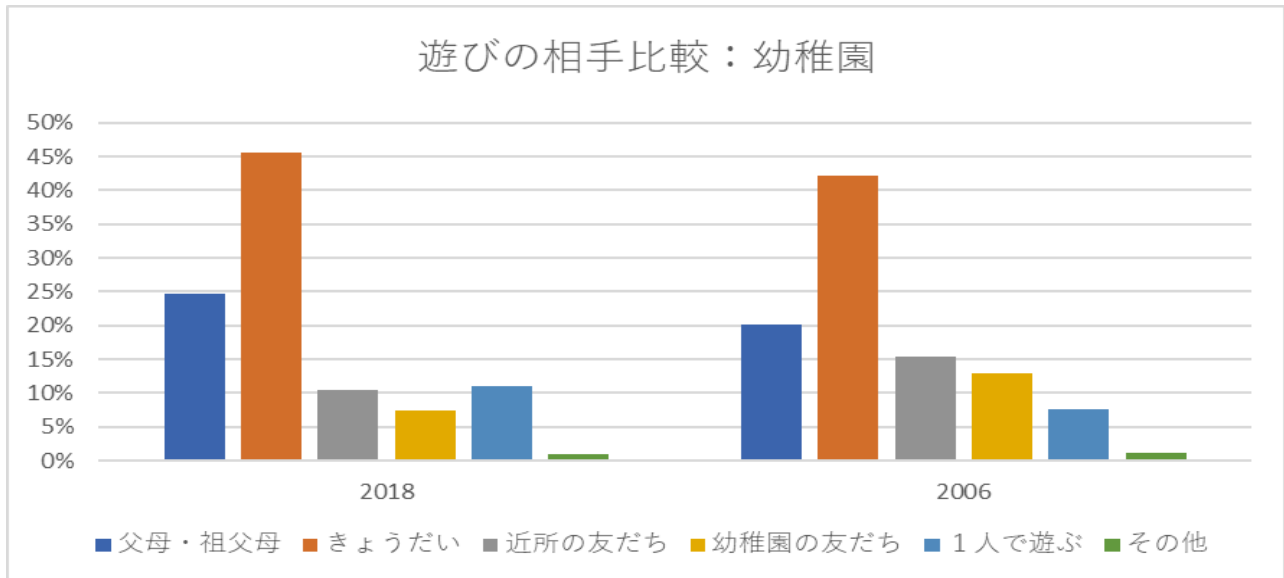


※ 2006年と比較して、全学年で遅くなっている。低学年では2～3時に帰る子が減り、3～4時に帰る子が増えている。4～5時は減っていて、5～6時、6～7時は増えている。学童の利用増と関係があると考えられる。
 中学年では、3～4時に帰る子が減り、4～5時に帰る子が増えている。
 高学年では3～4時に帰る子が大幅に減り、4～5時に帰る子が倍増している。午後の授業時間の増加が原因と考えられる。

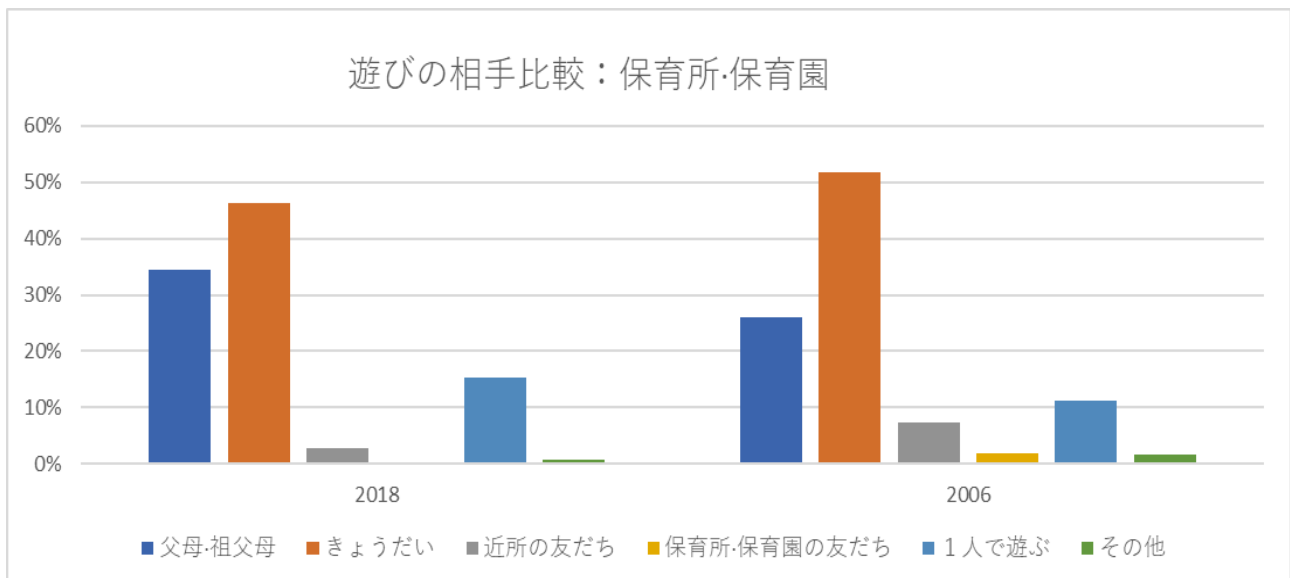
【放課後の遊びについて】

② 遊び相手

『よく遊ぶ相手はだれですか』（グラフ5）：幼稚園児

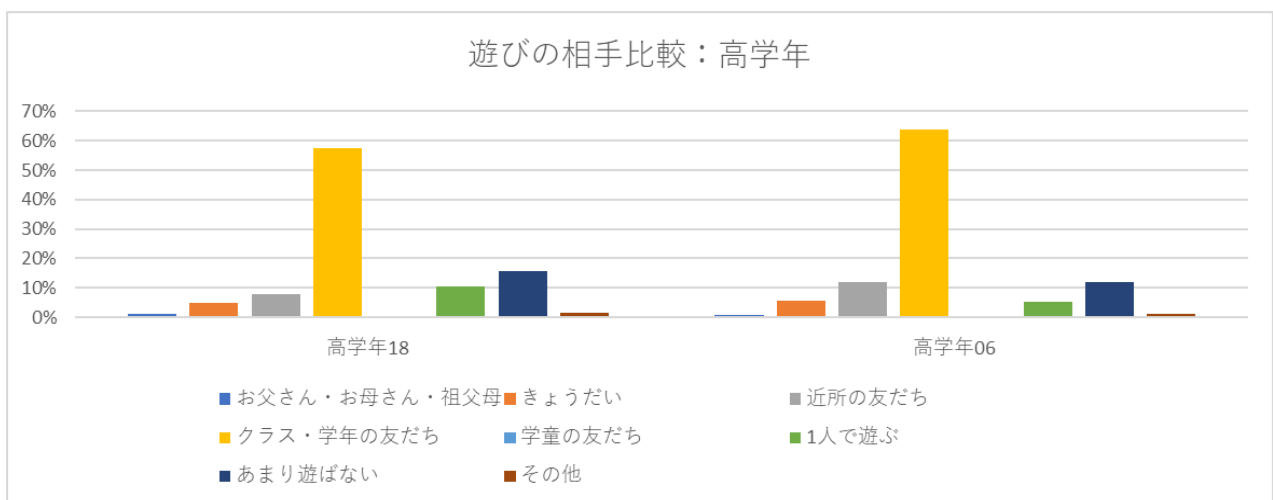
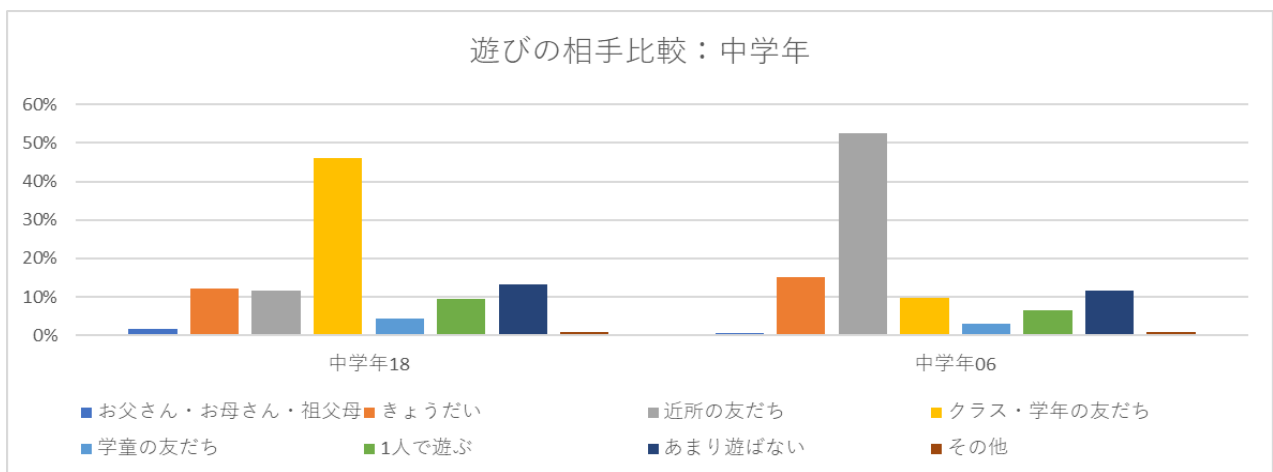
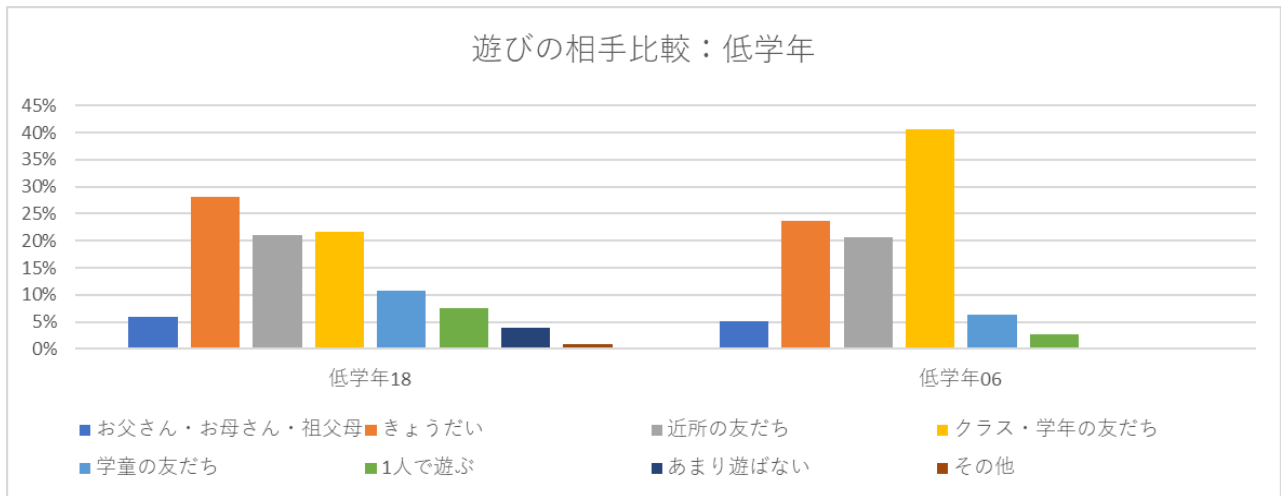


『よく遊ぶ相手はだれですか』（グラフ6）：保育所・保育園児



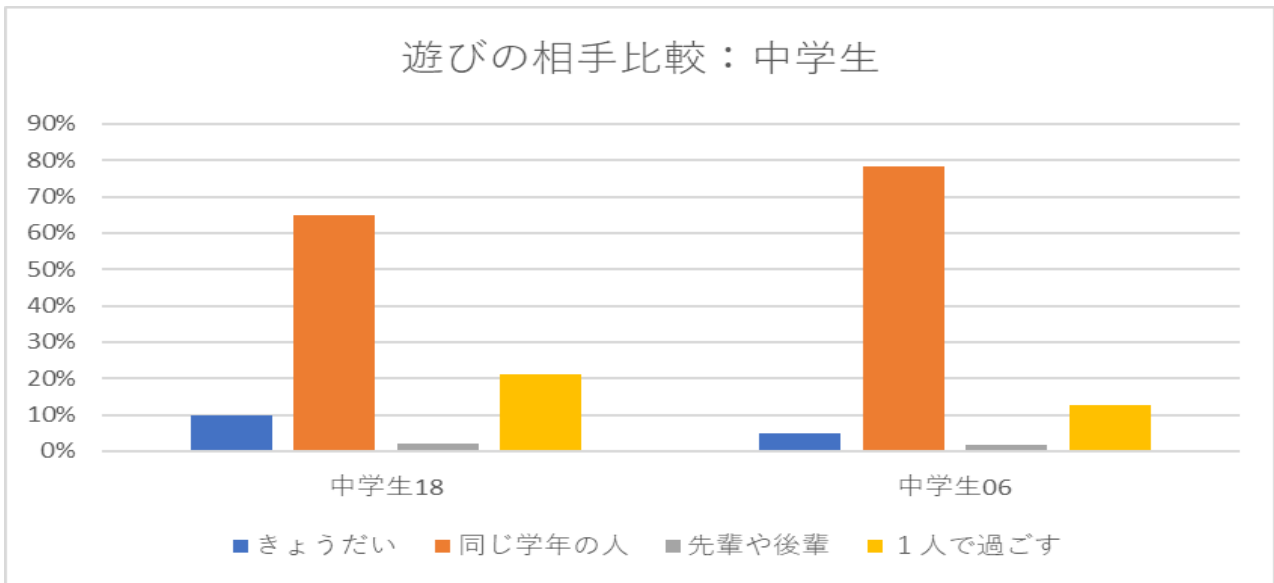
※ 幼児では、兄弟・姉妹と遊ぶ割合がもっとも高く、次に多いのが父・母・祖父母で、同年代の友だちと遊ぶことより多くなっています。この傾向は2006年と同様です。幼稚園に通う子では近所の友だちや幼稚園の友だちと遊ぶ子が減っています。幼児全体の傾向として1人で遊ぶ子が増えています。

『よく遊ぶ相手はだれですか』（グラフ7）：小学生



※ 低学年ではクラスの友だちと遊ぶ子が、中学年では近所の友だち（異学年）と遊ぶ子が減っています。高学年ではクラスの友だちと最もよく遊ぶ傾向は変わっていませんが、1人で遊ぶ子、あまり遊ばない子が増えていることが気になります。

『よく遊ぶ相手はだれですか』（グラフ8）：中学生

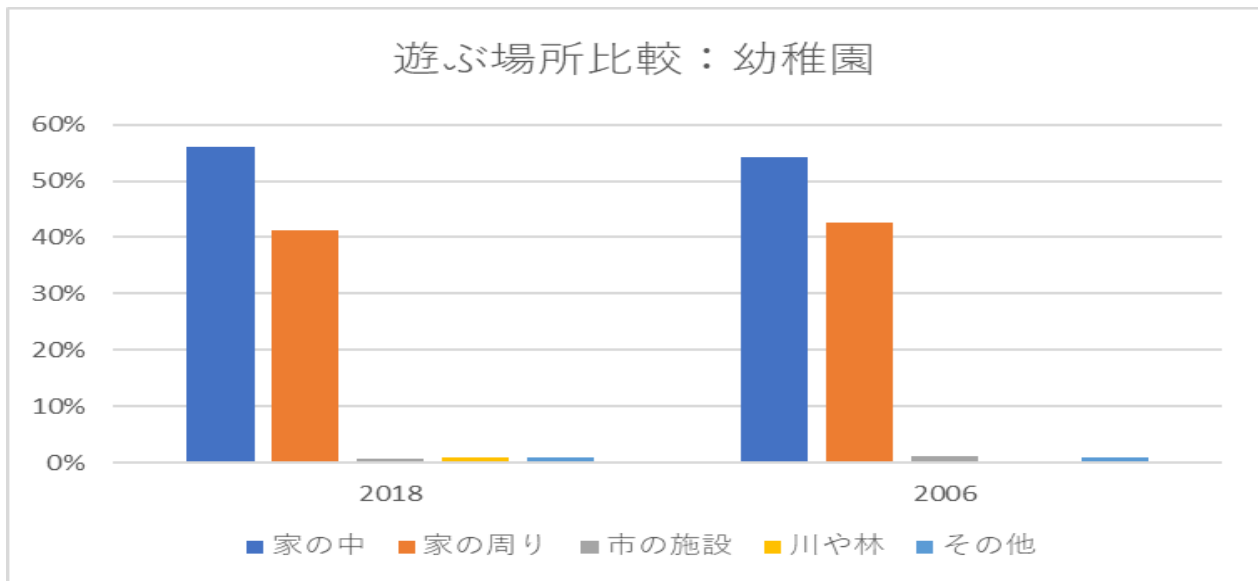


※中学生では同じ学年の友だちと遊ぶ人が2006年と同様に一番多いものの減っている。1人で過ごす人が増えています。SNSの利用と関係があるかもしれません。

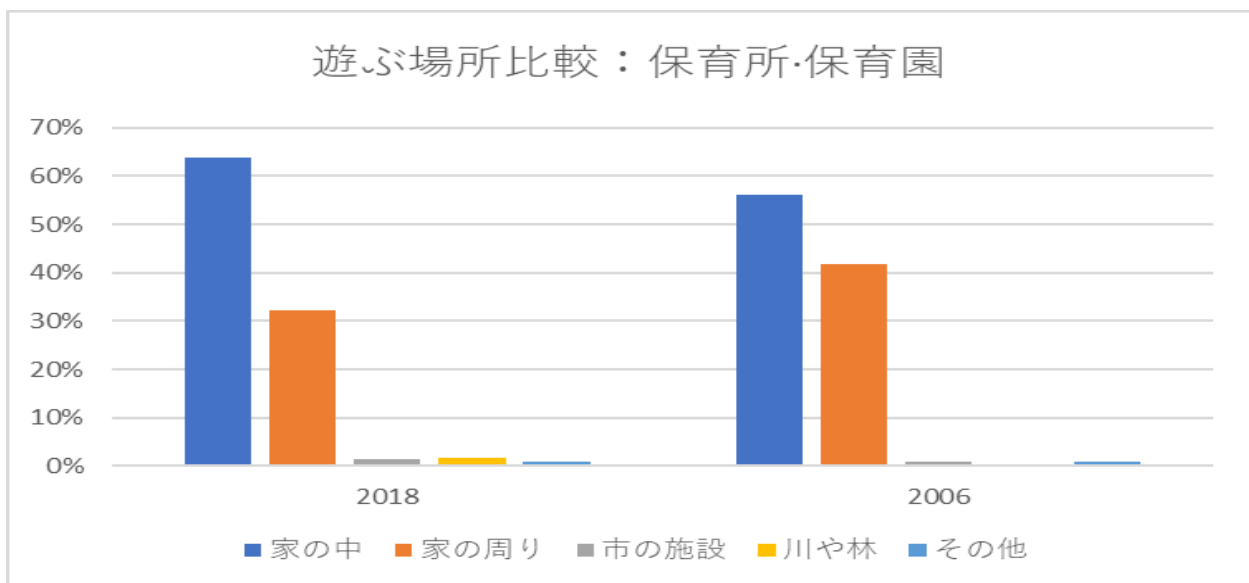


遊ぶ場所

『よく遊ぶ場所はどこですか』（グラフ9）幼稚園児

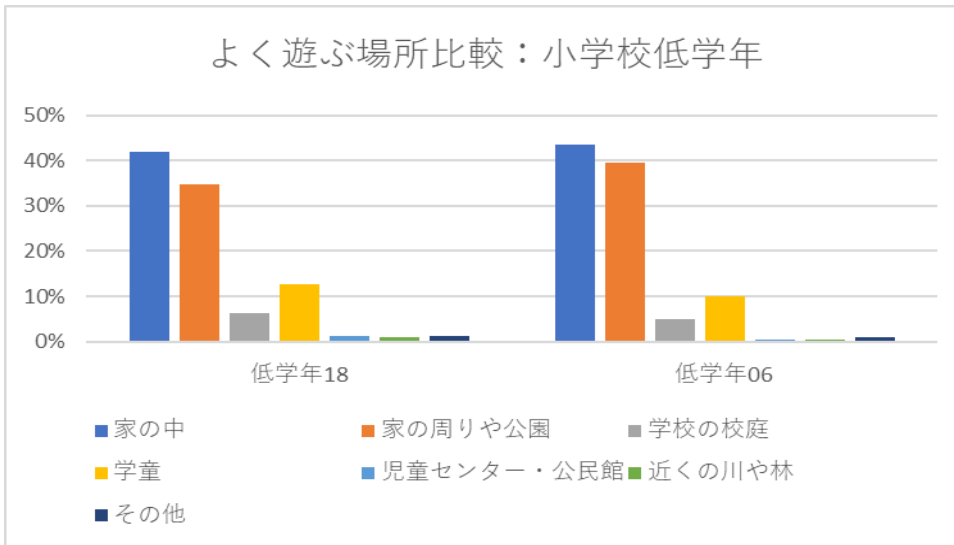


『よく遊ぶ場所はどこですか』（グラフ10）保育所・保育園児

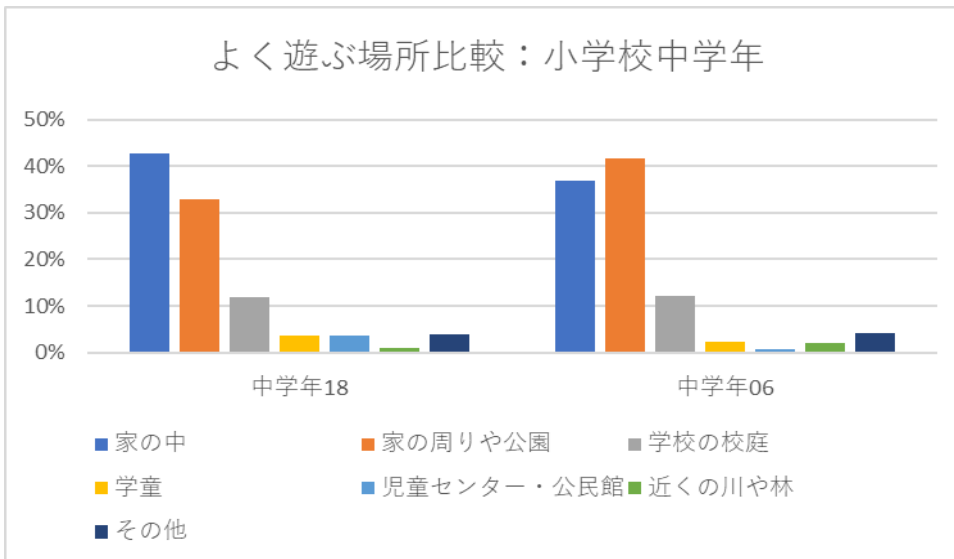


※ 幼児全体として家の中で遊ぶことが一番多くなっています。次に多いのは、「家の周りや近くの公園」です。家の周りで遊ぶ子がやや減っています。

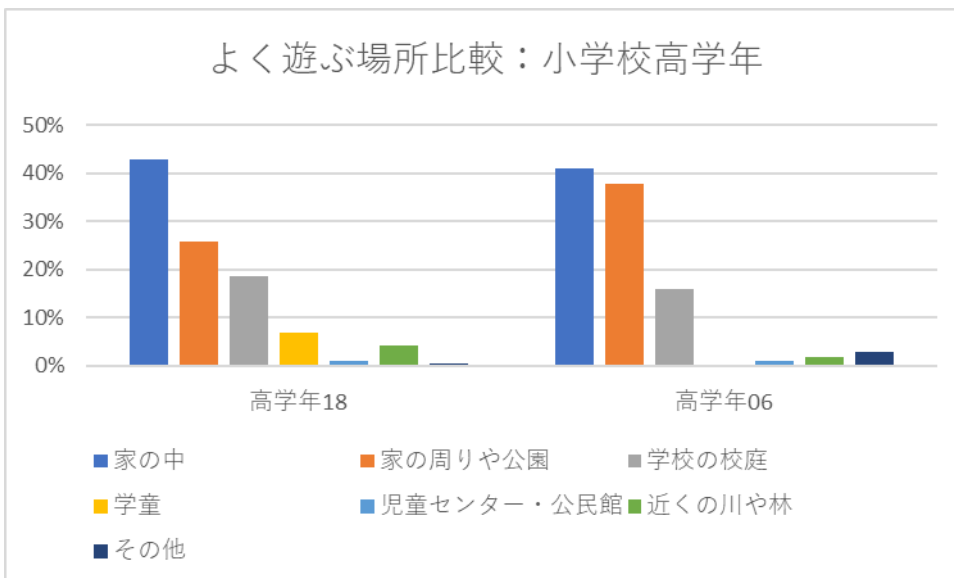
『よく遊ぶ場所はどこですか』（グラフ11）小学生



2006年との比較で、低学年では家の中や近所の公園で遊ぶ子がやや減って、学童で遊ぶ子が増えました。

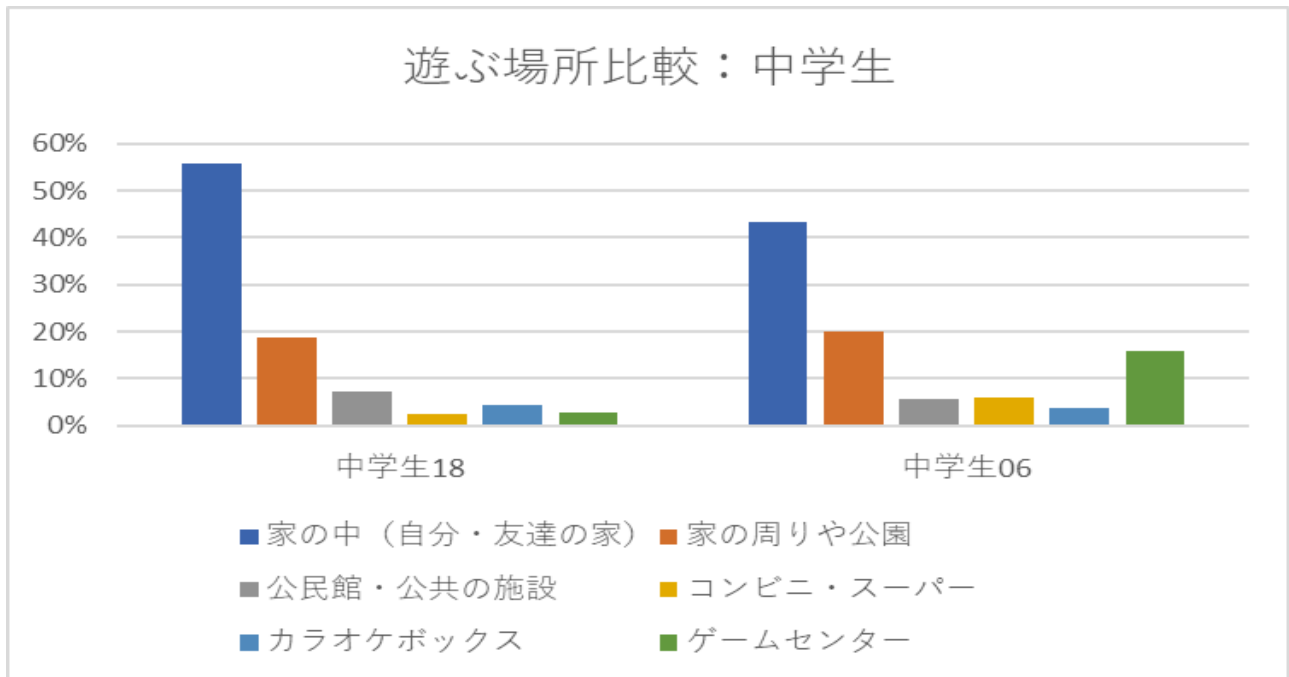


中学年では家の中で遊ぶ子が増えて、家の周りや公園で遊ぶ子と逆転しています。公共の施設（児童センターや公民館）で遊ぶ子が微増しています。



高学年でも、中学年と同様に家の中で遊ぶ子がやや増えて、家の周りや公園で遊ぶ子は減りました。校庭で遊ぶ子は少し増えて、学童で遊ぶ子が現れたのは、学童保育の対象年齢が変更になったためです。

『よく遊ぶ場所はどこですか』（グラフ11）中学生

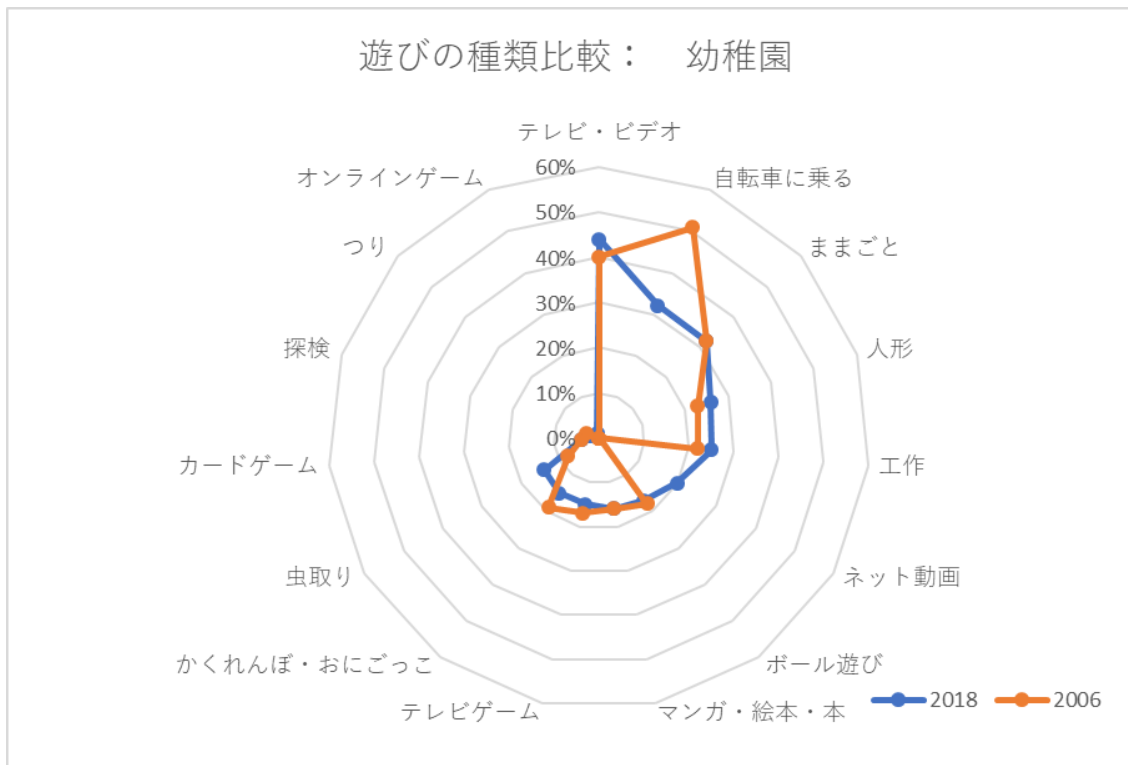


2006年と比較して、家の中で遊ぶ人が増えていることが分かります。その代わりにわずかですが家の周りの公園で遊ぶ人が減り、ゲームセンターと答えた人はぐっと減りました。わずかですが公共の施設を利用する人が増えました。

③ 【遊びの種類】

『何をして遊ぶことが多いですか（複数選択3つまで）』

（グラフ12）幼稚園児



遊びの種類	2018	2006
テレビ・ビデオ	44%	40%
自転車に乗る	32%	51%
ままごと	32%	32%
人形	26%	23%
工作	25%	22%
ネット動画	20%	—
ボール遊び	17%	18%
マンガ・絵本・本	16%	16%
テレビゲーム	15%	17%
かくれんぼ・おにごっこ	15%	19%
虫取り	14%	8%
カードゲーム	4%	4%
探検	2%	3%
つり	1%	0%
オンラインゲーム	1%	—

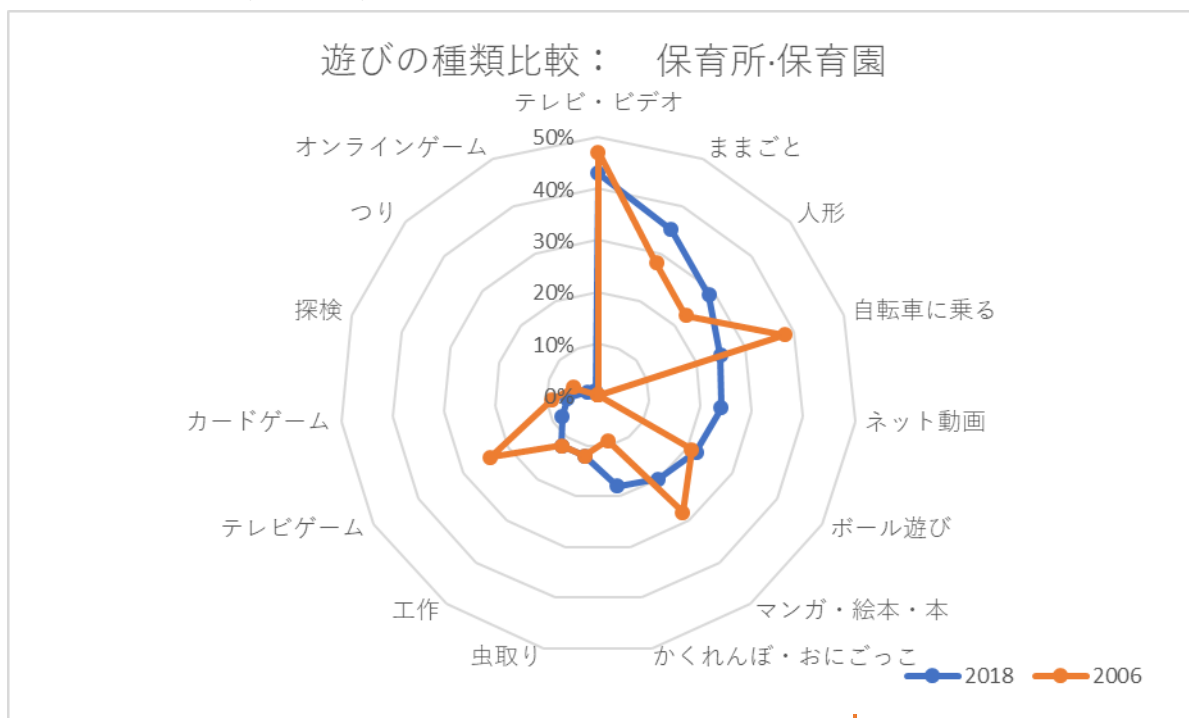
※テレビやビデオを見て過ごす子が一番多いです。

2006年との比較では「自転車に乗る」が減っています。ヘルメットの装着など規制ができたことが要因かもしれません。

過去にはなかった「ネット動画を見る」など新しい種類の遊びが現れました。

ままごとや人形あそび、工作などは変わっていません。

『何をして遊ぶことが多いですか（複数選択3つまで）』
 (グラフ13) 保育所・保育園児



遊びの種類	2018	2006
テレビ・ビデオ	43%	47%
ママごと	35%	28%
人形	29%	23%
自転車に乗る	25%	38%
ネット動画	24%	—
ボール遊び	22%	21%
マンガ・絵本・本	20%	28%
かくれんぼ・おにごっこ	18%	9%
虫取り	12%	12%
工作	12%	12%
テレビゲーム	8%	24%
カードゲーム	6%	9%
探検	2%	5%
つり	1%	0%
オンラインゲーム	1%	—

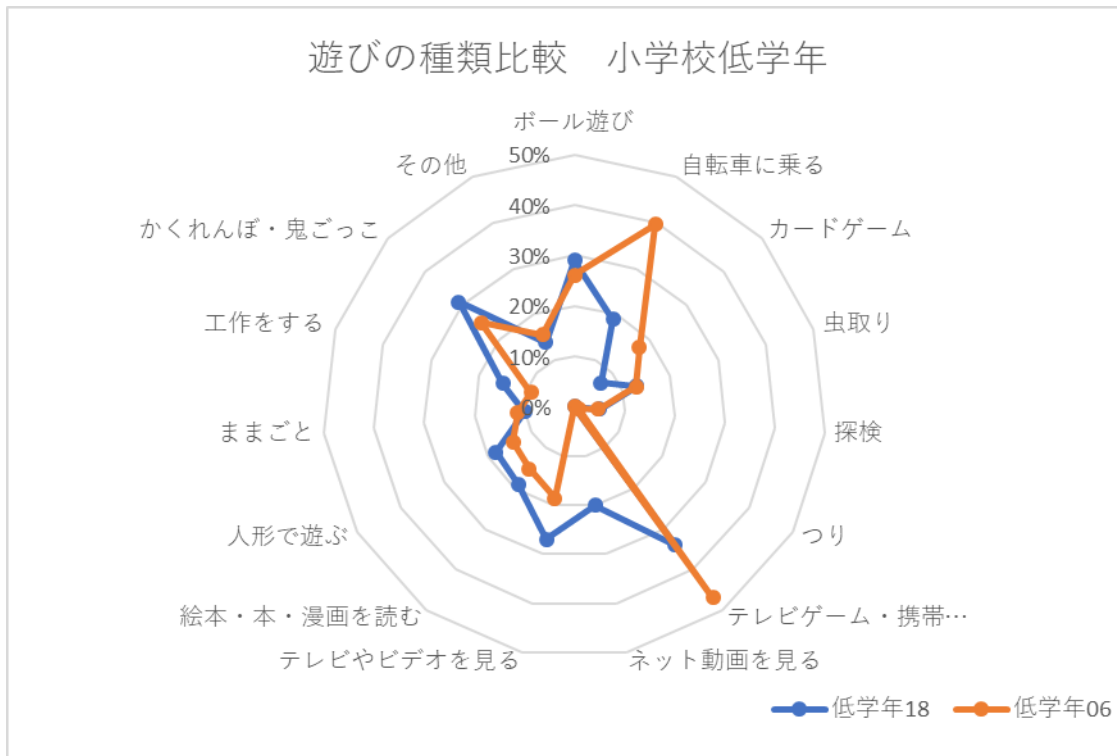
※テレビやビデオを見て過ごす子が一番多いです。

2006年との比較では「自転車に乗る」が減っています。ヘルメットの装着など規制ができたことが要因かもしれません。

過去にはなかった「ネット動画を見る」など新しい種類の遊びが現れました。

ママごとや人形あそびが少し増え、かくれんぼやおにごっこをして遊ぶ子が増え、テレビゲームをする子は3分の1に減っています。

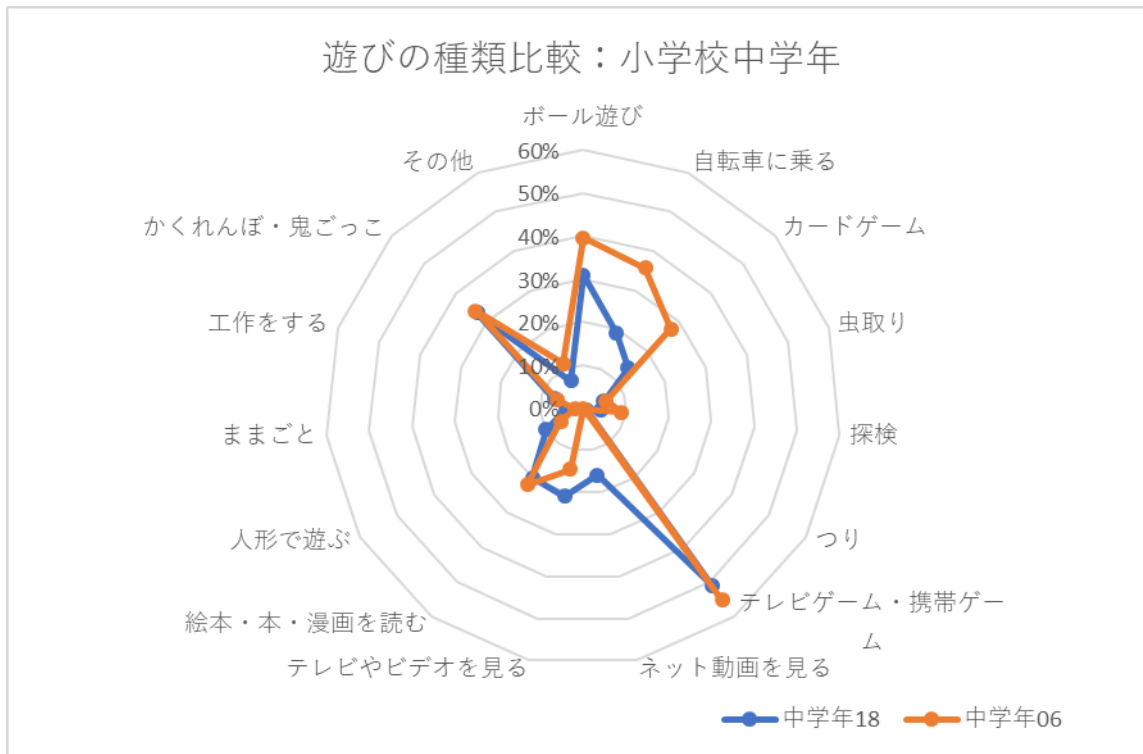
『何をして遊ぶことが多いですか（複数選択3つまで）』
【小学校低学年】（グラフ14）



遊びの種類	2018	2006
ボール遊び	29%	26%
自転車に乗る	19%	40%
カードゲーム	7%	17%
虫取り	13%	13%
探検	5%	5%
つり	0%	1%
テレビゲーム・携帯ゲーム	34%	47%
ネット動画を見る	20%	—
テレビやビデオを見る	27%	19%
絵本・本・漫画を読む	19%	15%
人形で遊ぶ	18%	14%
ままごと	10%	11%
工作をする	15%	9%
かくれんぼ・鬼ごっこ	31%	25%
その他	14%	16%

※小学生の特徴としてテレビゲームや携帯ゲームをして遊ぶ子が最も多いです。ただし2006年に比べて減りました。自転車に乗って遊ぶ子が半減しました。ネット動画を見る子、テレビやビデオを見る子が増えました。工作をする子、かくれんぼ・鬼ごっこをする子も増えています。

『何をして遊ぶことが多いですか（複数選択3つまで）』
【小学校中学年】（グラフ15）



	2018	2006
ボール遊び	31%	40%
自転車に乗る	19%	36%
カードゲーム	14%	27%
虫取り	5%	6%
探検	4%	9%
つり	1%	1%
テレビゲーム・携帯ゲーム	51%	55%
ネット動画を見る	16%	—
テレビやビデオを見る	21%	15%
絵本・本・漫画を読む	20%	22%
人形で遊ぶ	10%	6%
ままごと	4%	2%
工作をする	7%	6%
かくれんぼ・鬼ごっこ	33%	34%
その他	7%	11%

※テレビゲームや携帯ゲームをして遊ぶ子が最も多く50%を超えています。

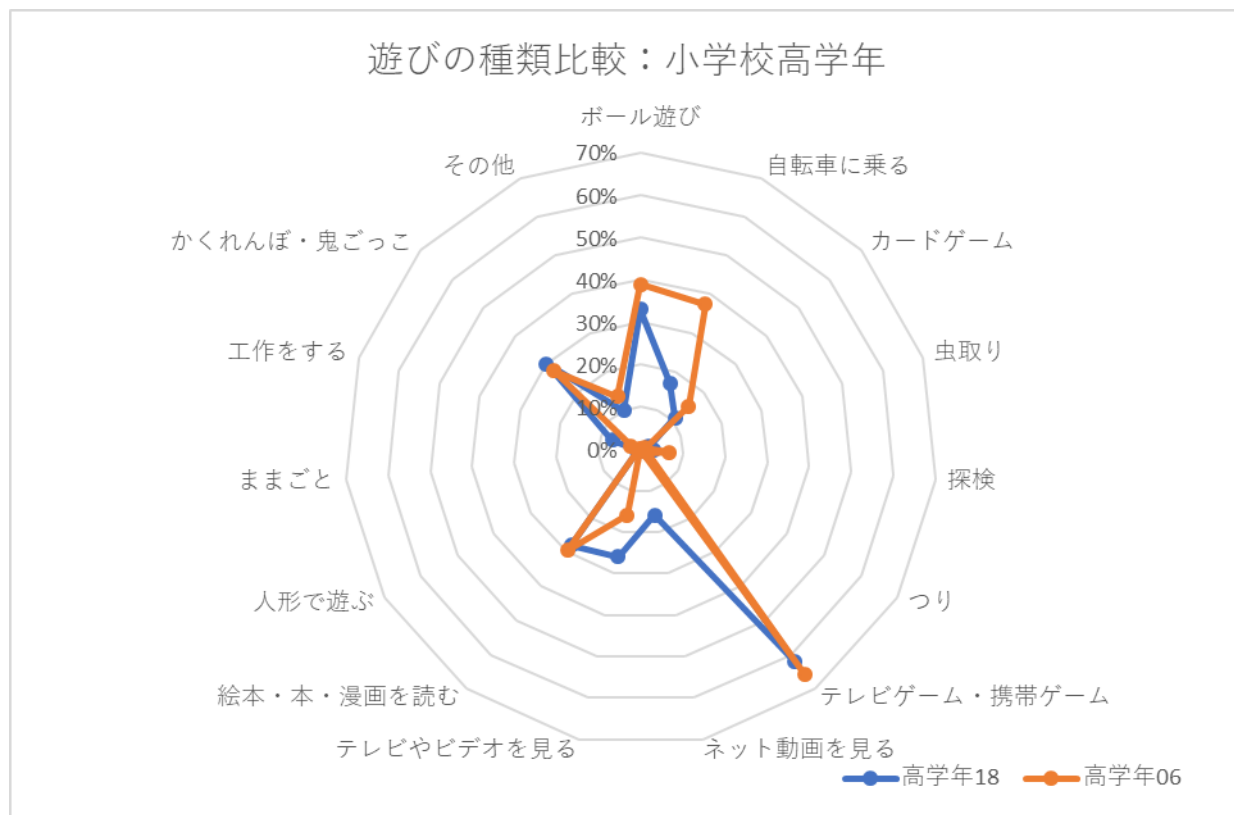
低学年と同様に自転車に乗って遊ぶ子が減っています。

カードゲームで遊ぶ子は減少。かくれんぼ・鬼ごっこをして遊ぶ子も33%います。

ネット動画を見る子は16%います。

『何をして遊ぶことが多いですか（複数選択3つまで）』

【小学校高学年】（グラフ16）



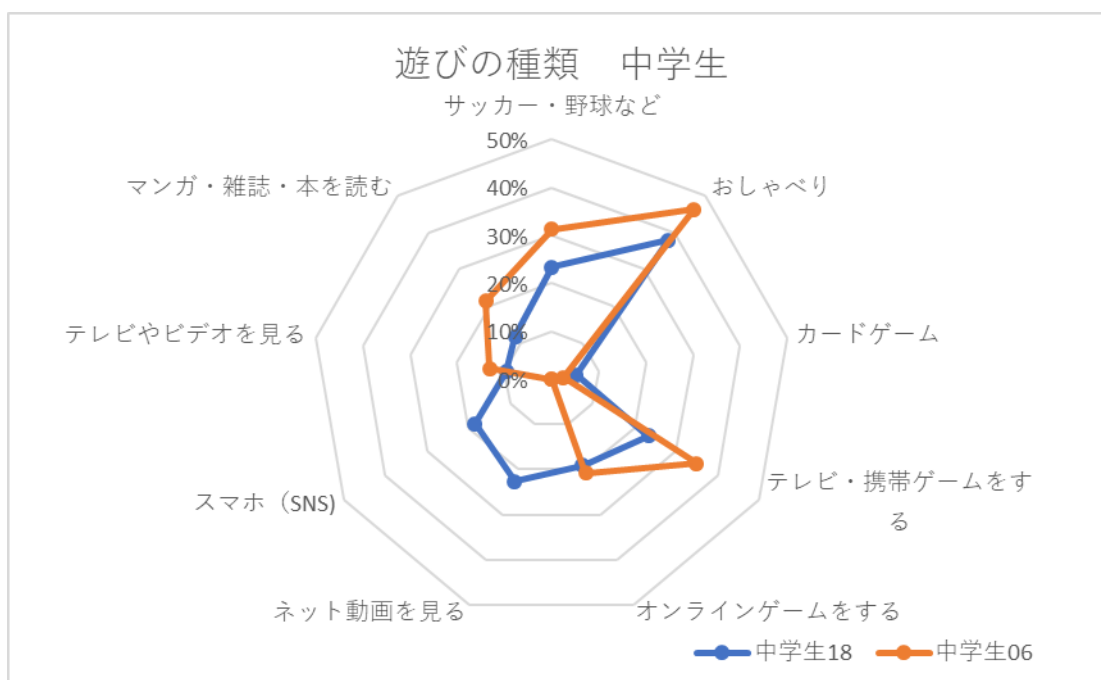
	2018	2018
ボール遊び	33%	39%
自転車に乗る	17%	37%
カードゲーム	11%	15%
虫取り	2%	1%
探検	3%	7%
つり	1%	2%
テレビゲーム・携帯ゲーム	62%	66%
ネット動画を見る	16%	—
テレビやビデオを見る	26%	16%
絵本・本・漫画を読む	28%	30%
人形で遊ぶ	1%	1%
ままごと	1%	0%
工作をする	7%	3%
かくれんぼ・鬼ごっこ	30%	28%
その他	10%	14%

※テレビゲームや携帯ゲームをして遊ぶ子が小学校高学年では60%を超えていますが2006年に比べて微減しました。

自転車に乗って遊ぶと答えた子は減少しています。

「ネット動画を見る」という子が16%います。テレビやビデオを見る子が増えています。

『何をして遊ぶことが多いですか（複数選択2つまで）』
【中学生】（グラフ17）



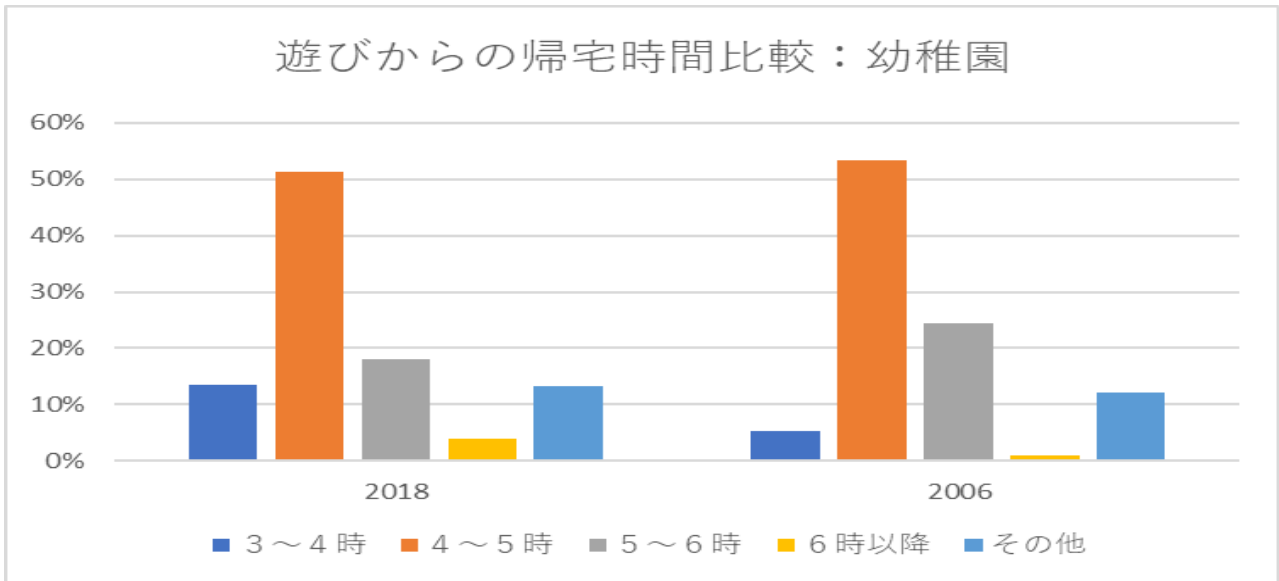
	2018	2006
サッカー・野球など	23%	31%
おしゃべり	38%	46%
カードゲーム	5%	3%
テレビ・携帯ゲームをする	23%	35%
オンラインゲームをする	19%	21%
ネット動画を見る	23%	—
スマホ（SNS）	19%	—
テレビやビデオを見る	10%	13%
マンガ・雑誌・本を読む	12%	21%

※2006年と比較するとサッカーや野球、おしゃべり、テレビ・携帯ゲームなどほぼすべての遊びが減り、ネット動画を見る人とスマホ（SNS）で遊ぶ人が現れました。

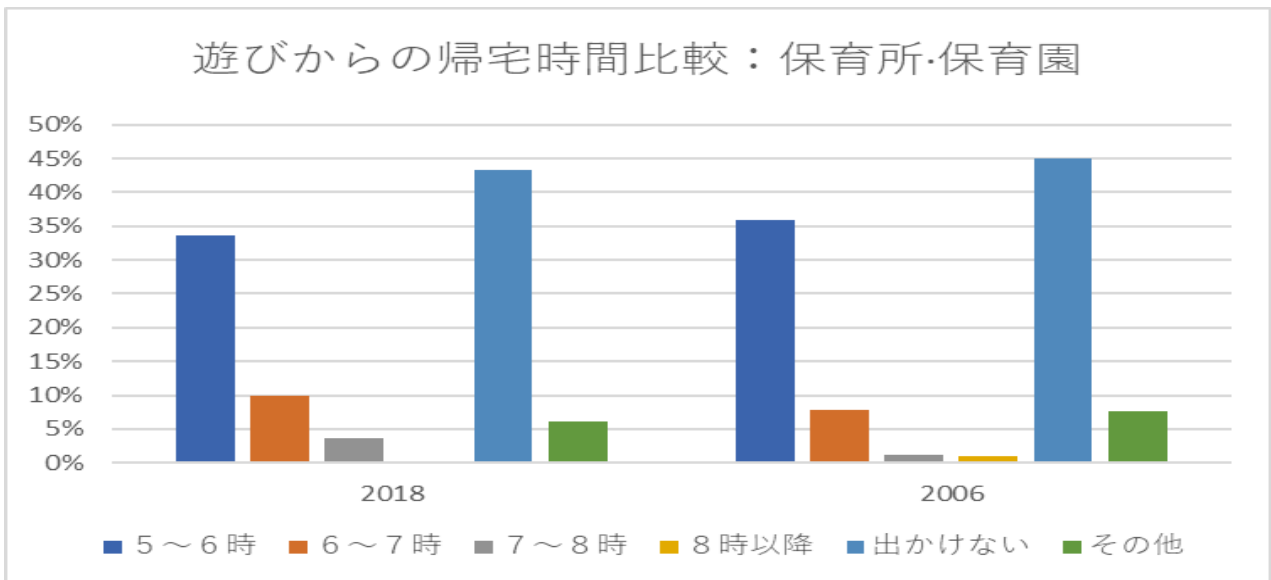
【遊びと住居の関係】について2018年は分析していません。

④ 遊びから変える時間（きっかけ）

『遊びをやめて家に帰るのは何時ごろですか』（グラフ18）幼稚園児



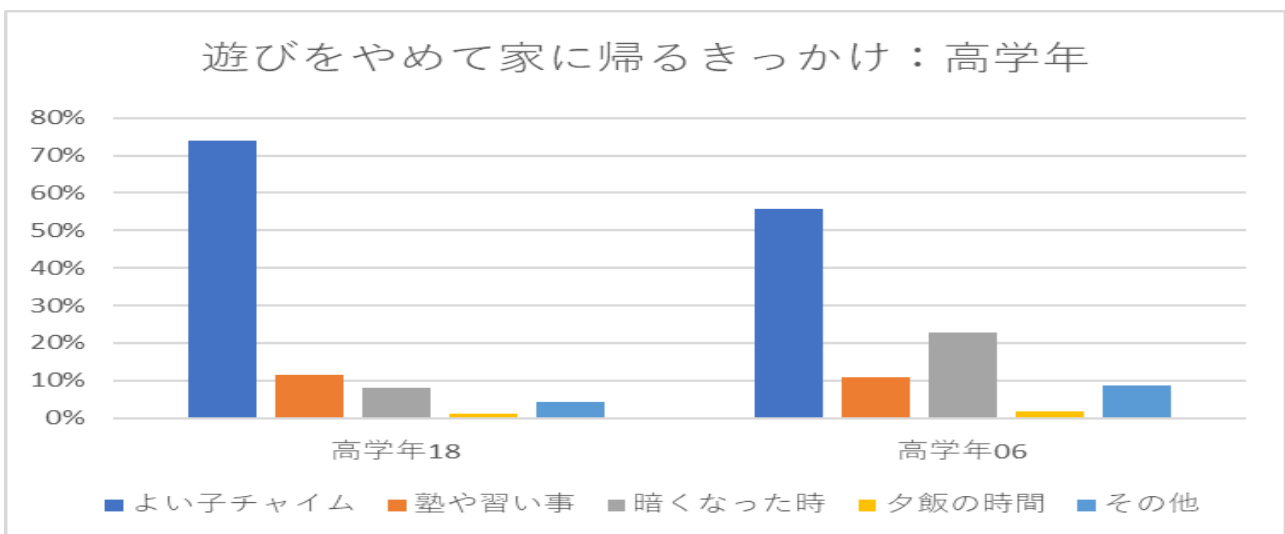
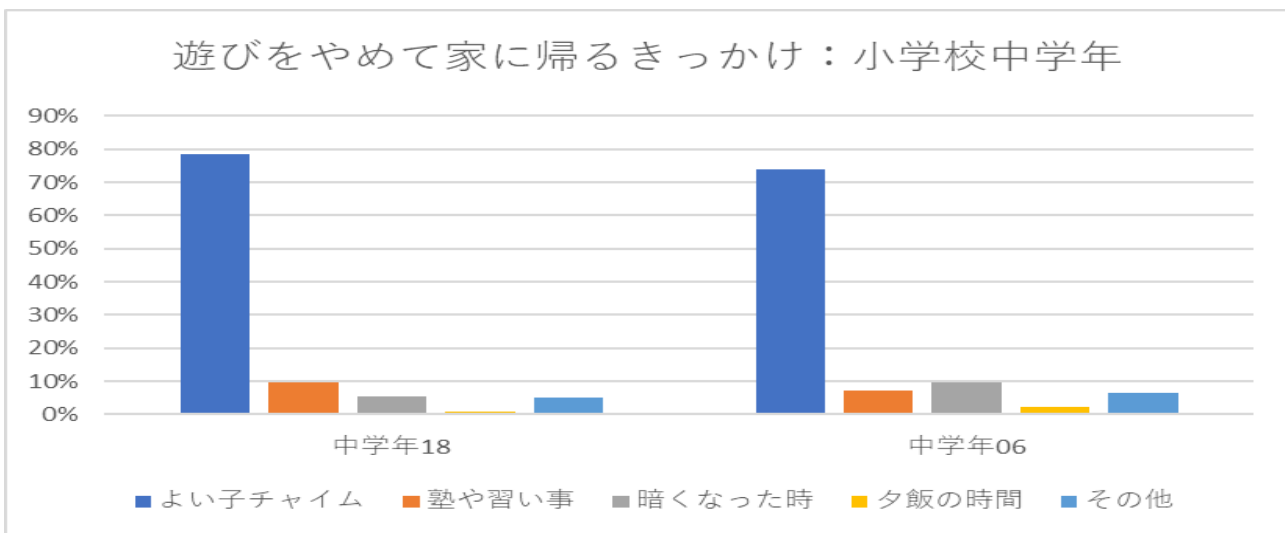
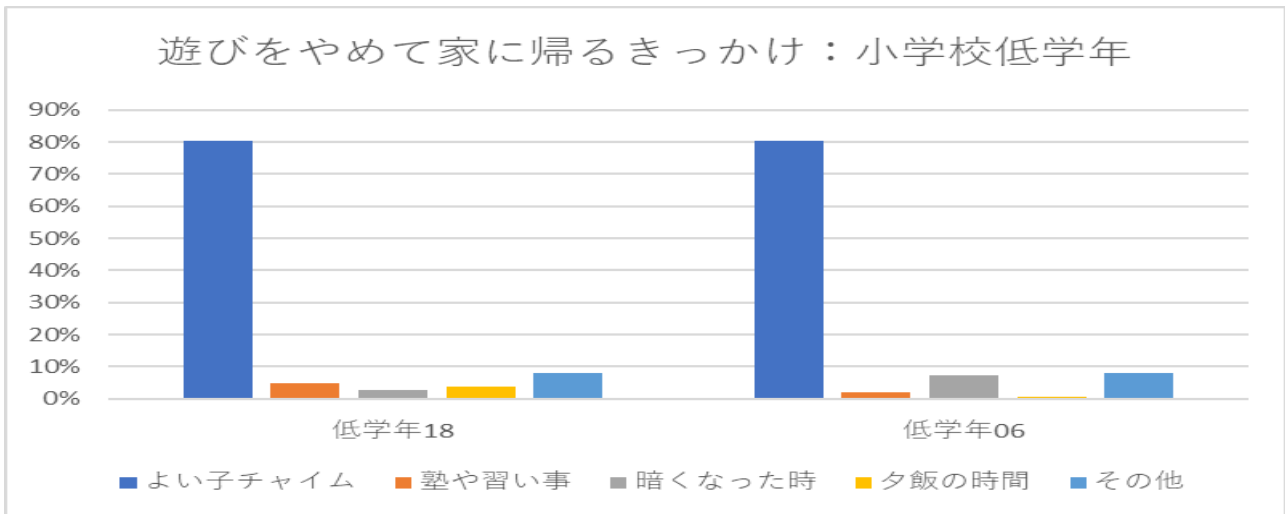
『遊びをやめて家に帰るのは何時ごろですか』（グラフ19）保育所・保育園児



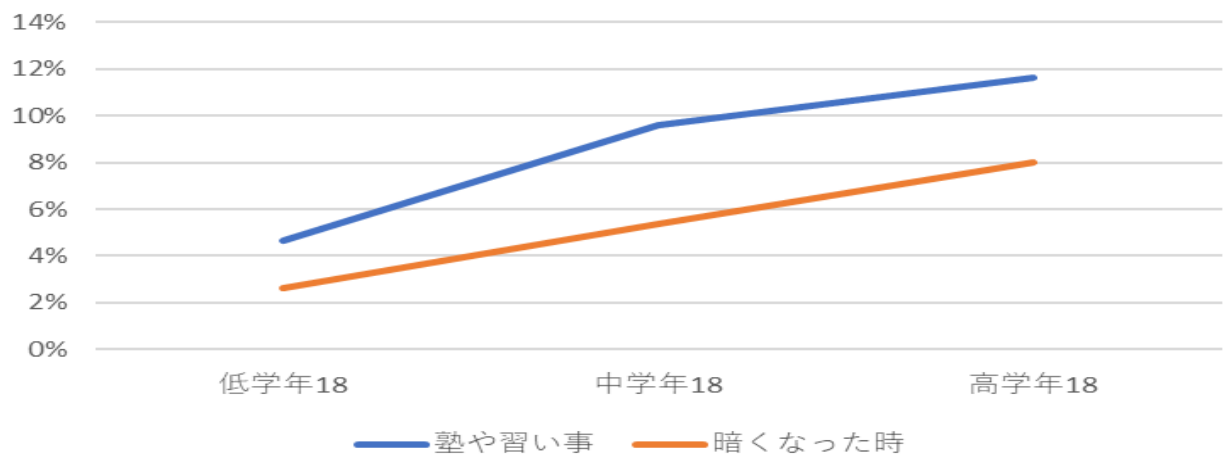
※2006年との比較では、あまり大きな違いはみられませんでした。幼稚園に通う子では、4～5時、5～6時に帰る子が減って3～4時に帰る子が増えています。習い事と関係がある可能性があります。

保育所・園に通う子では降園後は遊びに出かけない子が多いですが、保育所・園からの帰宅が遅くなっているのと同様に遊びからの帰宅時間も遅くなっているようです。

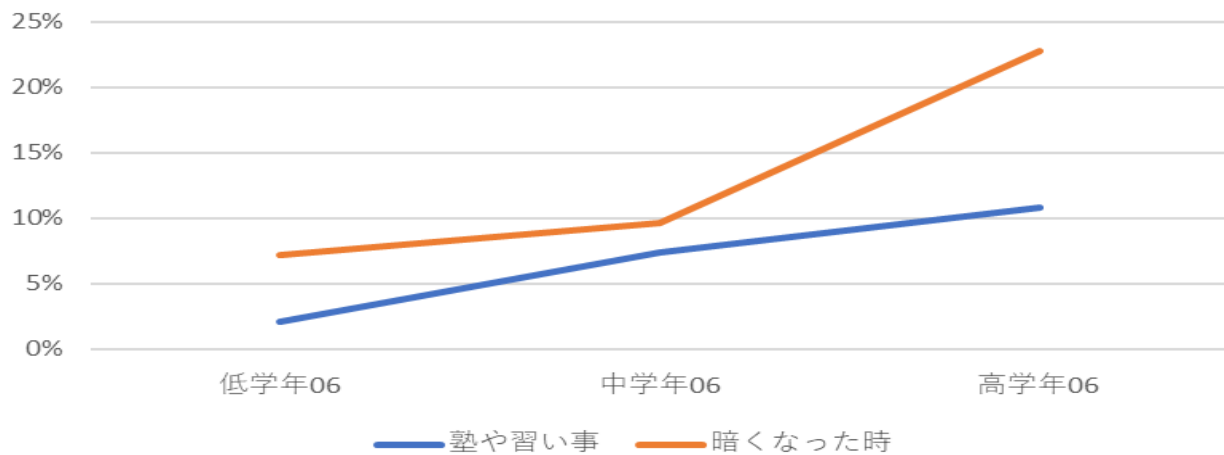
『遊びをやめて家に帰るきっかけは何ですか』（グラフ 20）小学生



遊びをやめて家に帰るきっかけ推移 2018



遊びをやめて家にかえるきっかけ推移 2006

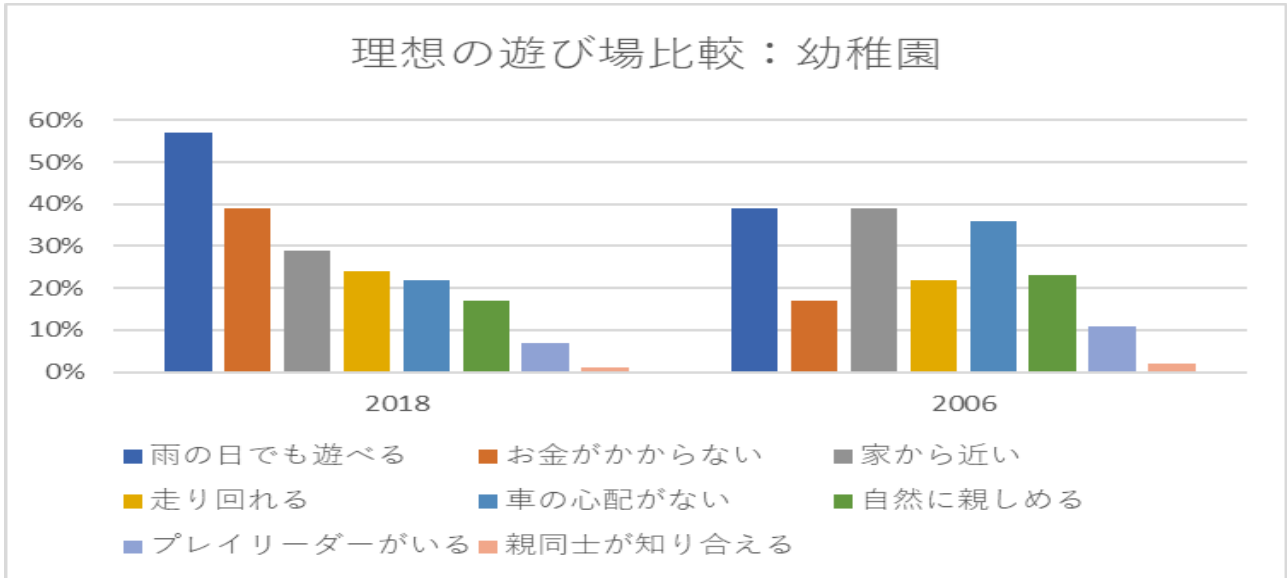


※小学生の多くは「よいこチャイム」を遊びをやめて家に帰るきっかけにしています。ここで注目したいのは、2006年との比較で「暗くなった時に家に帰る」という子どもと「塾や習い事の時間に家に帰る」全学年の子どもの数字の逆転です。

⑤ 【あったらいいと思う遊び場】

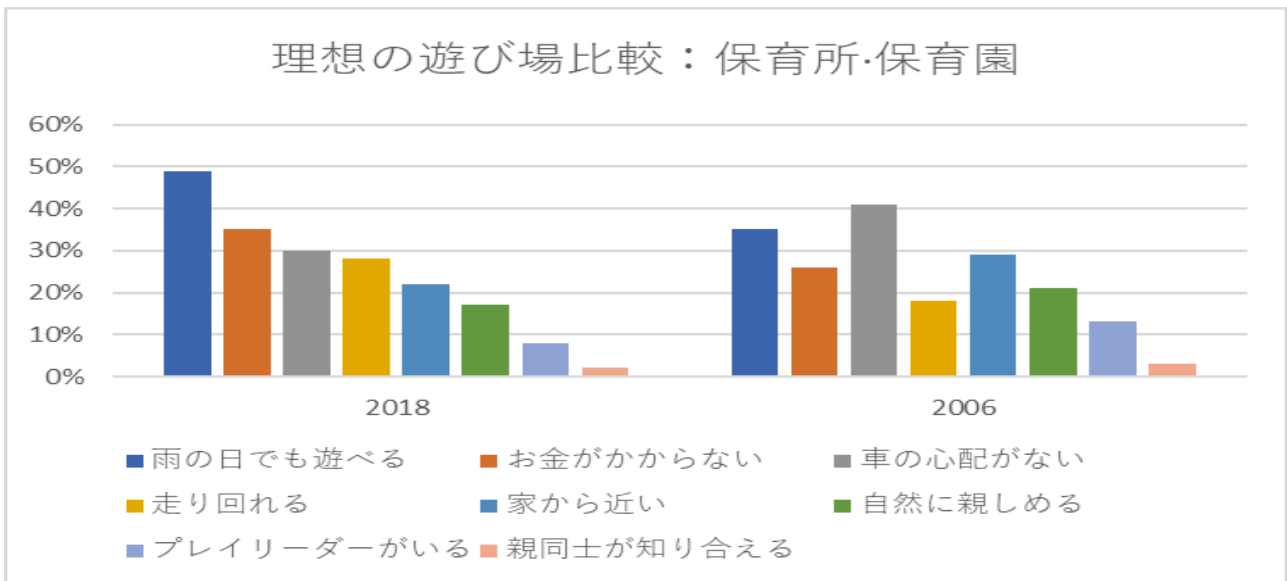
【幼児を持つ保護者】（グラフ21）

『あったらいいな、と思う遊び場』（複数選択3つまで）



『あったらいいな、と思う遊び場』（複数選択3つまで）

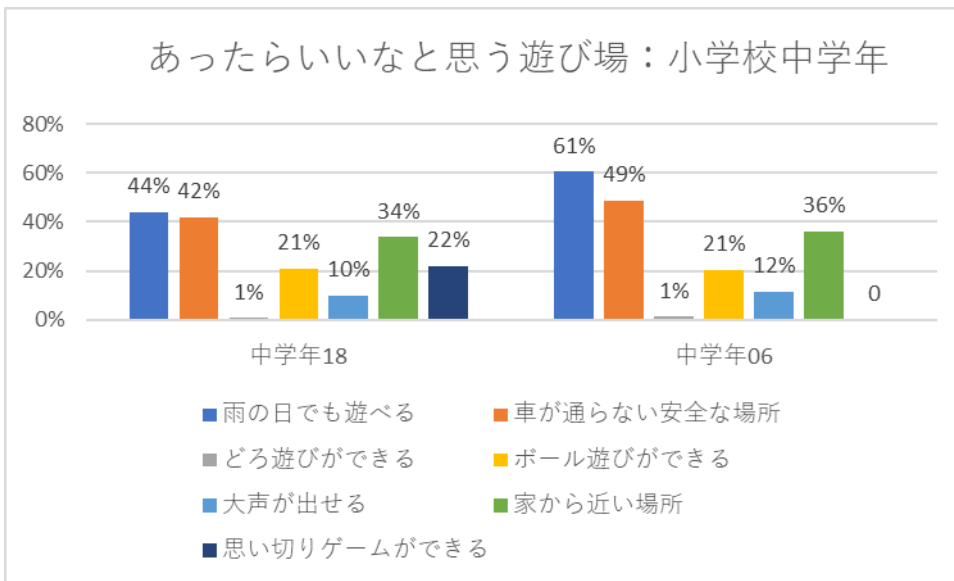
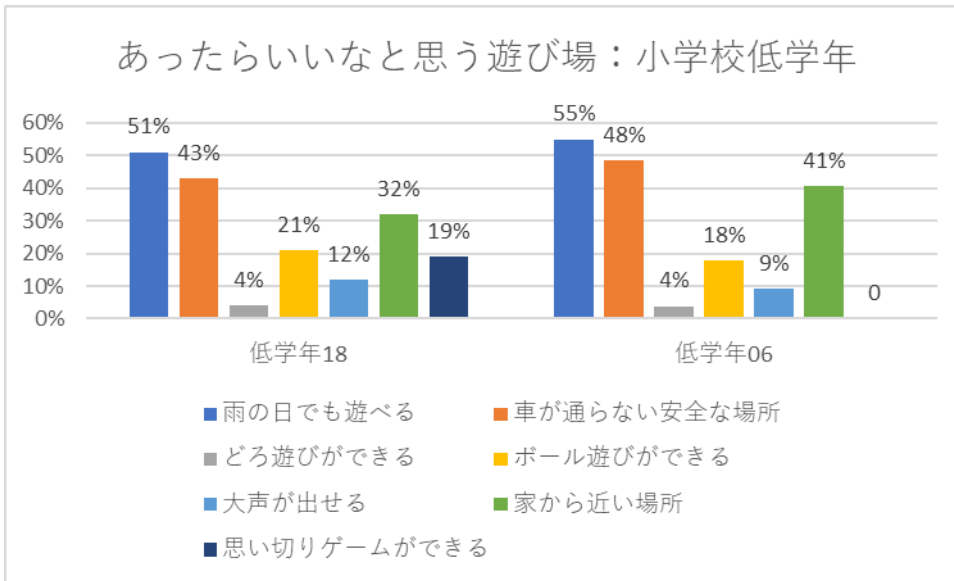
保育所・保育園児の保護者



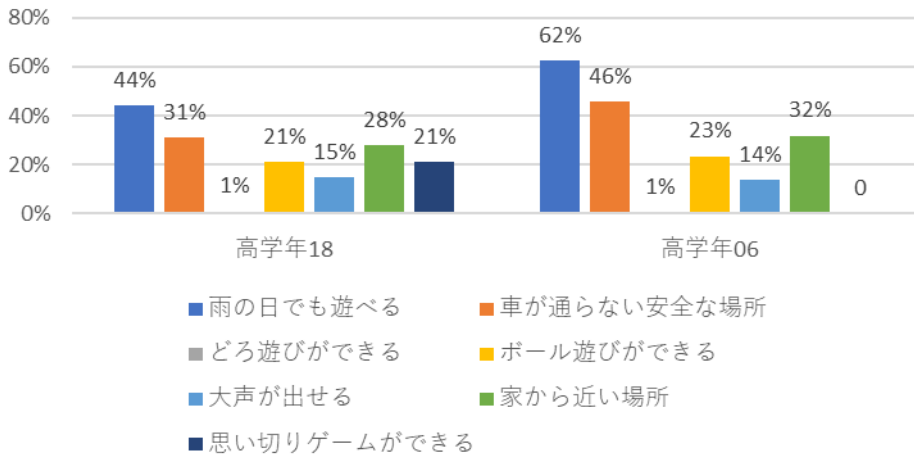
※2006年との比較では幼稚園に通う子どもでも保育所・園に通う子どもでも「雨の日でも遊べる」「お金がかからない」「走り回れる」が増え「家から近い」「車の心配がない」「自然に親しめる」「プレイリーダーがいる」は減っています。

【小学生】（グラフ21）

『あったらいいな、と思う遊び場』（複数選択3つまで）



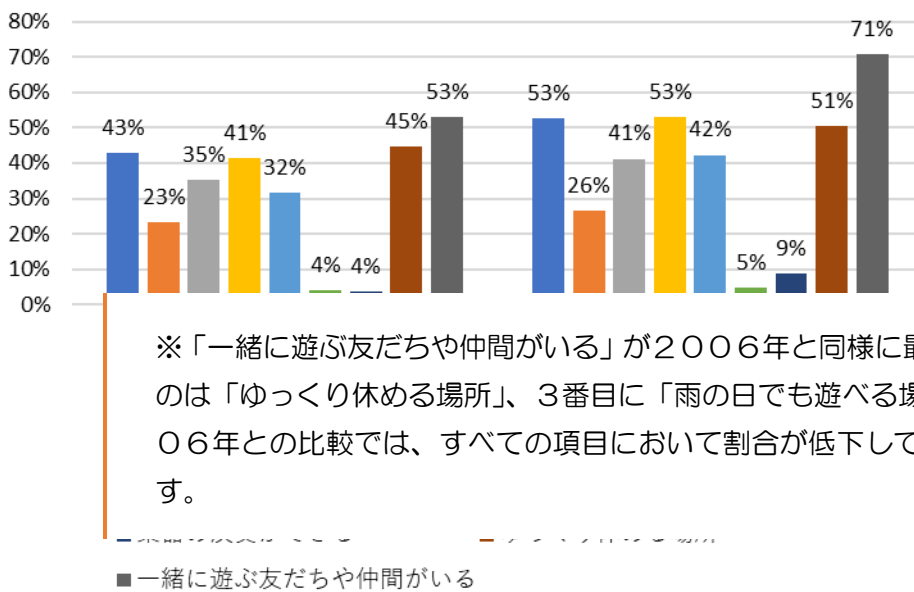
あったらいいなと思う遊び場：小学校高学年



【中学生】（グラフ22）

『あったらいいな、と思う遊び場』（複数選択3つまで）

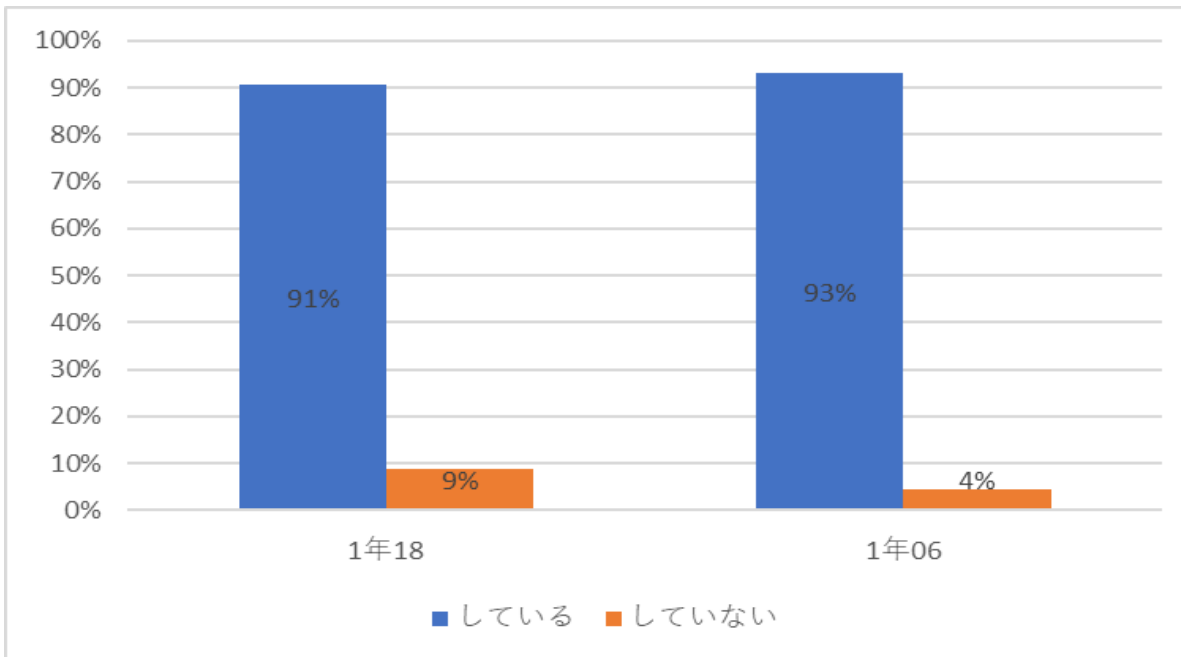
あったらいいなと思う遊び場：中学生



※2006年との比較でも小学生の理想の遊び場に変化はないようです。「雨の日でも遊べて、車が通らない安全な場所で家から近い場所」というのが子どもの希望です。

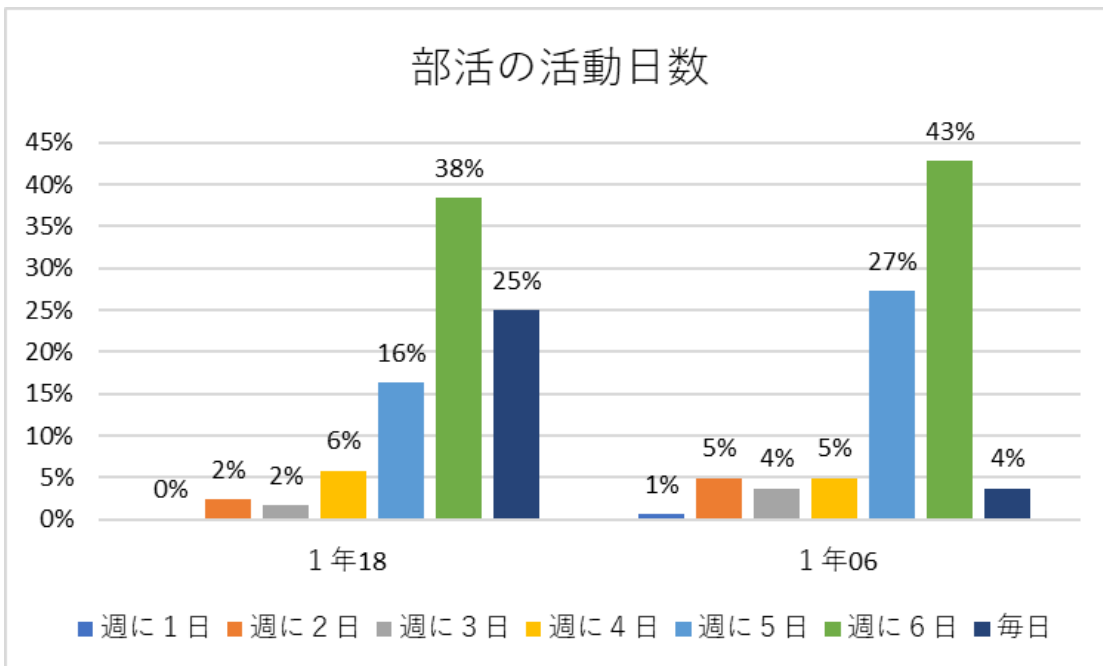
【部活（中学生のみ）】

『部活動に参加していますか』（1年生のみ比較）



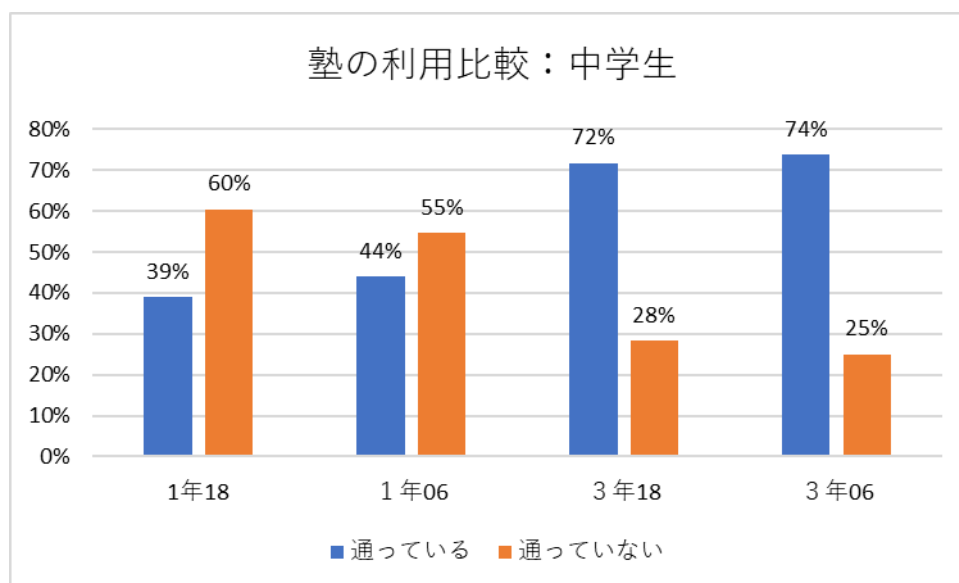
【部活の活動回数】（グラフ23）

『一週間に何日部活動をしていますか』



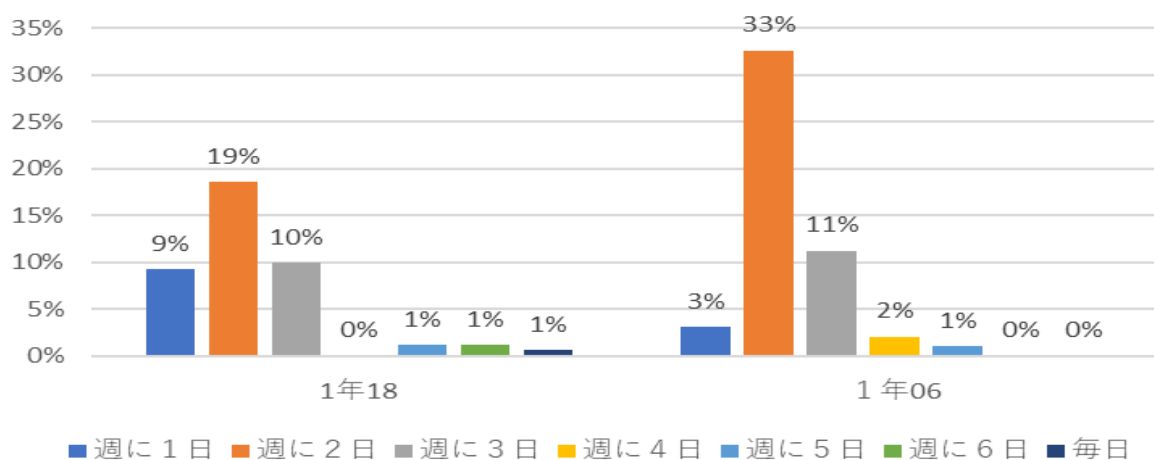
※ほとんどの中学1年生が部活に参加していることが分かります。2006年との比較ではわずかに参加していない人が増えていますが、地域のサッカーや野球など地域のクラブ等に行っていると考えられます。部活の活動日数の比較では毎日という人が増

【塾（中学生のみ）】（グラフ24）
『塾に通っていますか』（1年生と3年生）

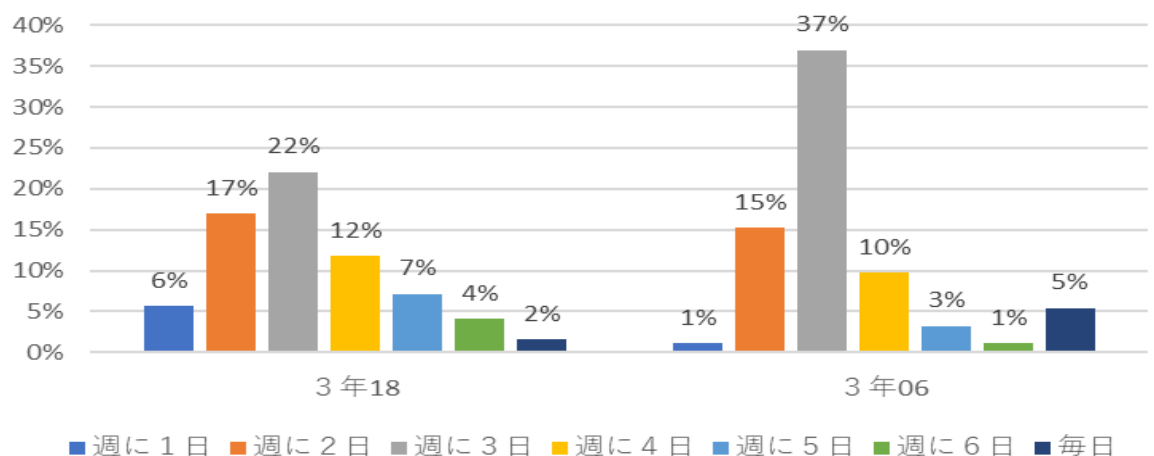


【塾の日数】（グラフ25）
『一週間に何日塾に通っていますか』

塾に通う日数：中学1年



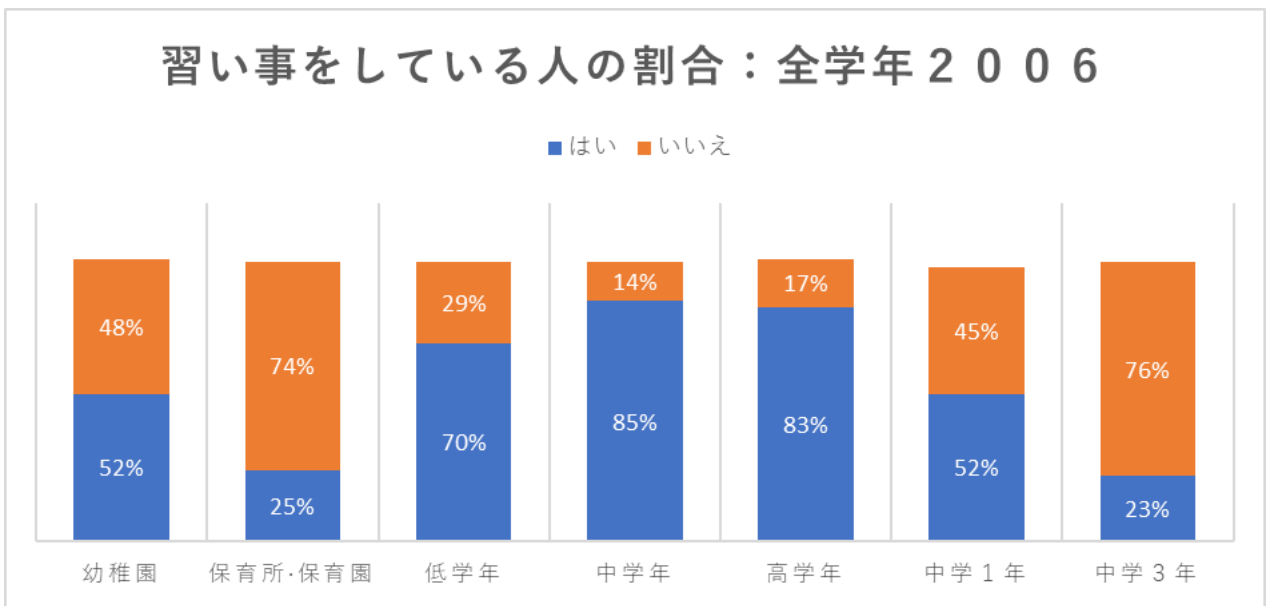
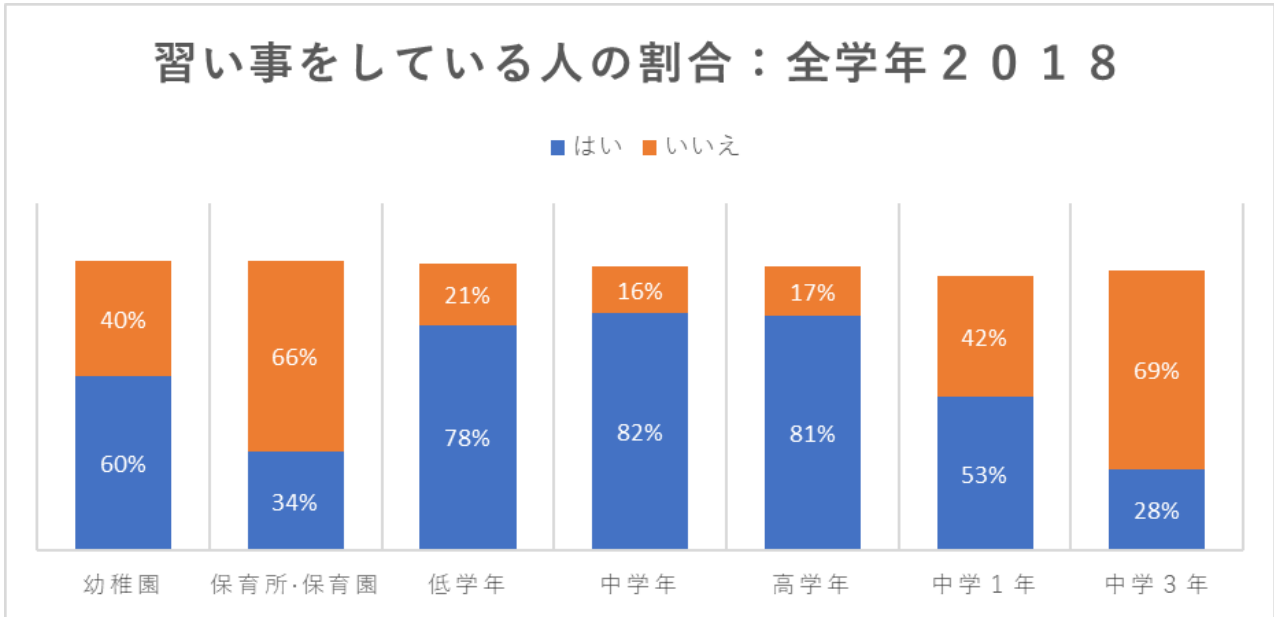
塾に通う日数：中学3年



※1年生では40%前後ですが、3年生になると70%を超える生徒が塾に通っています。2006年との比較では、1年生も3年生も塾に通っていると答えた人がわずかですが減っています。1年生では週に2日通う人が多いですが、3年生では週に3日通う人が多いです。2006年との比較では1年生、3年生とも塾に通っていると答えた生徒がやや減っています。塾に通う日数では、週に1日が増えています。

【習い事】（グラフ26）

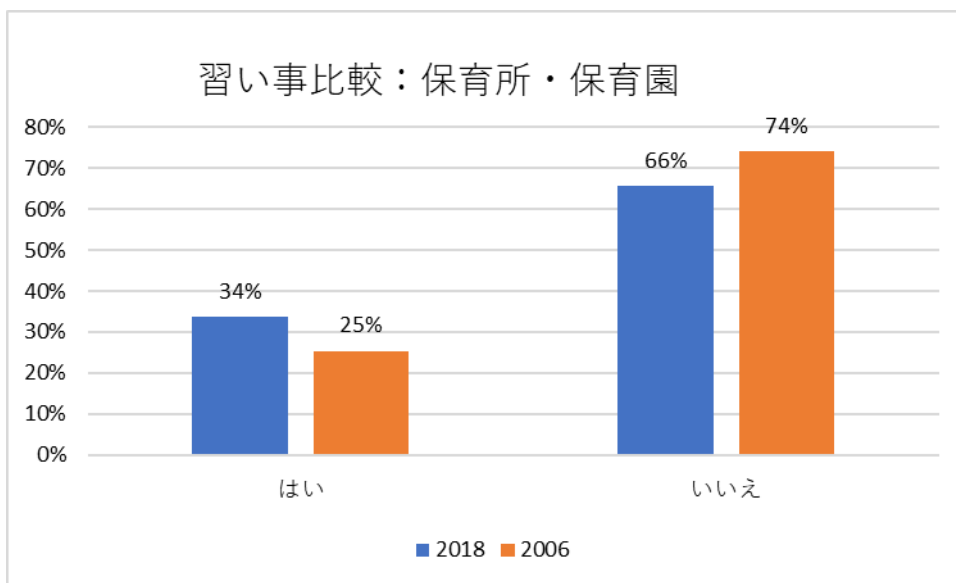
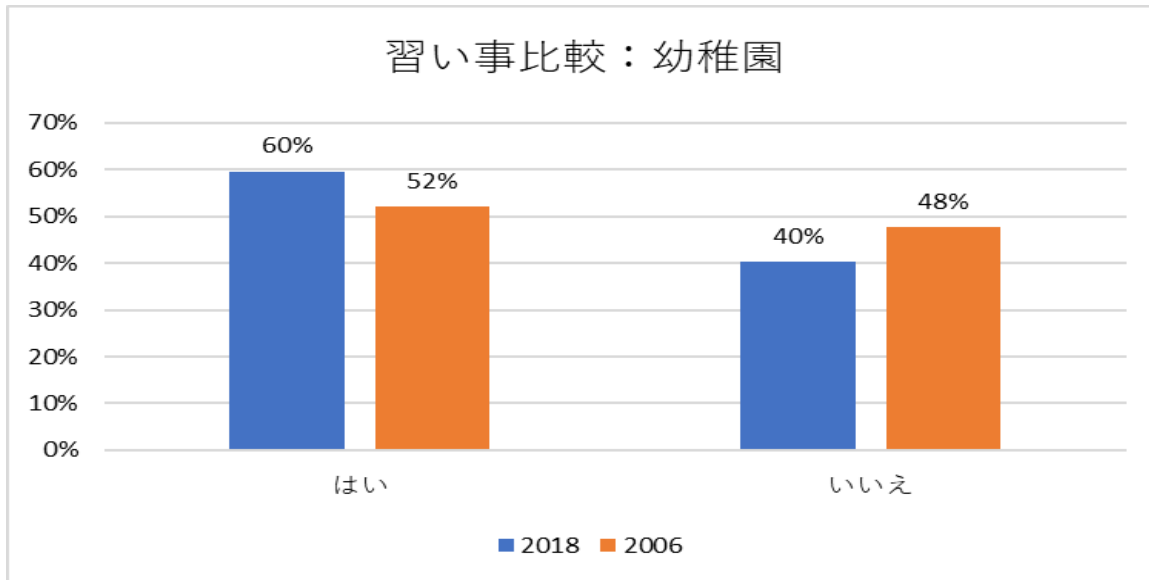
『習い事をしていますか？』



※習い事をしている人は小学校の低学年で増え、中学年、高学年と高くなり、中学生になると下がる傾向は2006年と同じです。幼児で習い事をしている人の割合が高まっていることがわかります。

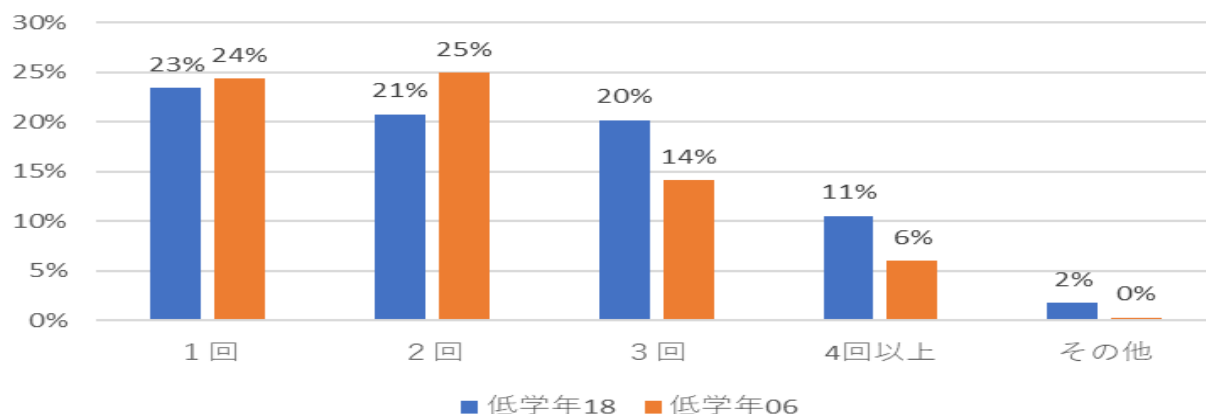
【習い事の回数】（グラフ27）

『週に何回習い事をしていますか』（幼児から小学生まで）

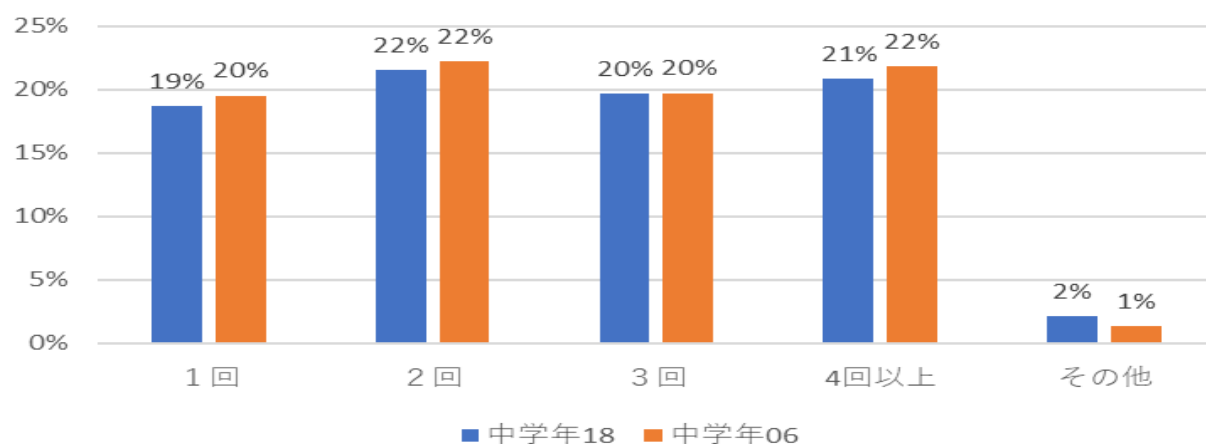


※幼児で習い事をしている人が増えています。幼稚園に通う子どもでも保育所・保育園に通う子どもでも習い事の回数が増えています。

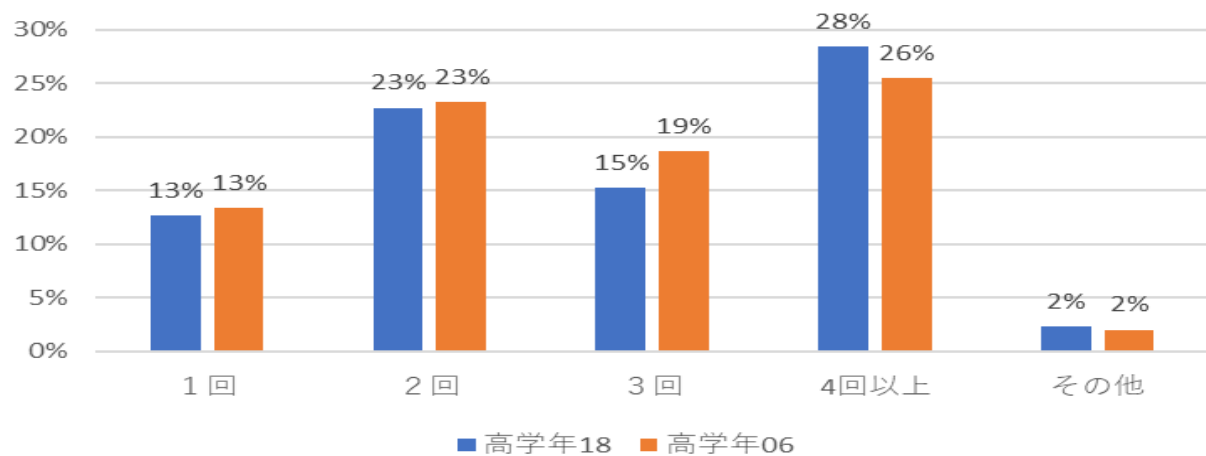
習い事の回数： 小学校低学年



習い事の回数：小学校中学年

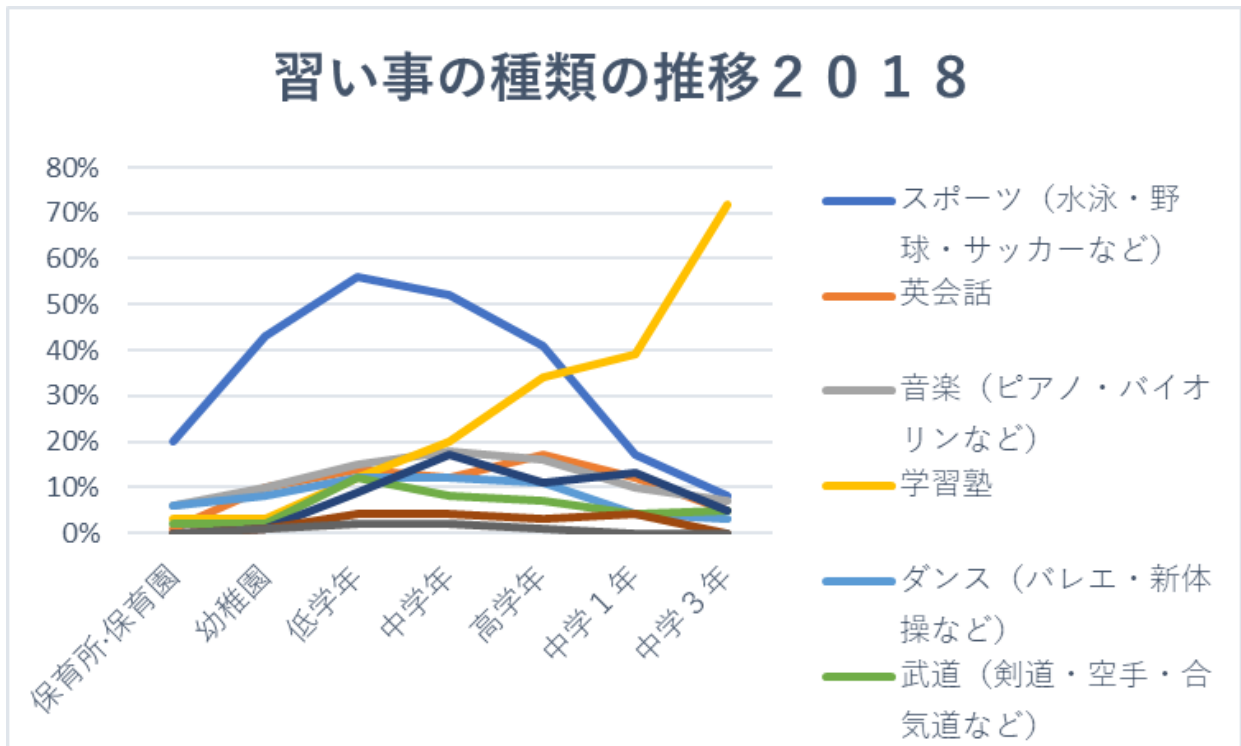


習い事の回数：小学校高学年



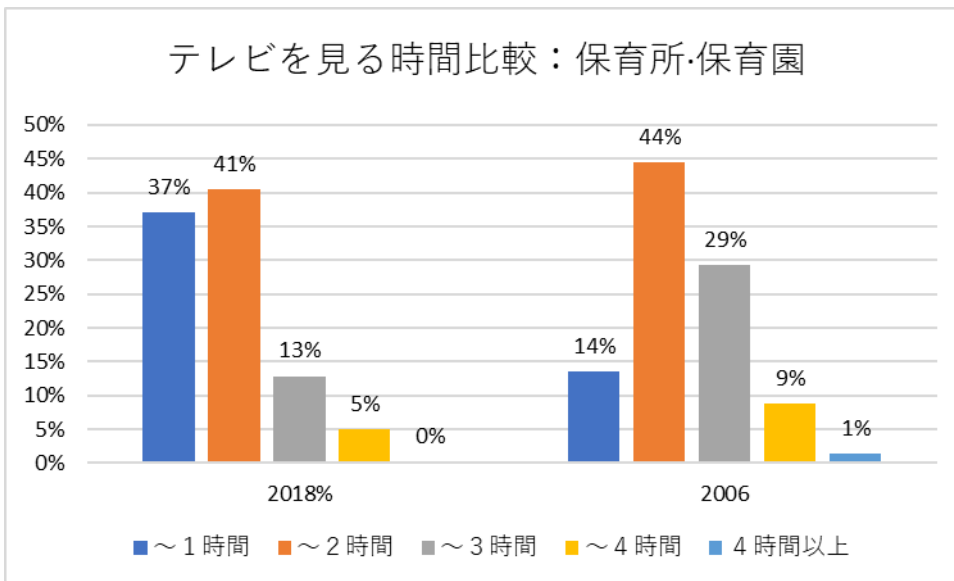
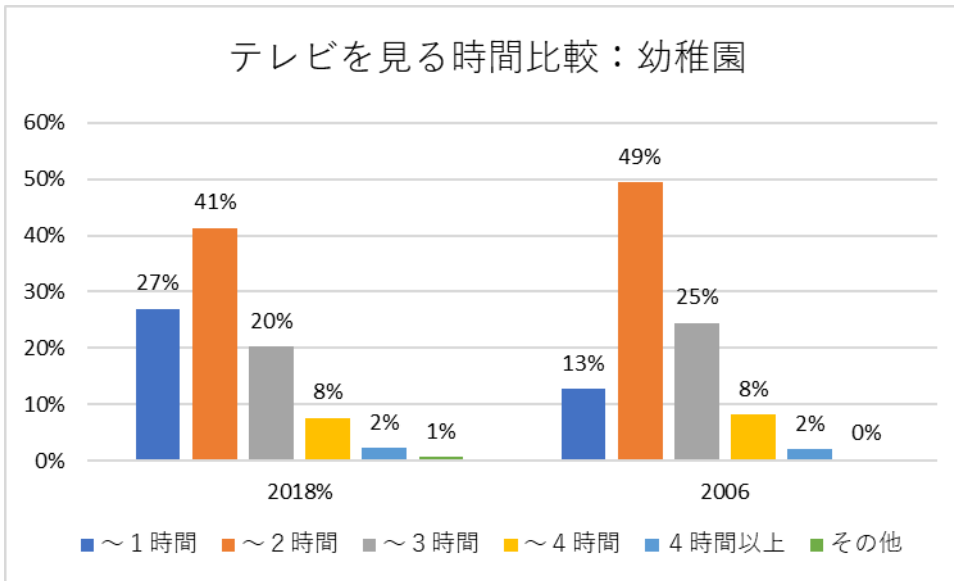
※小学校低学年では週に3～4回習い事に行く子が増えています。中学年ではあまり変化がないようです。

【習い事の種類の変遷（複数回答）】（グラフ28）



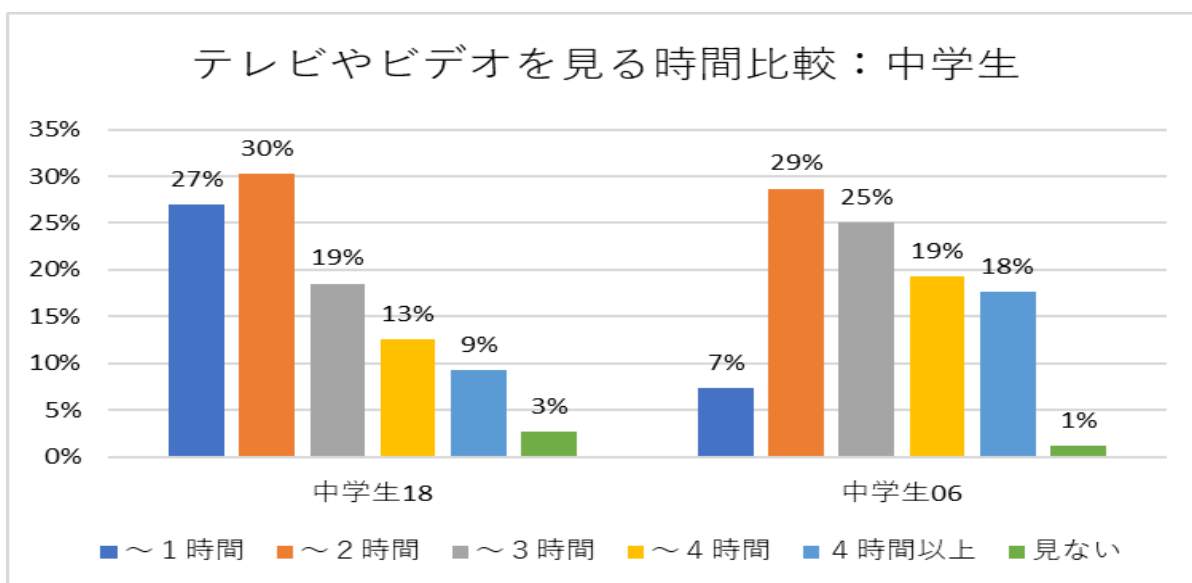
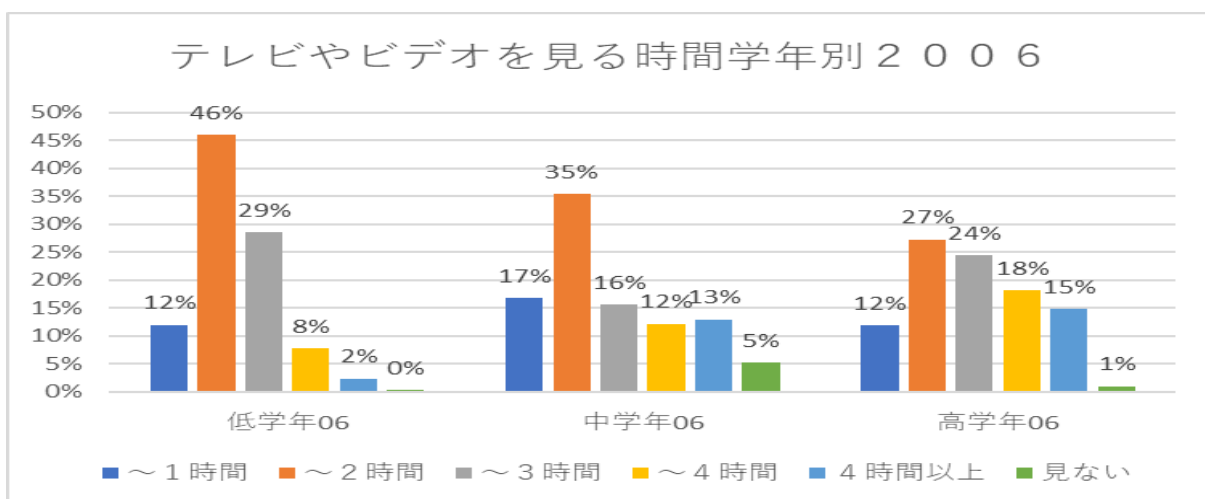
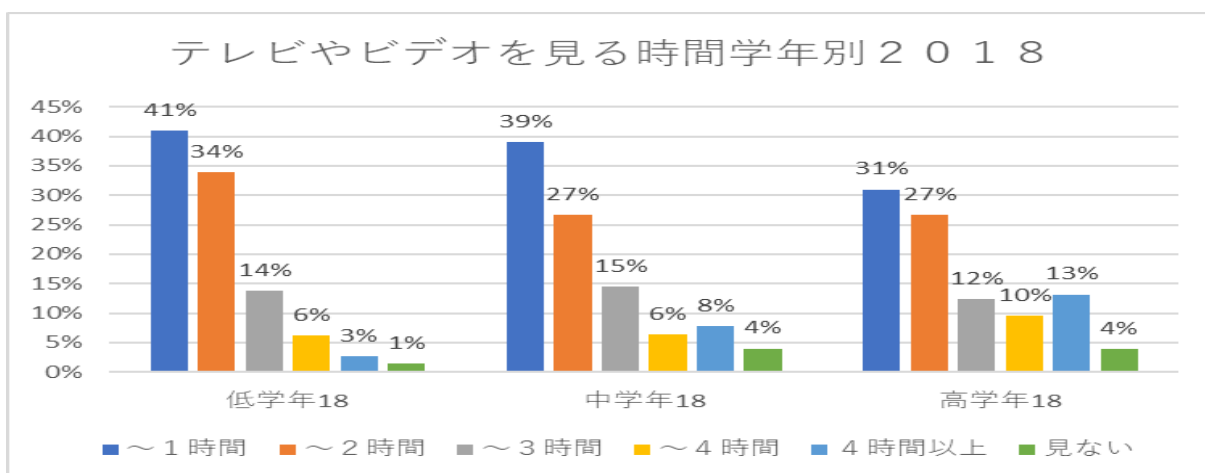
※小学校中学年まで習い事のトップはスポーツです。高学年を境に学習塾と入れ替わります。これは2006年でも同じでした。

【テレビやビデオ（DVD）を見る時間】（グラフ29）
『何時間テレビやビデオ（DVD）を見ますか』 幼児



※2006年と比較して1時間以内と答えた子どもが幼稚園に通う子どもでも保育所・保育園に通う子どもでも増えています。また全体としてもテレビの視聴時間が減っています。

『何時間テレビやビデオ（DVD）を見ますか』小学生と中学生

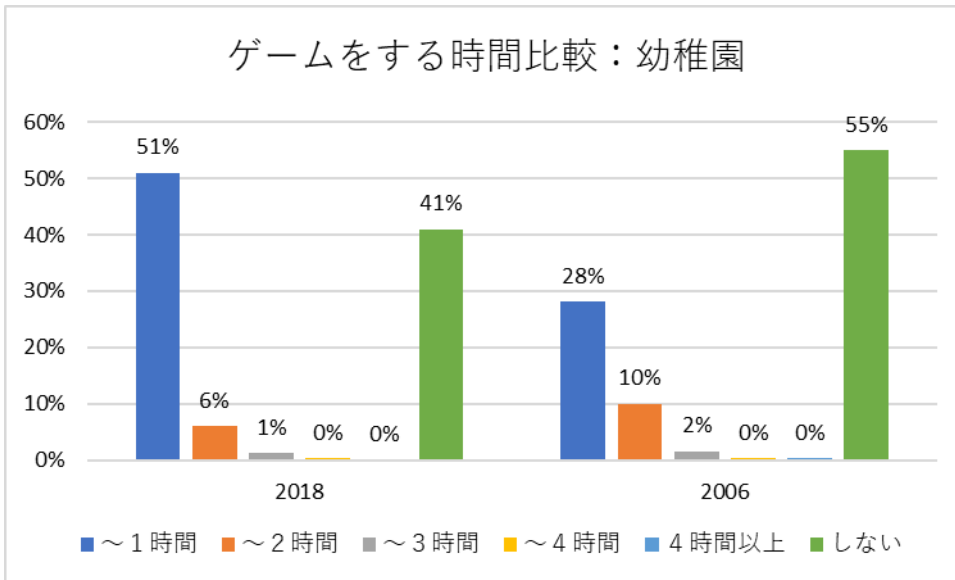


※2006年との比較では1時間以下の人が増えています。中学生でも1時間以下と答えた人が増えています。

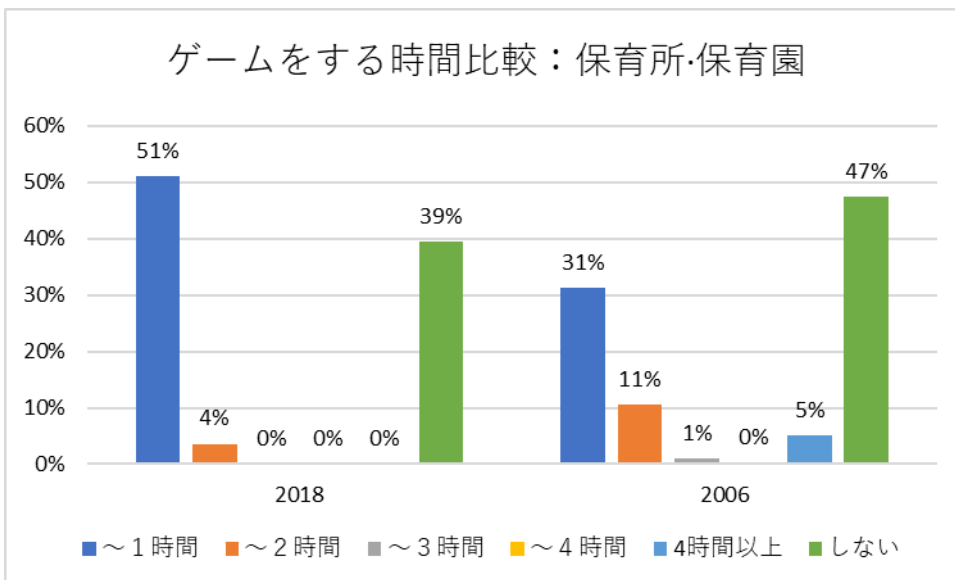
【ゲームをする時間】

【テレビ・携帯・パソコンゲームで遊ぶ子どもの推移】（グラフ30）

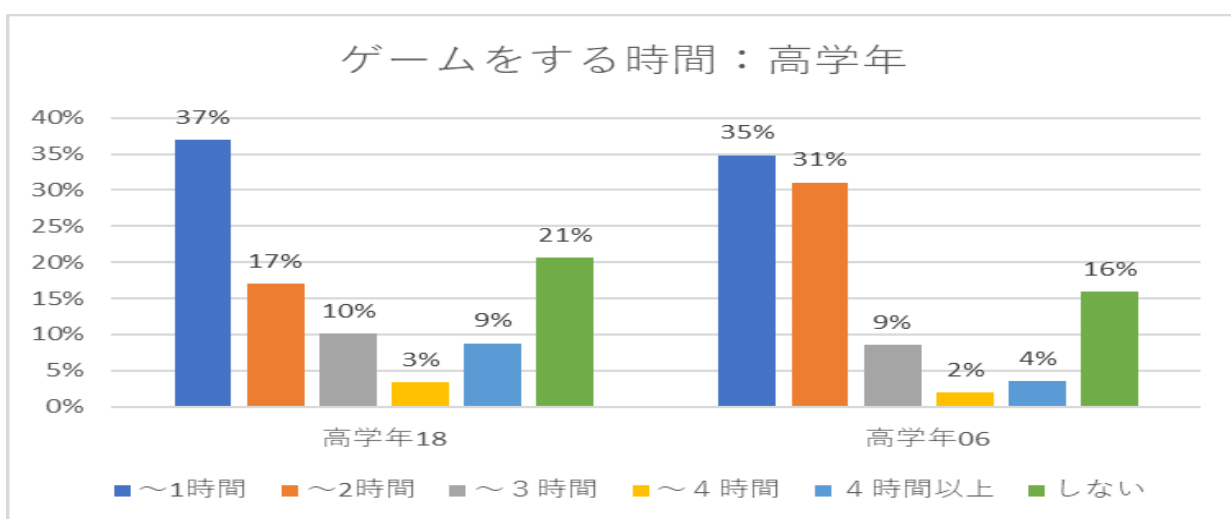
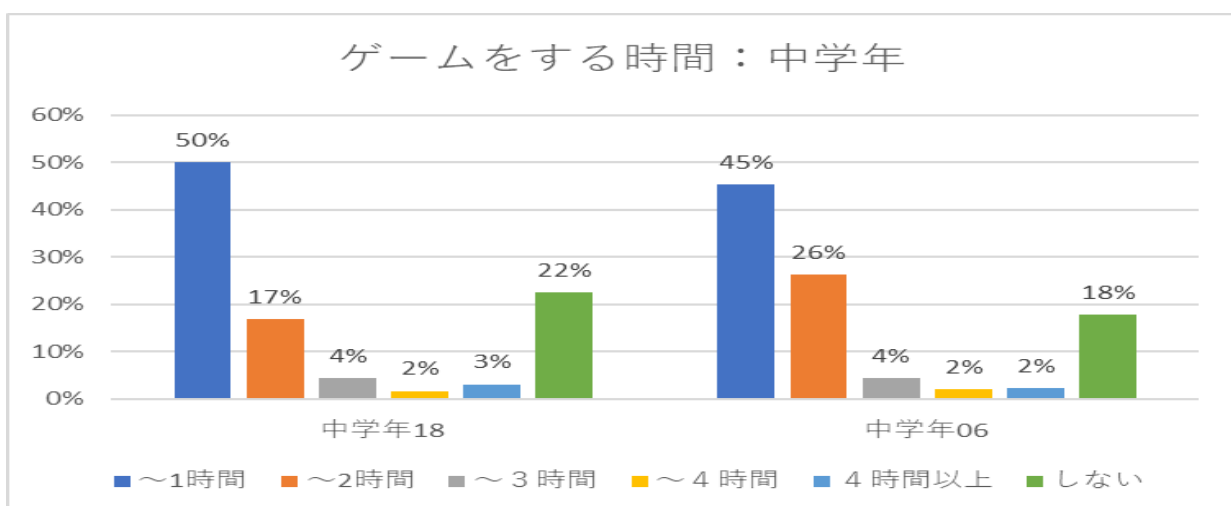
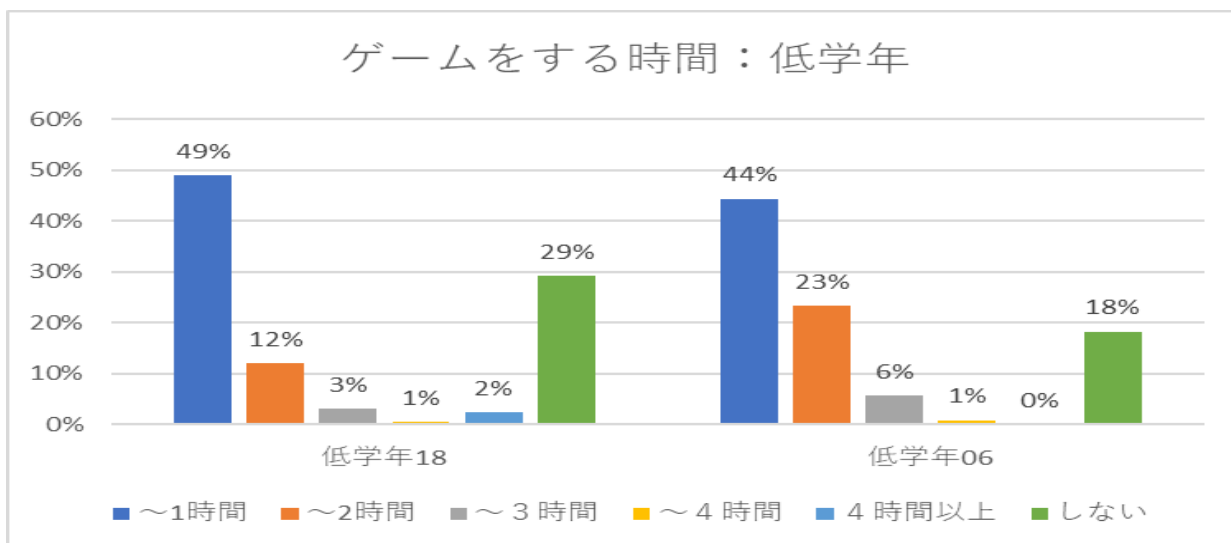
『何時間ゲームをしますか』 幼児



2006年との比較では「ゲームをしない」という子の割合が減って、1時間以下の子が増えました。

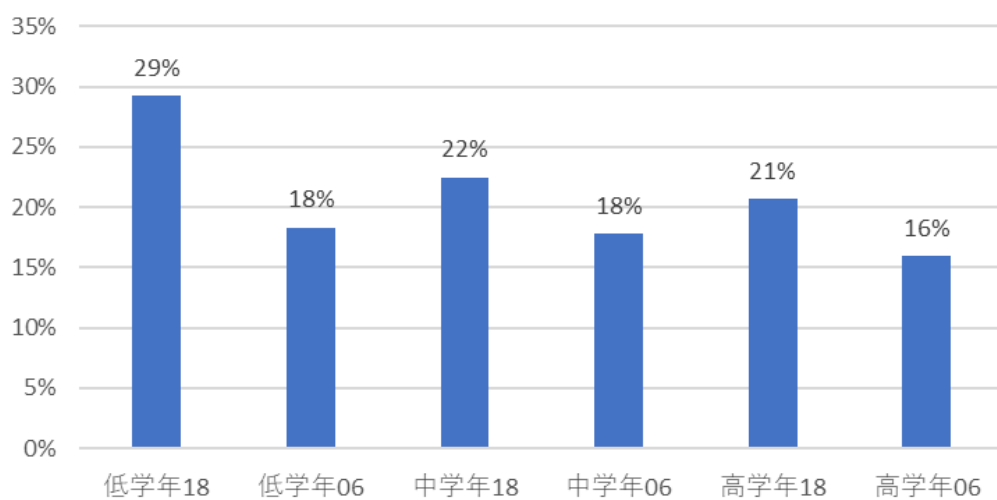


『何時間ゲームをしますか』小学生

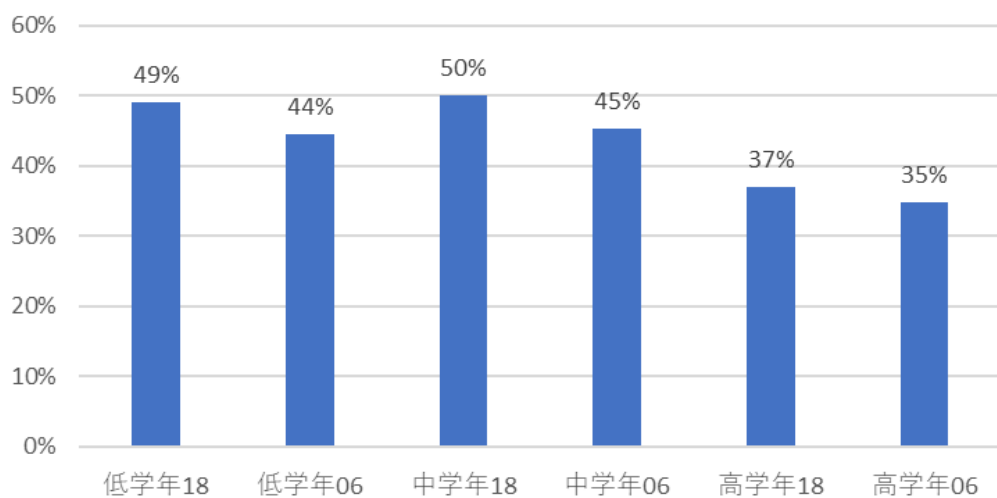


※2006年との比較では「ゲームをしない」という子が全学年で増えています。

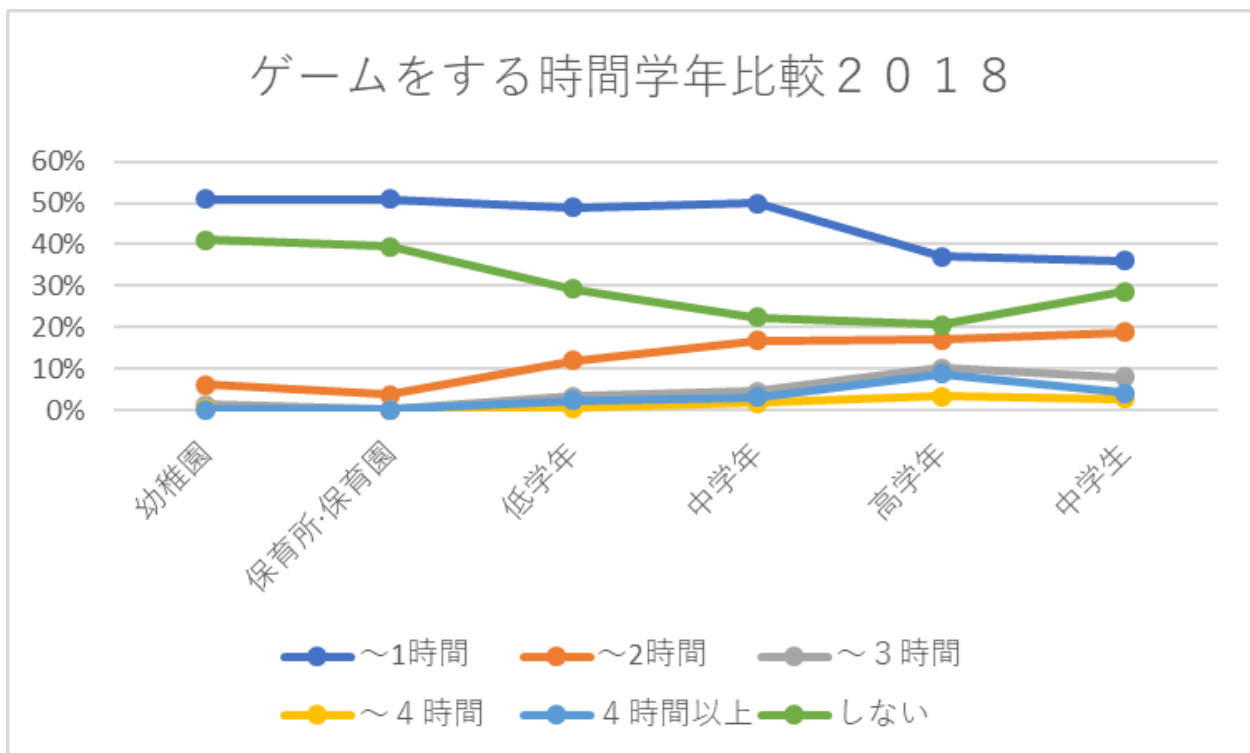
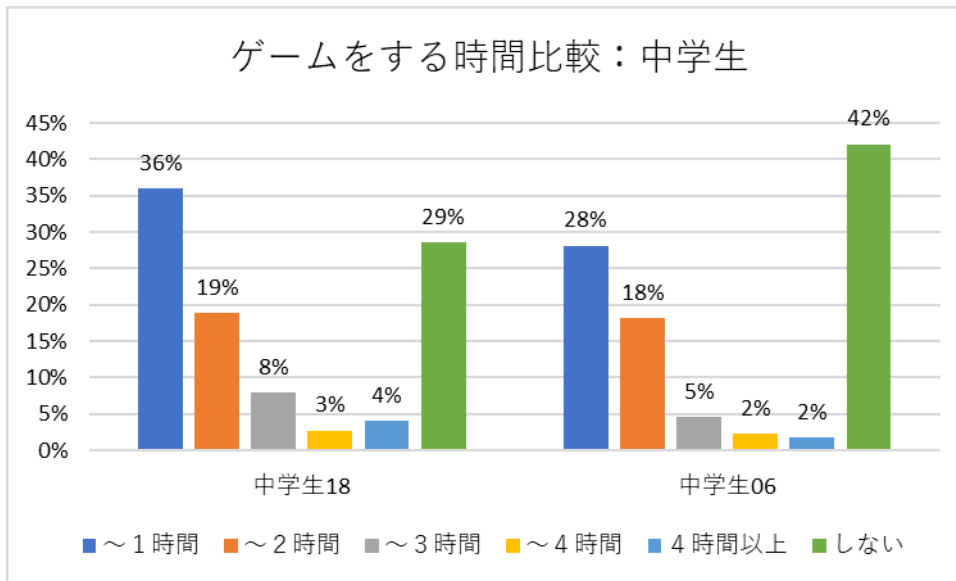
ゲームをしない子の割合比較



ゲームをする時間が1時間以内の子の比較



『何時間ゲームをしますか』中学生

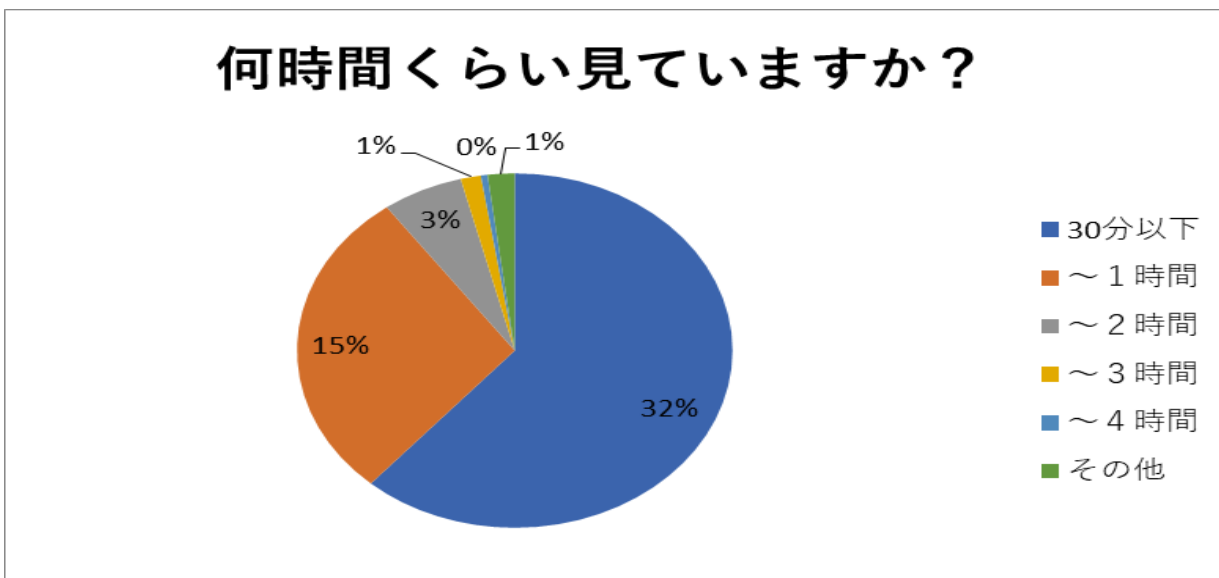
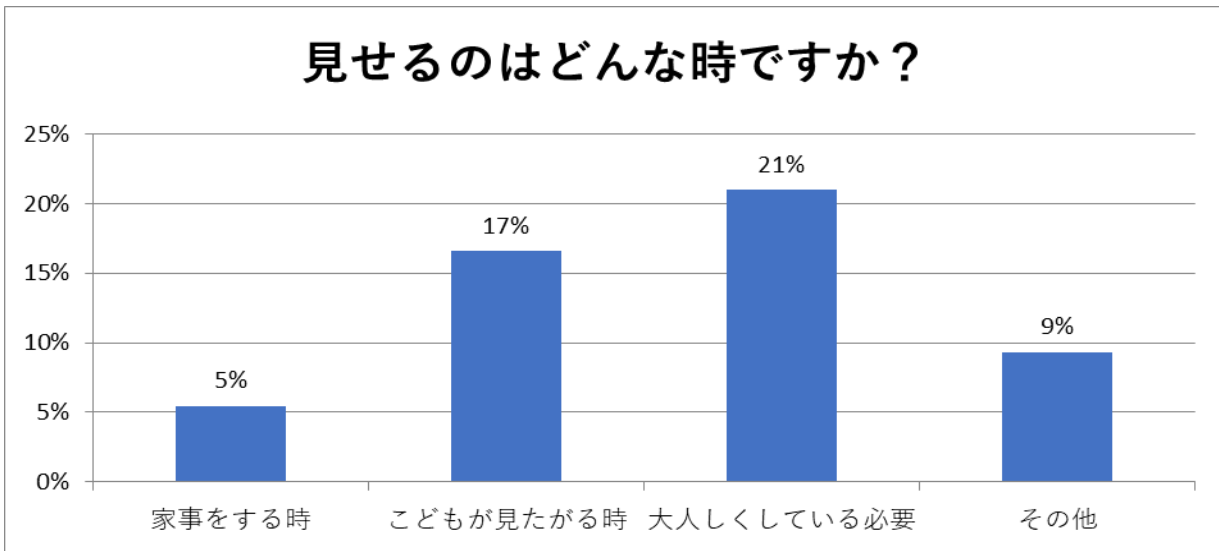
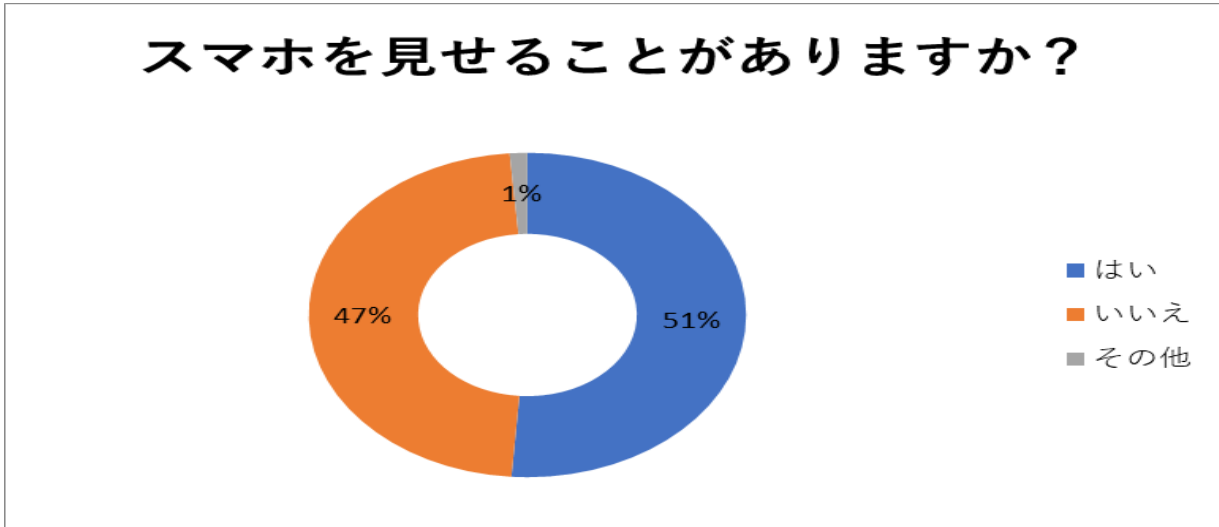


【子どもがス

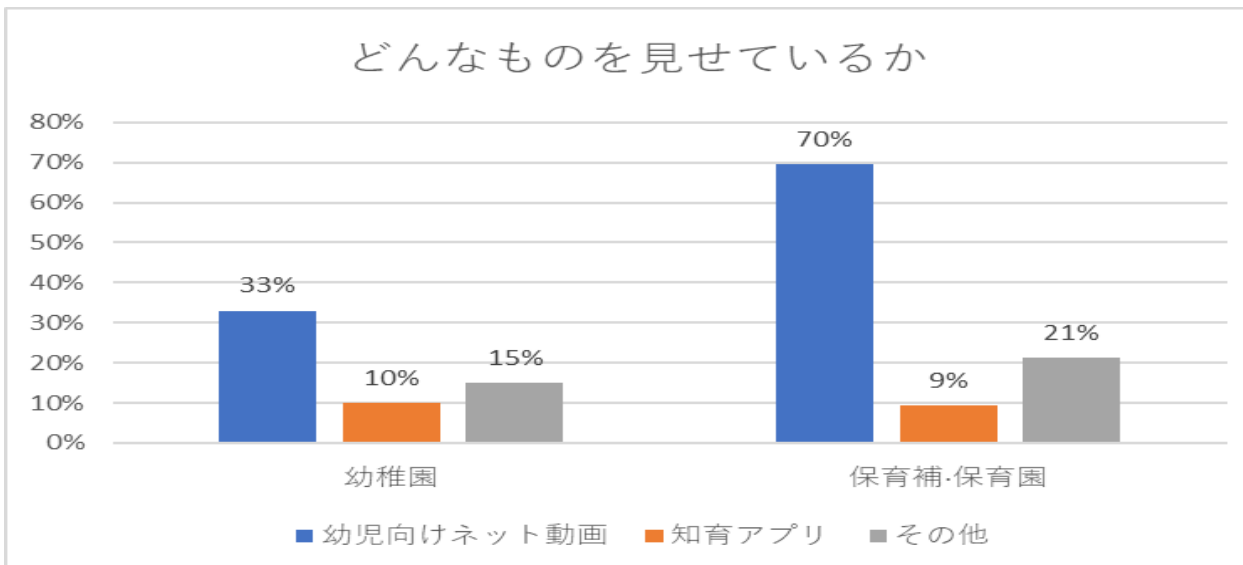
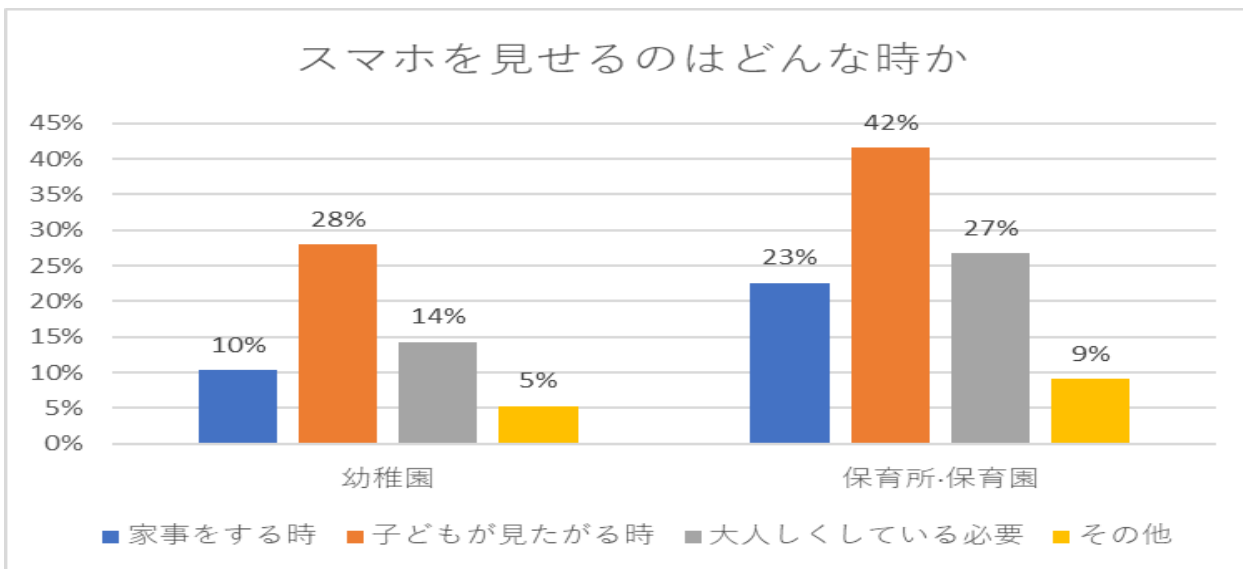
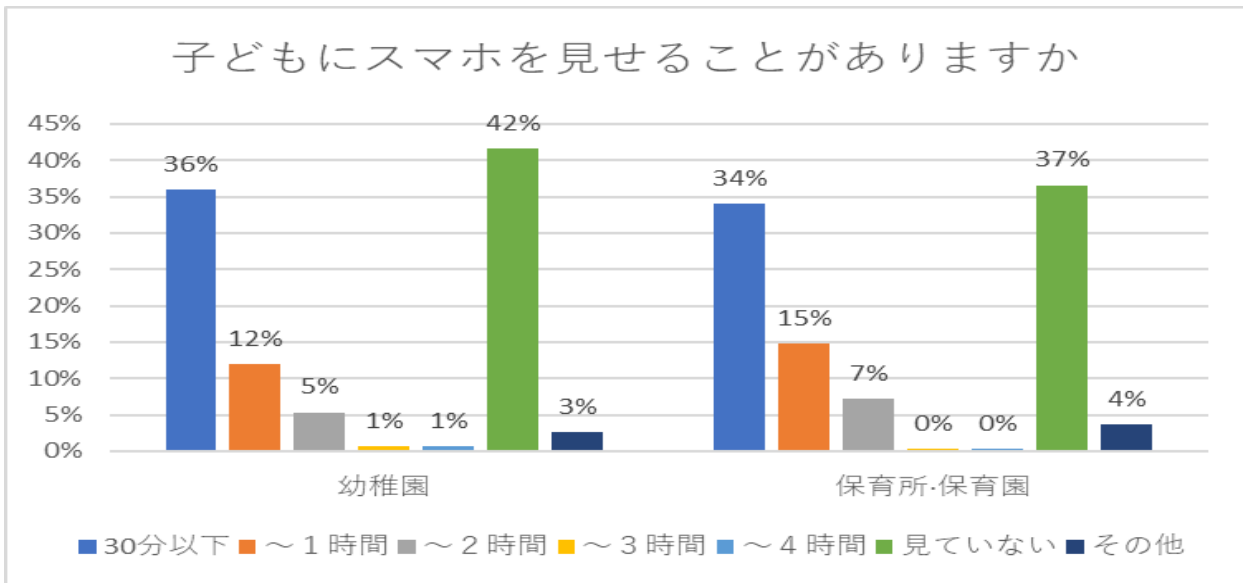
※2006年との比較では中学生も「ゲームをしない子」が減って、「1時間以内の子」が増えています。年齢を横軸にしてみると、1時間以内の子は幼児で高く、高学年や中学生で下がります。「ゲームをしない子」は中学年や高学年で減りますが、中学生で少し増えています。

マホをみる時間】(グラフ31)

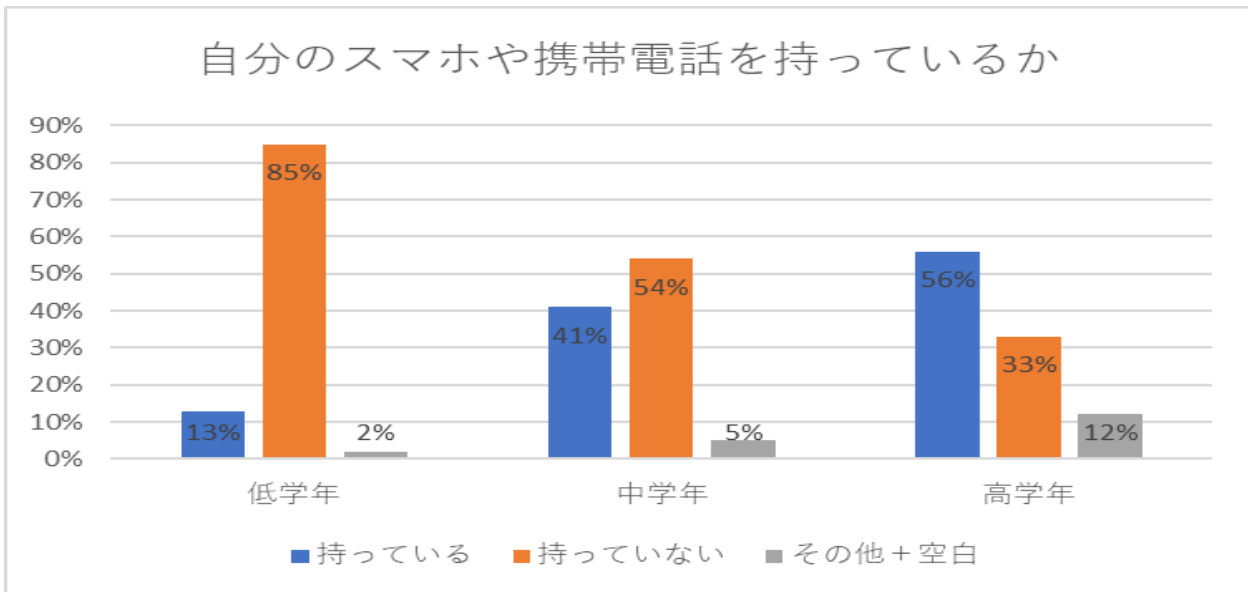
『子どもにスマホを見せることがありますか』 乳幼児



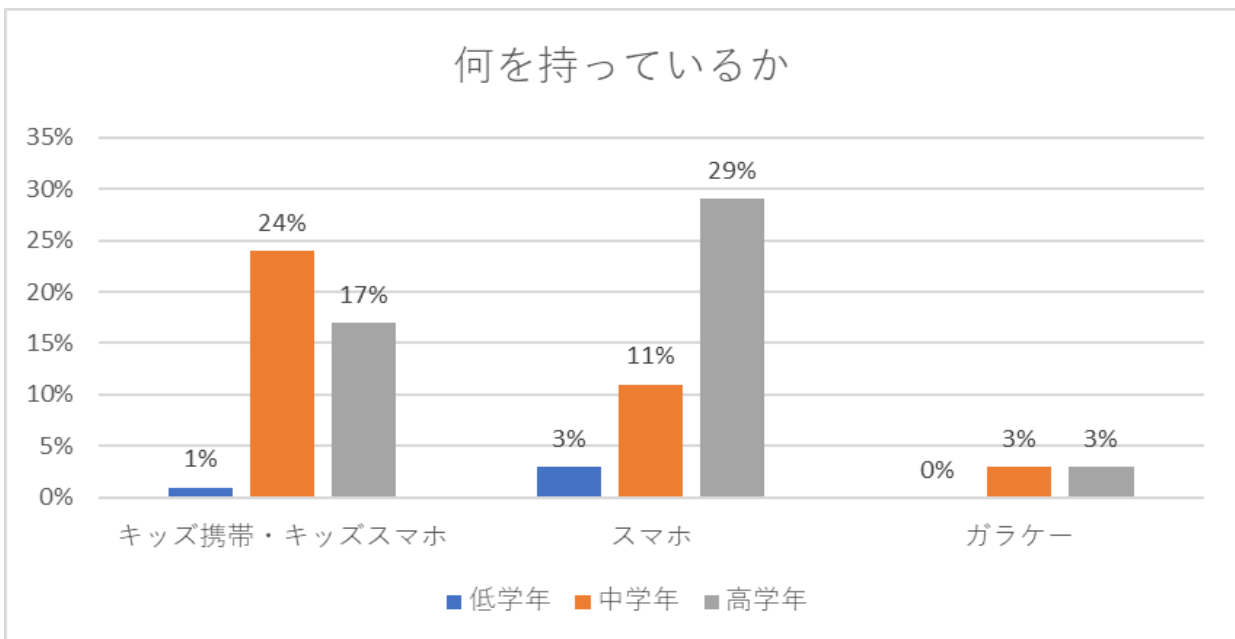
『子どもにスマホを見せることがありますか』 幼児



【子どものスマホ利用】（グラフ31）小学生
『自分のスマホや携帯電話を持っていますか』



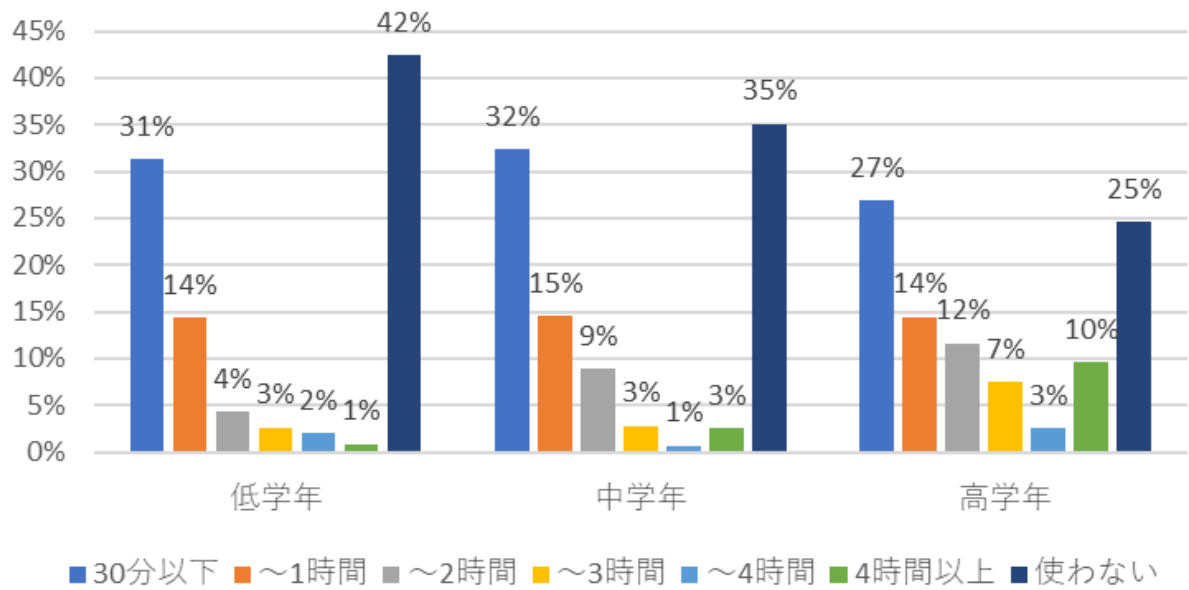
『何を持っていますか』



※スマホや携帯電話の所持については、低学年では86%の子が持っていませんが、中学年では54%、高学年では33%と持っていない子が減り、持っている人が増えます。

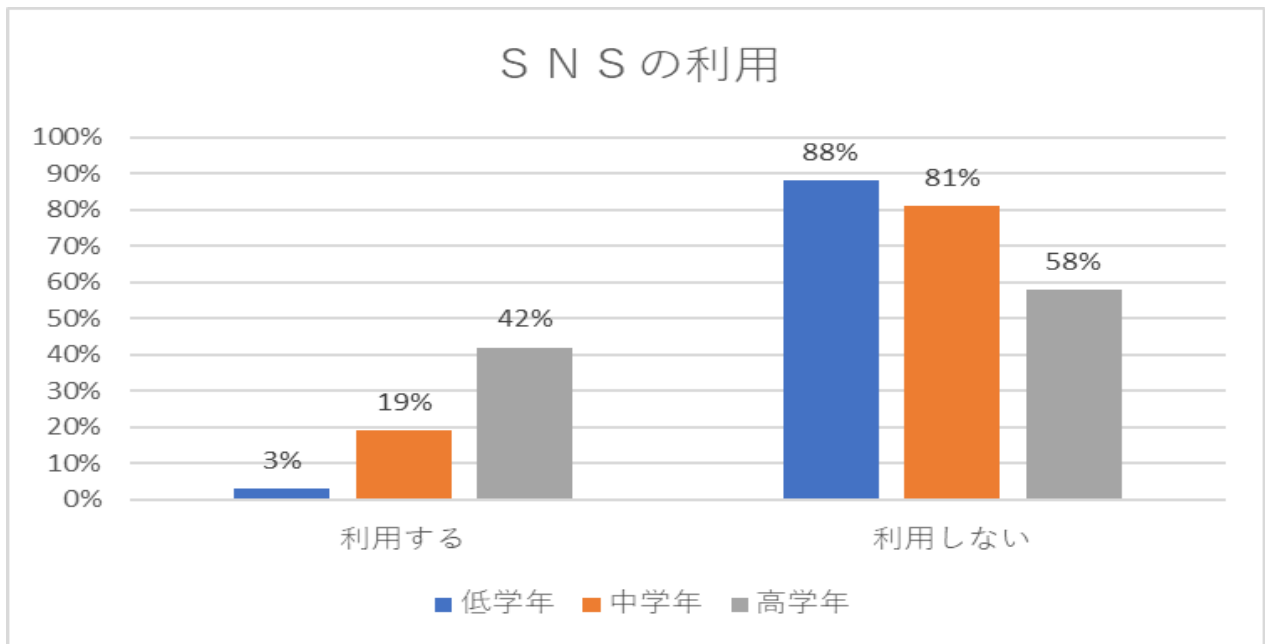
何を持っているかについては、中学年ではキッズ携帯やキッズスマホが多いですが、高学年ではスマホが一番多くなっています。

自分または、親のスマホを使う時間

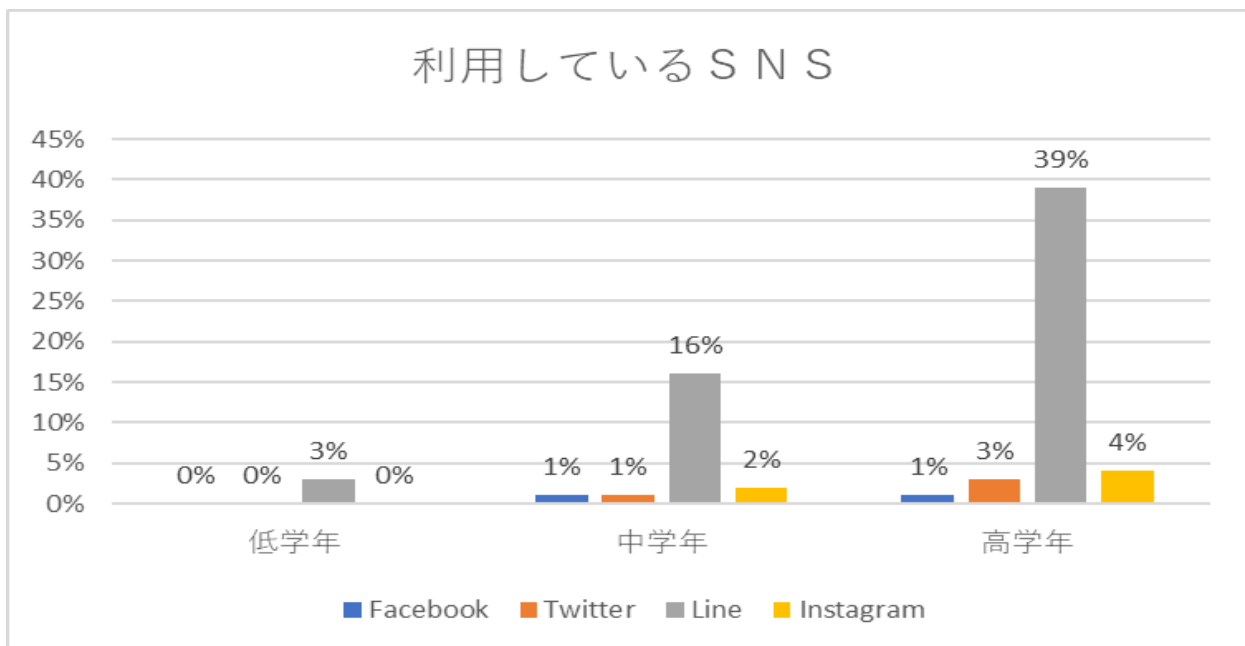


※スマホや携帯電話を所持していても、使わない子が多いです。使ったとしても30分以下の子が一番多くなっています。

【SNSの利用】（グラフ32）
『SNSを利用しますか』小学生

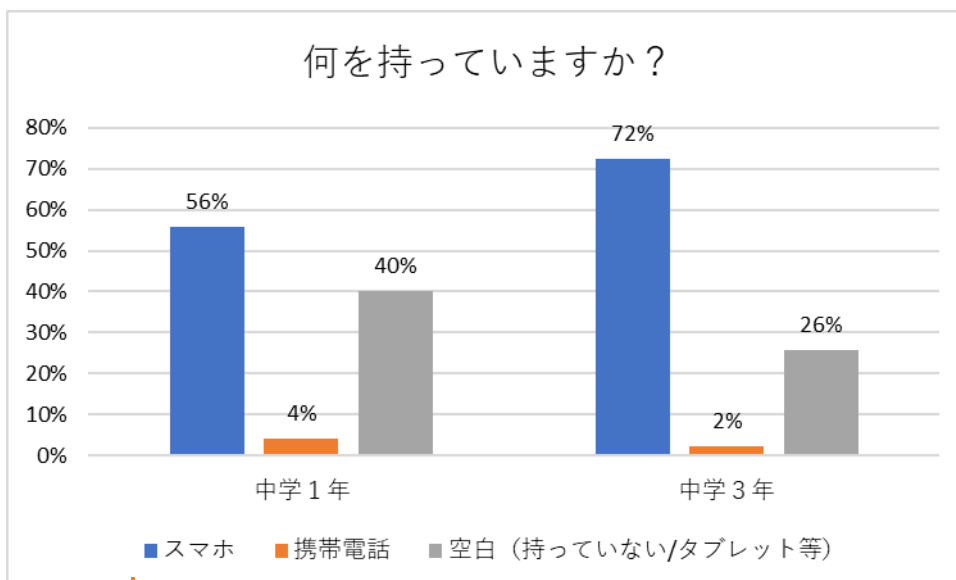
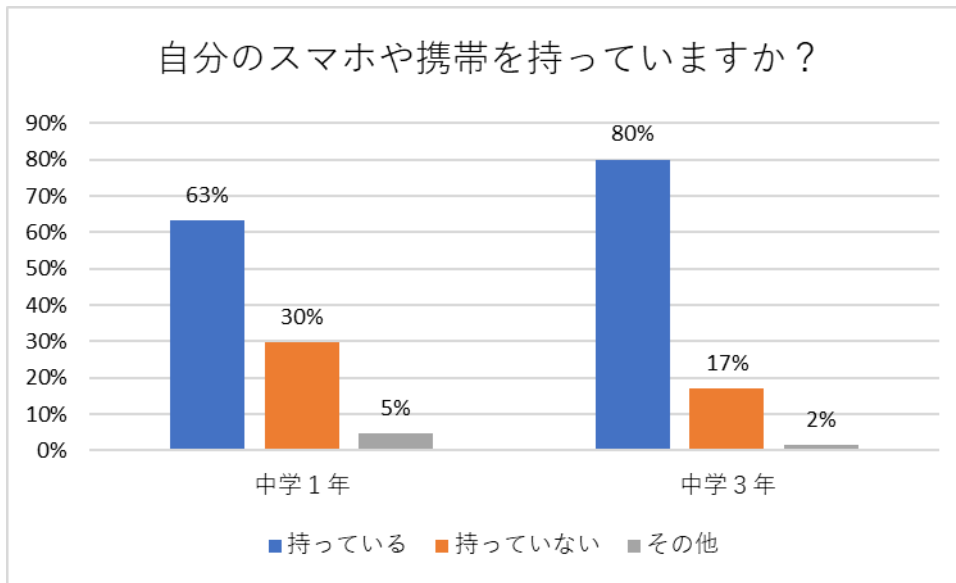


『利用している SNS は何ですか?』小学生



※小学生では SNS を利用する子は少ないです。利用している子の中では Line を利用している子は学年が上がるにつれ増えています。

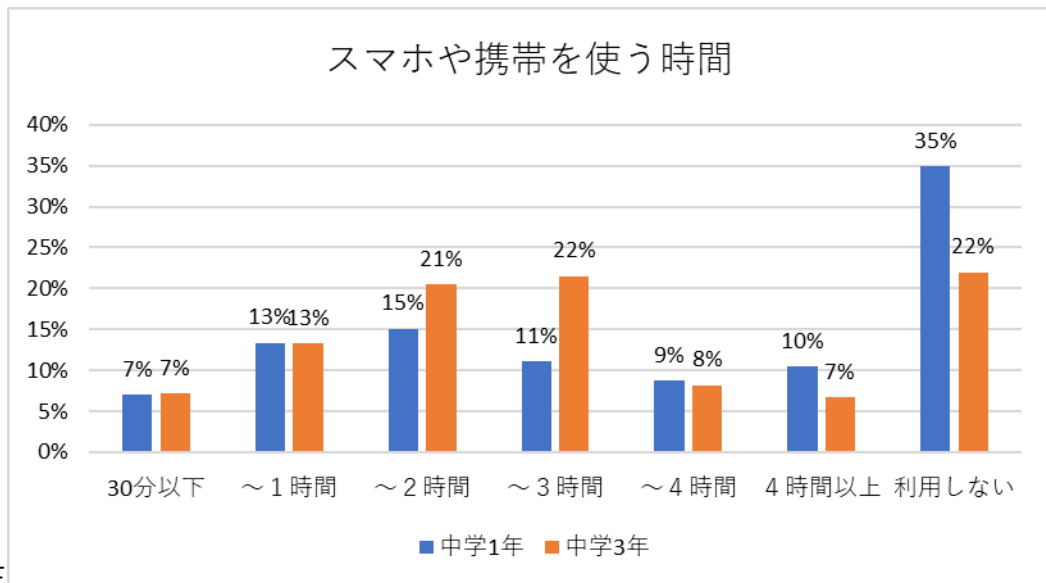
『自分のスマホや携帯電話を持っていますか』



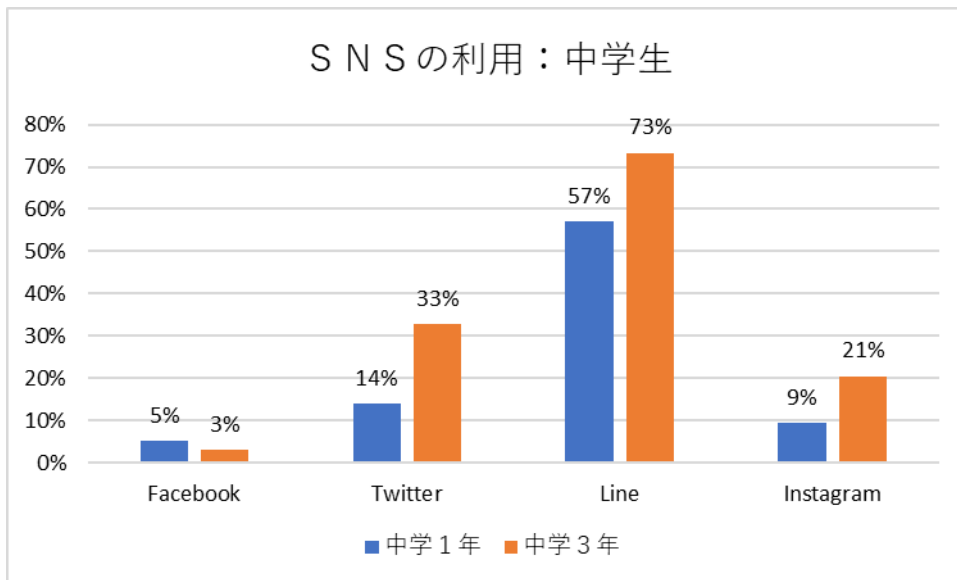
『SNS
を利用
します

※中学1年生では63%の人が、中学3年生では80%の人が自分のスマホや携帯を持っています。携帯電話と答えた人は少ないです。家族共有のスマホやタブレットを持っていると答えた人もいました。

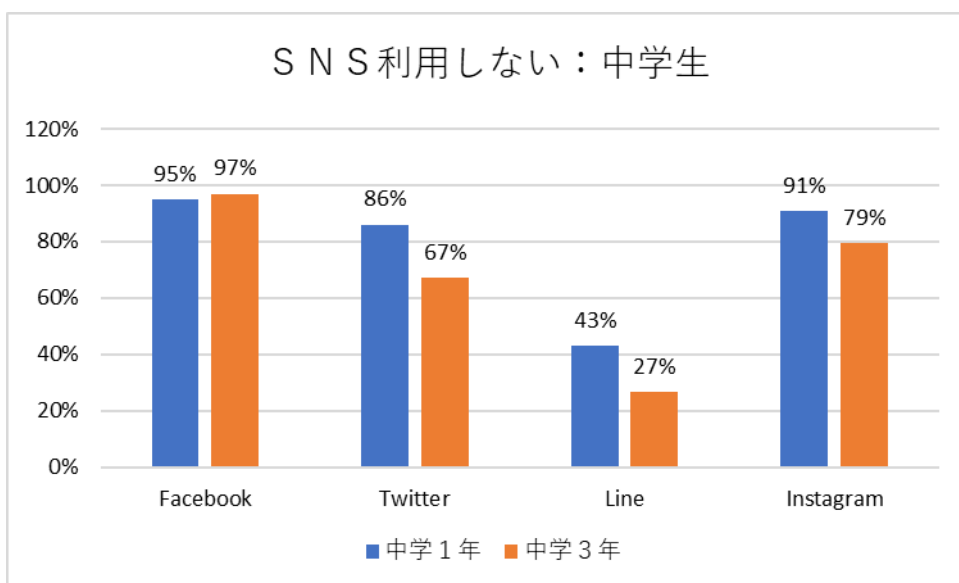
利用時間では20%の人は1時間以下で、持っていても利用はしない人もいます。



か』：中学生



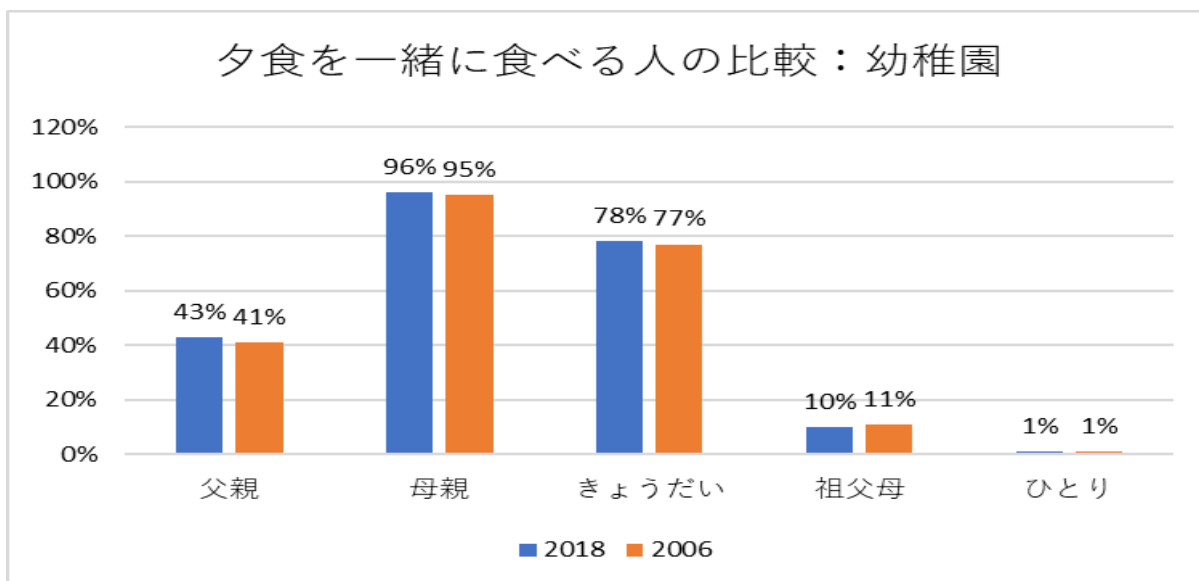
SNS利用しない：中学生



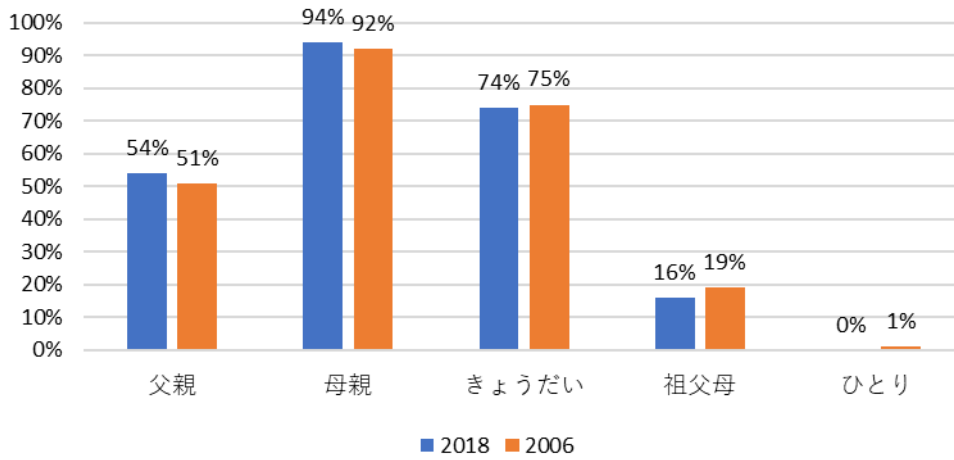
【夕食をいっしょに食べる人】(グラフ34)

『夕食を一緒に食べるのはだれですか』(複数回答) 幼児

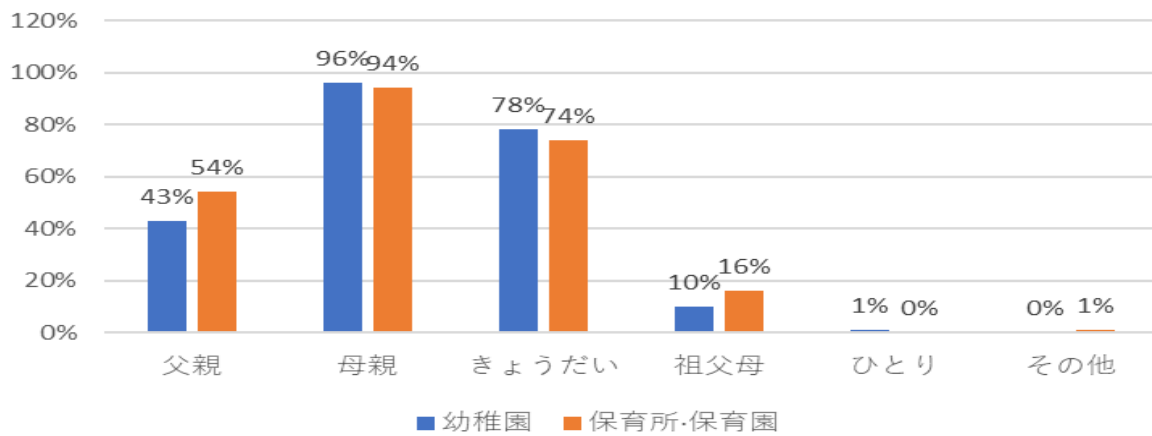
夕食を一緒に食べる人の比較：幼稚園



夕食を一緒に食べる人の比較：保育所・保育園



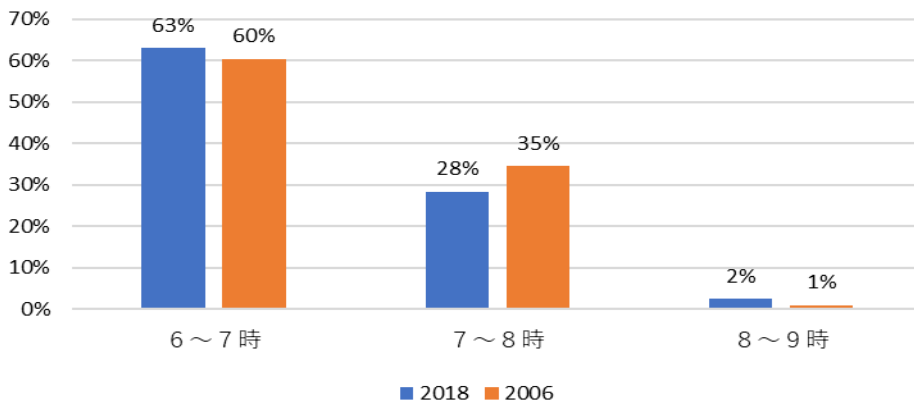
夕食を一緒に食べる相手比較：幼児



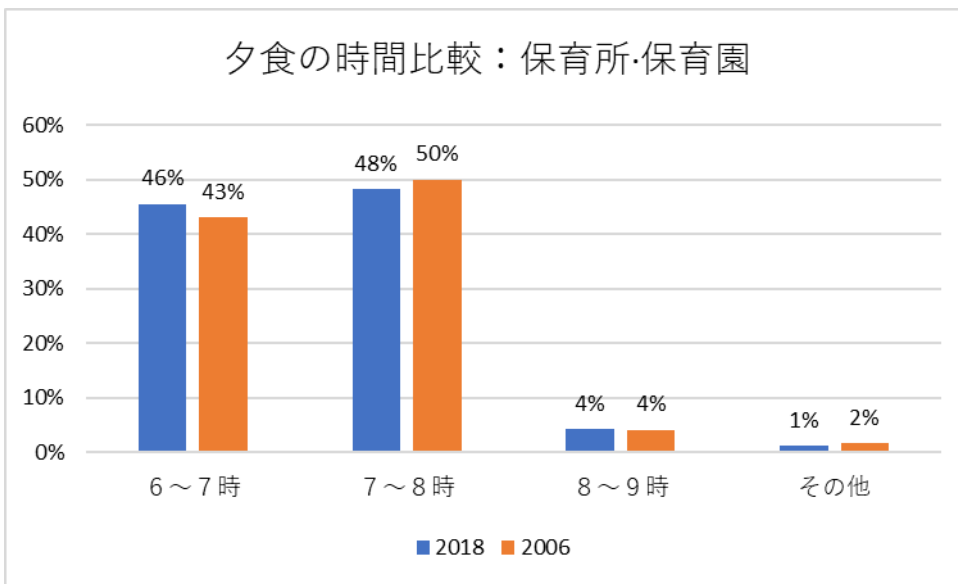
夕食の時間比較：

『ふだん夕食を食べるのは何時ですか』 幼児

夕食の時間比較：幼稚園

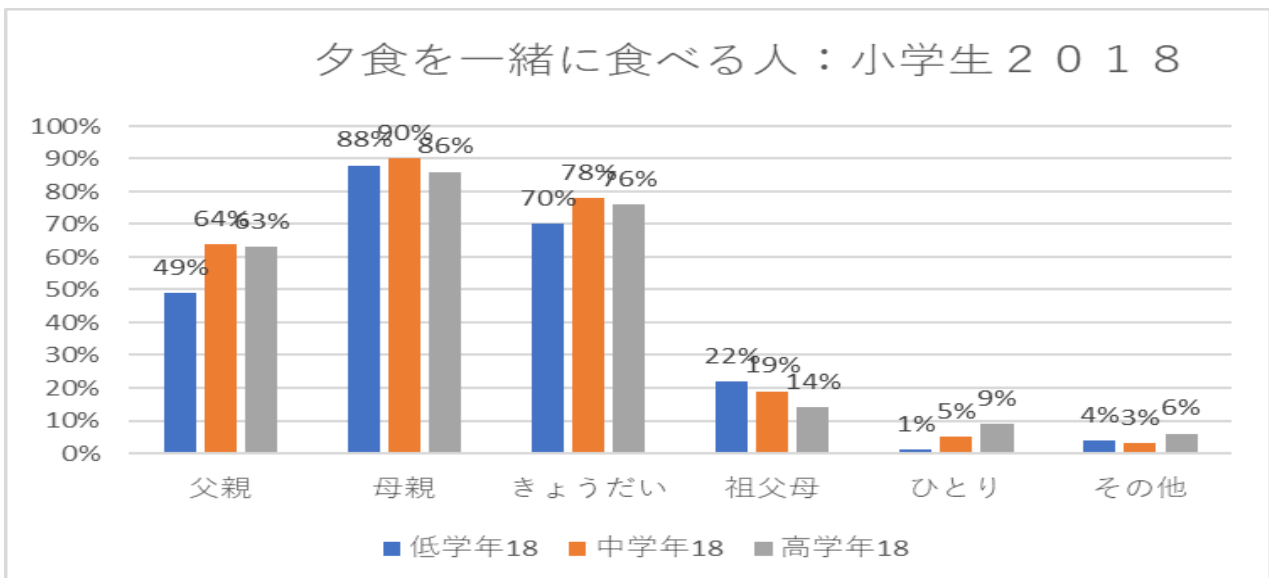


夕食の時間比較：保育所・保育園

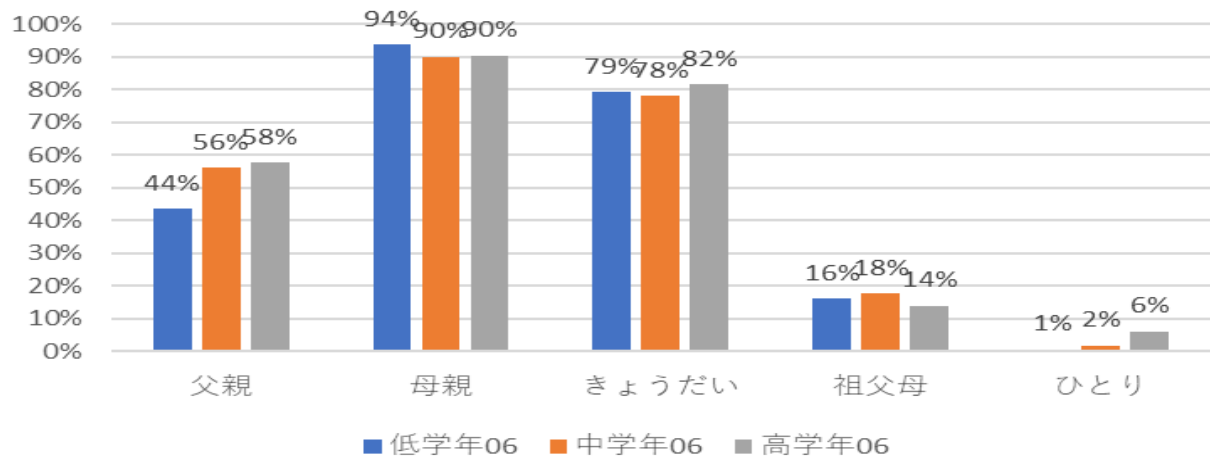


『夕食を一緒に食べるのはだれですか』（複数回答）小学生

夕食を一緒に食べる人：小学生2018

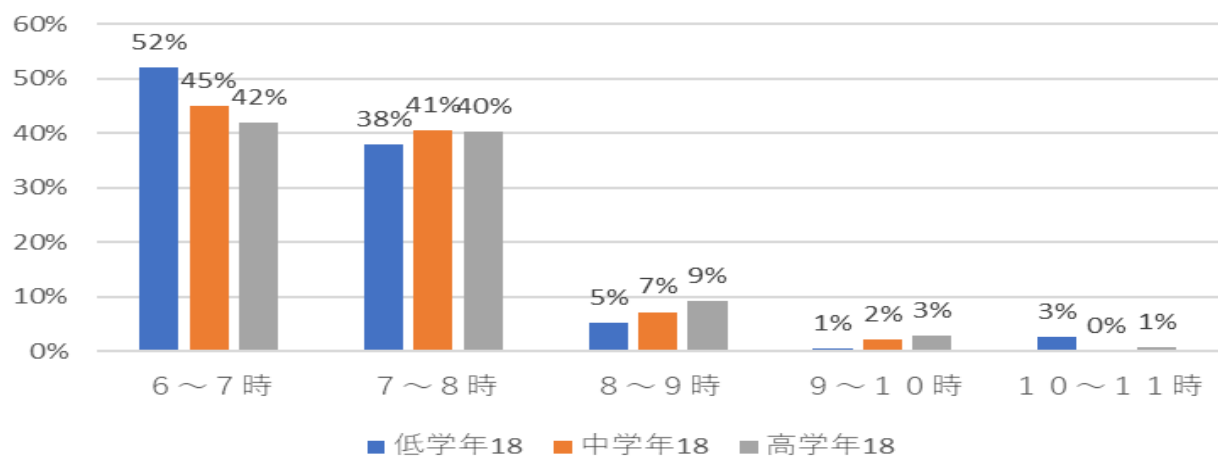


夕食を一緒に食べる人：小学生 2006

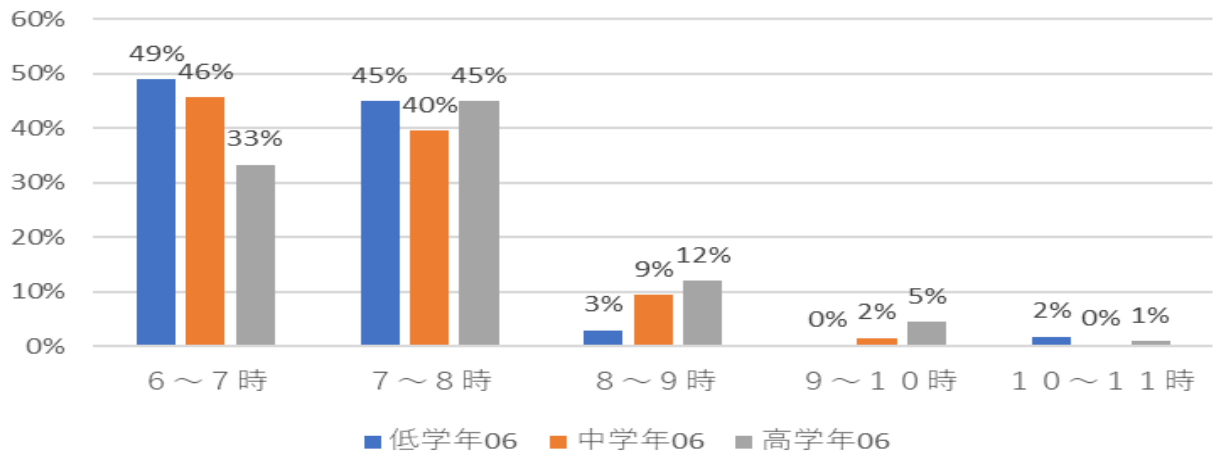


『ふだん夕食を食べるのは何時ですか』小学生

夕食の時間比較：小学生 2018

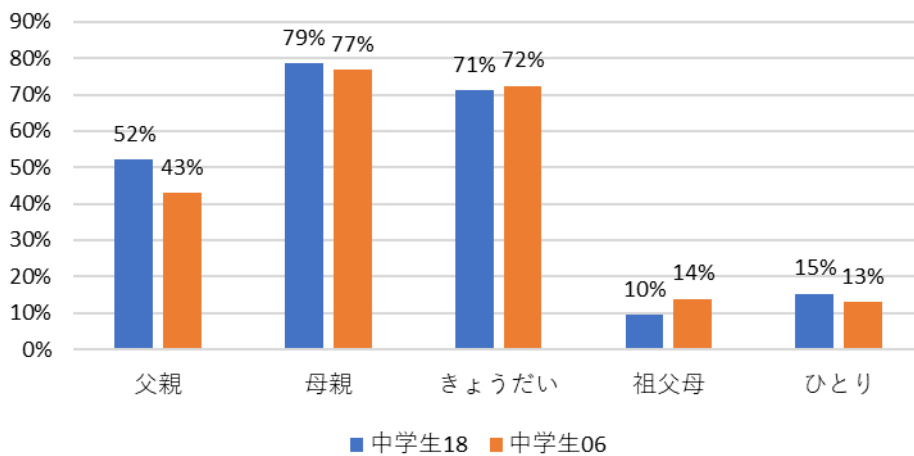


夕食の時間比較：小学生2006

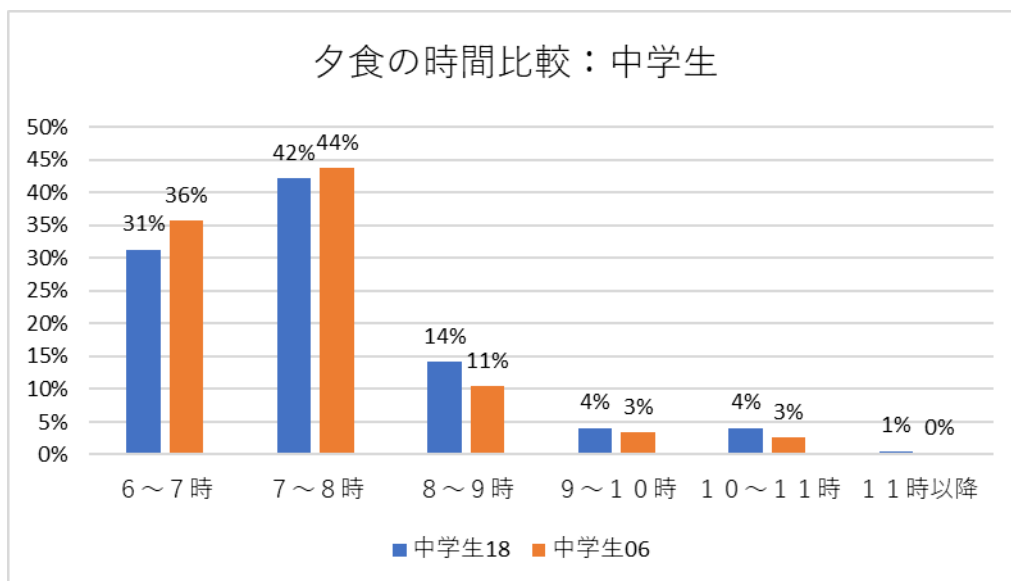


『夕食を一緒に食べるのはだれですか』（複数回答）中学生

夕食を一緒に食べる人比較：中学生



夕食の時間比較：中学生



夕食を一緒に食べるのは圧倒的に母親が多くなっています。しかし、幼児でも4割台、小学校高学年においては6割近い父親が子どもと夕食を食べています。

6. 自由意見—全文—

○「安心・安全」

・「帰りましょう」の音楽が鳴っても小学生たちが家に帰らない。また、親も一緒になっていることが多く、小さい子は見ているので帰りたがらず困る。仕事をしていると、一緒に遊ぶことが少なくなくてかわいそうな気がします。一緒に夕食の準備をするなど、少しでも一緒にできるように考えています。

・18時30分帰宅後、夕食、そして歯磨き、入浴、就寝21時まで待たなしのスケジュールです。テレビや遊びの余裕はありません。

・8区子ども広場についてですが雑草が生え遊べる状態ではないのもう少しこまめに管理していただけると子ども達がいつでも遊べると感じました。

・兄たちの影響でネット動画を見たがります。ひとり遊び(人形など)が少なくなってきました。

・彩の森のような広くて安全な公園が東金子地区にもほしい。遊ぶ場所が少ない。

・安心して遊べる環境があればありがたいです。地域の方の協力も必要だと思いますが、あれば有効活用したいです。

- ・安心して遊べる児童館が近くにあっていいなと思います。
- ・安全でかつ安心して子供が出入りして遊べる所があるといいです。
- ・安全な遊具がある広い公園（駐車場付き）
- ・家の近くにあたご公園がありますが、暗い雰囲気です。近所の子も皆、子供だけでは行かないようにしています。もう少しあたご公園が開けた明るい雰囲気になればいいなと思います。
- ・家の近くにこどもが安心して遊べる場がほとんどない。外で遊ぶことをもっとさせてあげたい。
- ・家の近くに子どもだけで遊べる室内の場所があると幼稚園など関係なくお友達ができ、安心して遊べるかと思う。
- ・移動するのも大変だしお金を使ったりするので、親の責任のもと、幼稚園を16時くらいまで開放してほしい（毎日でなくてもいい）
- ・今は育休中で子どもにかかる時間がある為、気軽にできる習い事があるといいと思った。仕事が始まると習い事をさせてあげられる状況にない、シフト勤務のため難しい。そういう家庭は皆どうしているのでしょうか？
- ・今は帰りが遅いので不自由は特にない。
- ・今は帰りも遅いので特にありません。
- ・いまは学校からかえってきて宿題をやってから遊ぶというきまりをつくっているの、宿題が終わらないと遊べない。宿題に時間が1時間以上かかるので、外に遊びに行くことは出来ない。
- ・今は習い事が増えてしまって利用できなくなってしまいましたが、以前利用させていただいて楽しかったです。
- ・今後、入間市としてどのように取り組んでいくかは具体的には知りませんが、子どもの安全を一番に考えて居場所を作ってください。4年生以降もまだまだ危険です。
- ・外で遊ばせるとき親が近くで見守るのは何歳くらいまで必要なのか。例えば4歳でも見守る親もいれば、家から出てこない親もいる。事故が起きた時に対応とか。
- ・降園後よりも小学生になった時の方が不安。保育園→保護者だけど、小学生は違うので。
- ・宮寺から入間市駅方面へ出る手段が車に乗らない私にはバスしかなく交通の便が不便に感じています。
- ・図書館や市役所、あいくるなどの施設を利用したくても、スマイル号などは週3日、本数も少なく、やまゆり荘を経由しないと駅方面に出られません。入間市民でも入間の施設をなかなか利用できない現状があります。
- ・両親が働いている子が放課後一人で家に遊びに来てしまうというようなことが良くあります。まだ、一年生なので危ないなと思うことがあります。
- ・夕方のチャイムの音量をもっと大きくしてほしい、室内だと聞こえない。正午にもチャイムが鳴ったらいいと思います。

○「遊び場」「遊び」

- ・入間市内に大型遊具のある公園を作してほしい。また設置してほしい。児童館を増やしてほしい。
- ・入間市の児童館は豊岡にしかないの、各学校の空教室を児童室として開放してほしい。

- ・入間市は学校の近くに室内で遊べる児童館が少ない。自分のときはあったのであればよいと思います。
- ・入間市は遊具が充実している公園がなさすぎてびっくりしました。本気でどうにかしたほうがよいと思います。
- ・インターネットやゲームで遊ぶ事が多いので、お友だちと一緒にいる時は他の遊びでもコミュニケーションがとれるような子供達が集まれる場所があるとよいと思います。
- ・お友達と公園に行って遊んだり、お友達の家を行き来したり、放課後に交流が今のところありません。自由に安全に遊べる場所があると良いと思います。
- ・同じ地域の子どもで集まれる、遊べる（安心して）場所があるとよいと思います。
- ・親も子も一緒に楽しめる無料スペースが欲しいです。
- ・買い物のついでに少し遊んでいけるような、スーパーの中に小さな公園があると子どもとの買い物も楽しくなり、毎日の流れがスムーズ
- ・帰りが遅いため、室内で短時間の遊びになる。近隣に安心して遊ばせられる公園がない。
- ・学童ではなくあんしんして小中学生がいられる場所
- ・学童に入れなくなった場合に安全に遊べる場所があるとよい。公共施設を利用して習い事ができるとよい(学校からそのまま行ける)
- ・学校や公民館など開放して、安全に遊べる場所があるとよいと思います。
- ・気軽に遊びに行けるところがあるとありがたい
- ・気軽に子どもだけで行ける公園があると嬉しい
- ・気軽に子どもを預けることができる場所があるとよいと思う。自由に自転車に乗れる公園が減っているので子どものサイクリングロードのようなものがあるとよいと思う。
- ・兄弟がいるとなかなか全員を十分に遊ばせる環境にするのは難しいと日々感じています。どの年代をどう遊ばせるか毎日悩みます。
- ・近所に大きな広場があるとよいのですが（ボール遊び、大声を出せる）自転車はまだあぶなく1人では行かせられず（仕事があるので付き添う事がむずかしいです）→家の前で小さく遊ぶ事になります。
- ・近所に同世代の子が少ない、学童にいていいるときの方が友達と遊べて楽しいようです。学童がない日の放課後は家の中に居ることが多く昔と比べて気軽に外に遊びに行ける環境がないのが残念です。
- ・近所に年の近い子や同じ幼稚園の子がいないので、室内で遊ぶことが多い。
- ・下校に時間がかかることや近所に同級生の遊ぶ子がない事などから放課後誰かと遊ぼうとしません。（近所に遊び場もありません）
- ・降園後は帰って寝るだけなので充実していない
- ・公園が近くにないで家の中で遊ぶようになってしまう、公園が増えれば降園後外で遊ぶ時間が増え、テレビを見る時間が減ると思うので公園が多くなることを願います。
- ・降園後立ち寄れる遊べる施設がもう少し増えると嬉しい。雨の日、公民館が開放されるとか…。
- ・降園後は片づけ、夕食の準備などがあり、なかなか外で遊ばせてあげられない、外遊びを沢山させてあげたいと思っても暑かったり雨だったり家遊びが多いです。

- ・公園しか遊ぶ場所がないのに、公園が近くにない。外で遊んでほしいのに、安全等を考えると家で遊ぶしかない。
- ・公園で遊ばせてあげたいが、遊べる公園がないので家でテレビを見せている。入間市は子育てがしづらいです。
- ・公園に行くには車を使わなければいけない距離だったり、家の近くだと走り回するには小さな公園だったり…。入間市内にも子どもが思いっきり遊べる公園が増えたらうれしいです。
- ・公園に行くまで安全な道であって欲しいと思います。遊びを提案してくれる場があると嬉しいです。
- ・交通事故や変質者に遭う心配がなくのびのび遊べる場があればいいと思う。
- ・校庭や園庭で遊べたら、親として安心だが、親のモラルが大きそう。ボール遊びや水あそび、花火 etc 友達とワイワイできる場所がない、悲しい。
- ・公民館しか遊べる場所が無いので、児童館を藤沢地区につくってほしい。歩道が狭く、道があぶない箇所があるので安全に通れるようにしてほしい。
- ・子どもが安全にのびのび遊べる場所が少ない。
- ・子どもだけで行ける範囲で公園がないのが悩みです。区画整理中の住宅地なので仕方ありませんが、小学生の兄たちも車を気にしながら遊んでいます。
- ・子どもたちが自然と集まる遊び場がたくさんあると嬉しい。
- ・子どもと歩いて行ける公園がないのであると嬉しい。
- ・楽しく遊べる遊具のある公園が少ないのもっと充実して欲しい。
- ・近くで車で行けて、遊具がたくさんある公園
- ・近くに公園がないのもっと気軽に幼稚園の子と遊べたらいいなと思う。
- ・近くに遊具がたくさんある公園があったら助かります。
- ・近くの公園に行って遊ばせてあげたいのですが、下の兄弟の昼寝や習い事の関係で一緒につき合っただけができません、ゲームやスマホを使っていることが多いです。何か別の事をして過ごして欲しいと思う日々です。
- ・低学年の子が安全に遊べる公園がもう少しあるといいなと思います。
- ・トイレのある公園が少なく遊ぶところが限られる、砂場があるところも少ない、近くに自転車で走れるところも少ない、児童館もなく本当に困っている。
- ・同世代の子と遊ばせてあげられない、近くに児童センターのような施設がもっと充実しているといい。
- ・子どもの父は平日は夜遅くまで働いているので、母一人でたいてい夕方帰ってから読み聞かせ→風呂に入れ→食事をさせ→父が帰って来たところに寝かせるというようなことをしているので、降園後は出かける時間がないのですが、本が好きな子でほったらかしでも何となく楽しく過ごせているようです。
- ・仕事をしているため平日は子どもと一緒に遊ぶ時間があまりない。
- ・仕事をしていると時間がなく、家で遊ぶ時間もあまりないです。
- ・仕事をしているので、子どもを1人であそびにいかせられず近所のみとなります。安全な大勢であそべる場所が近くにあるとうれしいです。

- ・自宅の前の道路でボールや自転車で遊んでいるが、ご近所の迷惑（車にボールがぶつかるなど）になるので、近くに公園があると大変助かる。年中になりボール遊びも活発になってきているので。
 - ・市内の公園には遊具が少ないと思います。児童館も少ないので作って欲しいです。
- 宿題をできるだけ少なくしていただき、友だちと長く遊べるようにしてほしい。小学生は遊ぶ時間が多く取れたほうがよいと思う。
- ・小学生の子どもがいるのですが、6時間授業をして帰宅すると遊ぶ時間がないくらいです。夏は暑すぎて外で遊ぶことがあまりできず、今の子どもたちはかわいそうに思います。でもうちの子たちは比較的、近所を走り回ったりと遊んでいるほうだと思います。いろいろな意味で子育てがしづらく子どもが外で遊びづらくなっていると思います。親としても大変さを感じる時があります。
 - ・家事をしている時にどうしても手が離せなくて、テレビゲームやYouTubeに頼って、いざ、やめてほしい時に親の言うことを聞いてくれなく、反抗的になってしまうのでどうしたら前のように戻れるか悩んでいます。
 - ・外で過ごしたり、買い物に連れて行ったりしています。他にいい方法があったら知りたいです。
 - ・「ごろごろ」が週3日くらいあればいいと思います。家が遠いお友達とも遊べるので。
 - ・所沢に住んでいた時は近所に児童館があり様々な年齢に対応したおもちゃ（知育）がたくさんあり先生や近所の方と交流がありとても良かった。入間市は子育て施設等の不便がある。晴れている日は公園や自宅などで遊べるのでいいのですが、雨の日に遊べるところがあるといいです。入間の児童館は少し遠いので…。
 - ・普段は家の中か、敷地内周辺で遊ぶが、もっと近くに公園があればいいと思う。
 - ・普段はフルタイムで仕事をしているので家に帰ってからは遊ぶ時間がありません。むしろ小学生が遊べる場所、児童館などを増やしてほしいです。（各公民館の開放など）
 - ・フルタイムで働いているので降園後は時間がありません。
 - ・平日の降園後だとどうしても帰りが遅くなってしまい、寝るまでに遊べる時間、一緒に過ごしてあげられる時間がなかなか作れないのが現状です。その分休みの日にとお思いますごしています。
 - ・保育園後に外で遊ぶ時間はほぼありません。どうしても屋内で一人きりで遊ぶことになってしまいます。
 - ・ボール遊びのできる環境が少なく、近所でボールで遊んでいたら苦情が来てしまいました。何か良い場所がないか、又は作れないかと考えさせられます。
 - ・毎日ある宿題や本人のやりたい＆親のやらせたい習い事で昔と比べて子供が遊ぶ（主に外遊び）時間が少ないと感じる。よいこチャイムはなかった。各家庭で門限あった。外遊びを工夫した。ゴムとび。ボール遊び。など。
 - ・猛暑や雨天、寒い時に室内で遊べる施設があると助かります。
- もう少し子育てママが行きやすい場所がほしい。支援センターも人が多すぎると思うように遊べない時もあったし、最初は行きづらかった。
- ・遊具もない、ボール遊びもできない公園しか近所になく、集まる子どもが少ないとすぐに帰ったりして、家の前で遊んでいるような状況です。今どきの子どもの遊び場を考える事は大切だと思います。

- 幼児の降園後は帰宅してから寝るまでの時間があまりないため、深く考えることがありません。小学生以上の放課後、安全で安心して子供が行ける施設が増えると嬉しいです。
- 幼稚園のバスが 15:30 につきチャイムが 16:30 や 16:00 になるとほとんど外では遊べないので、考えないと思います。姉妹でよく遊ぶので、テレビをつける必要がないので、良い事だと思います。
- 年少児のため、降園後はまだ昼寝と言うか、仮眠を取っている日も多々あります。
- 年少なので、昼寝が必要だがさせてあげる時間がなく、夕食、お風呂、就寝となってしまう為、毎日話しをする前に眠くなってしまい、いつも申し訳なく思う。預かるところで少しでも昼寝ができれば「早く寝させるために頑張る」ことはなくなるし、とてもありがたいです。
- 支援センターで土日祝もやっていただらいいなあと思います。
- 公園に小さい子が一人で座れるブランコを作って欲しいです。
- 子どもと遊びをする場所や広場が少ないために行く場所が限りがあってたいへん。
- 図書館の本を充実させて欲しい。
- 今は、2歳の子に寄りそって育児ができていますが、仕事復帰後、子供が小学生になった時、遊び場が心配。児童館が近くにあるといいが、近くにないので。遊んだり、宿題などができる学習スペースがほしいです。
- 児童館が欲しい
- 児童館は、休日や午後になると人が多かったり、小学生が多かったりして、小さい子供を遊ばせられません。休日でも親子で落ち着いて遊べる場所があると嬉しいです。
- 年齢別にその時に合った遊び、工作を紹介してくれるプリントが配られるととても参考になる。
- 水遊びが安心安全にできる公園が欲しい。
- 遊具のある公園、子供連れでも安心して歩ける道路。
- 遊びにしても何にしても一緒について行かないとまだ危ないとか自分で判断出来ないのも外で遊ばせる→家事が出来ない→家事をする間に携帯を見せる、という悪循環ですが、働いている母親からすると、時間を決めて見せるのはしかたないのかな?とも思います。あとは保育園から帰るとすぐに市役所の「帰りのチャイム」になるのでなかなか外で遊ばせません。
- 一緒に遊べるのは、仕事のない日曜日だけなので、日曜日に支援センターのような雨の日でも遊べる場所を開けてほしい。平日は保育所が預かってくれるので、安心して仕事ができありがたい。
- よい子チャイムが11月以降16時というのが早く、外で遊べる時間が少ない。

○預かり

- 親が仕事の日、子供を預けられる場所がほしい。週3日でも利用できる所。
 - 学童の定員を増やしてほしい。利用料金を安くしてほしい。
 - 他市、他県である様な、保育園後+学習教室、学童+学習教室的な有料となっても一旦帰宅せず、そのまま保育園、お迎えバスにて教室へ的なサービスを充実させてほしい
- 時折お迎えの時間に間に合わない用事がある時に預かっていただける所があると助かります。
- 普段は仕事をしているため園で預かり保育をしていただいています。他学年の子と過ごす時間で新しい刺激があるようで大変助かります。

- ・来年小学校にあがります。学童には入れないとき、放課後どうしているのか気になります。両親ともに18時まで仕事、祖父母が近くにいないくて、学童に入れなかった子供がいけるような場所が近くにあれば嬉しいなと思います。
- ・場違いな意見でしたらすみません。保育園では19時ごろまで子どもを預かっていただけていますが、学童保育になると閉室が18時になってしまい、仕事を変えざるを得ません、保育園ならokなのに、なぜ学童だとダメなのか、子どもは成長しているのに仕事をあきらめなければならない現状がどうにかならないかと思います。もちろんファミサポなどの利用も考えていますが、数年になると負担は大きいと思います。
- ・病児を預かっていただけると助かります。祖父母が近くにいないため休めないときは困っています。
- ・公共の場所はほとんど利用できません。仕事も土曜日まであるので難しいです。

○習い事

- ・習い事は人づてに情報を聞くことしかないので、近所の地域の習い事が知れる媒体があるといいと思う。
- ・時間はたっぷりあるように見えますが、英語やピアノなど十分に練習できる時間がほしい。習い事をそろそろ考えていきたいが、両親共働りで不定休なのでなかなかさせてあげることができない。時間帯や場所などで、行きやすくお金のあまりかからないところなど公共であると助かります。
- ・習い事を増やしてしまったので、遊ぶ時間が減り少しかわいそうな気がします。
- ・ひとりで通わせるのが心配なので、学校内で習い事ができると良いと思います（有料）。
- ・保育園や小学校に習い事の先生が来て下さる等、気軽に参加できる習い事（箸の使い方、えんぴつの持ち方、ひらがなの練習などかんたんなもの）があればおむがえのついでに学べていいのになあと思います。
- ・放課後子ども教室が色々な形で週に何回かあると嬉しいです。
- ・幼児も参加できる料理教室があるといい。

ま と め

今回のアンケート調査にご協力くださいました保育所・保育園、幼稚園、小学校、中学校のみなさん、保護者のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。12年前のいるま生涯学習フェスティバルで放課後の子どもたちのアンケート調査に取り組みました。メディアが報道している子どもたちではなく、入間市に住んでいる子どもたちの様子を知ったうえで自分たちにできる取り組みをしようという考えからでした。アンケート結果は子どもに関わる各団体が取り組みを考える際などに活かされました。また今後も継続して取り組むことでより子どもの様子や、団体が取り組むべきことが明らかになるだろうと考えていました。

そして12年たった2018年、そろそろ「放課後の子どもたちアンケート」に取り組みもうという意見のもと、第24回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会で取り組みが決定されました。

前回の取り組みによって統計学の「と」の字くらいは学習したメンバーですが、その後の長い年月の間に学習したはずのことも忘れていたというのが実状です。再び手探りで動き出したこの事業でしたが、駿河台大学の南林先生の適切なアドバイス、そして前回以上の2567名ものご協力を頂き調査を実行することができました。限られた時間の中、みんなで手分けして入力作業を行うなどしてようやくここまでこぎつけました。改めまして、アンケートに関わって下さった多くの方々に感謝申し上げます。

さて、私たちは、アンケートを作成・実施する前に、「放課後の子どもたち」について、いくつかの仮説を立てました。スマホやSNSなどの登場が子どもたちの生活や保護者たちに影響を及ぼしているのではないかとことです。

アンケートを実施して、2006年以上に「父親と夕食を食べる子どもが多いこと」が判明しました。これは「イクメン」などの社会の価値観の変化が子どもたちや家庭生活に影響することが判明しました。新たメディアの出現で2006年に懸念されていた「ゲームをする子」や「テレビを見る子」は数を減らし、乳幼児期から「スマホ」を見る子が現れています。数字を見る限り、配慮のある利用がなされているようです。小学生でもSNSなどの利用が始まっていますが、利用しない子や1時間以内の子が圧倒的に多いことから、保護者が十分に配慮していると思われる。

しかし子どもたちは新しいガジェットに関してはおとなより一歩前を歩いていきます。SNSによるトラブルなどは周知のとおりですので、子どもたちが安全に過ごせるようおとなが心を配る必要はあると思われます。

習い事に関しては2006年よりも全体では減る傾向で、しかし多い人は多い、つまり格差が見られる結果となりました。

アンケートの自由記入には、とても多くのご協力を頂きました。一番多かったのは「遊び場がない・遊び場がほしい」という声でした。特に「車の安全・不審者などからの安全な遊び場の必要性」「遊具の充実した遊び場」などはたくさんの意見がありました。「ボール遊びができ、のびのび走り回れる遊び場」が求められているのも分かります。児童センターのような施設が欲しい（主に藤沢地区）という意見も見られました。また「放課後の遊びの仲間・相手を見つけるのが大変」という方もいました。今回、自由記入の意見を頂いたのは、幼児から小学校低学年までの子どもを持つ保護者のみでしたので、中学年以上を持つ保護者の意見は少し違っているのかもしれませんが。「このアンケートを活かして、現状を改善して欲しい」という意見がとても多くありました。

我々がやらなくてはならないこと、やるべきことは、この結果を活かしていくことです。「放課後の子どもたちアンケートプロジェクト」に参加していた団体・個人が、この結果を元に「自分たちにできること」を考え、入間市の子どもたちのために行動していかなくてはなりません。そして、より多くの「いるまの大人」が一緒に考え、「いるまの子どもたち」のために行動するネットワークがますます広がっていくことを期待しています。

「放課後の子どもたちアンケートパート2」

プロジェクトチームメンバーの感想

「子どもたちがちゃんと遊んでいるのか知りたい」というのがこのアンケートに取り組んだきっかけだった。「ちゃんと遊べる」が何をさすのかはそれぞれの大人の価値観によって違おうだろう。

確かにゲームのせいで、外遊びが減っているかもしれない。それから「習い事」のせいで遊び相手が見つげにくいかもしれない。アンケート結果によると保育所・園・幼稚園から小学校に入学するところで、ゲームで遊ぶ割合が急に高くなる。いろいろな解釈ができると思うが、「なるべくゲームはしないで、のびのび外で遊んで欲しい」といったような親の思いが幼児時代に働いていると私は受け取りたい。習い事について学年が上がるにつれ増えていくのも「チャンスを広げるための備え」という親たちの子どもへの思い（それがいいかどうかは別として）と見よう。私たちは現実について、悲観的な見方をしで嘆くこともできるし、よいところを見つけて育てていくこともできる。

親同士が集まって子育ての話をする「どろだんごの会」を作ってから6年が経った。今の世の中、「正解の子育て」はない。だから「これはおかしい」「これはいい」という自分の感覚を確認しつつ、その感覚をみんなで分け合いながら、一緒に子どものことを考えていく親同士のネットワークがとても大切だ。毎回一人ひとりの思いが少しずつ明らかになり、みんなが受け止め合う。その一步一步でそれぞれが親として育てていっている。そういう機会を子育てしている人たちみんなに送りたいと思う。

【関谷敦子 生涯学習をすすめる市民の会】

アンケートの結果を見ると、こんなにも「遊び場がない、遊び場がほしい」というおとなたちの声があり、内容として車からの安全、不審者からの安全などを求めています。これは日本の中で起きている社会現象で、この状態は行政だけでは解決できるものでなく私たち一人ひとり、子どもたち自身も遊べる環境を考えていなくてはと強く思いました。そんな思いをこめてただ今、情報発信隊では『子育てわくわくマップ2改訂版』を発行するため準備をしています。引き続きこのマップの情報を元にまちに出て、人と出会い子どもがいるからこそ味わえる楽しいこと嬉しいことを自分たち自身でいっぱい感じて欲しいと思っています。

【山増智子 いるま子育て情報発信隊】

「アンケートを取ろう!!」と言い出したとき、正直「ゲゲッ!」と思いました。フェスティバルの催し等の動き出しが8月、開催が12/3と3ヶ月程度しかないので、無理があると感じたからです。けれども、やる気のある市民パワーでそこを何とか乗り切るのが生涯学習フェスティバルの良い所(?)でもあります。実際、集計結果を開催当日に展示し、多くの方に見てもらえたのですから…。

しかし、これからがこのアンケートの本領発揮です。このアンケートは子育てや教育に関わる様々な団体や施設等に配布し、個々の活動や事業、計画に役立て貰うために実施したものですから、この報告書をどのように料理されるのか、入間市の子どもたちとそれを取り巻く環境がどのようになるのか、楽

しみです。

【芦沢早苗 生涯学習課 生涯学習文化財担当】

このアンケートを始める前に、いくつかの「予想」を立てていた。結果としてその予想通りだったのが、「ゲーム遊び」の多さだ。そして「ゲーム遊び」から「メール」へと、中学生になるとさらに変化していく子どもたちの遊びの世界が、今回浮き彫りになった。

もちろん、すべての子どもがゲームだけで遊んでいるわけではないし、外遊びも子どもたちは楽しんでいるようだ。

ただ、どの年代にでも共通していたのが、異年齢のかかわりが少ないことだ。

いつでも気楽にいけば誰かしら人が遊んでいる、という「広場」がなくなっている。それは単に「場所」がなくなっているからではなく、「安全で、安心して遊べる場所」を求める大人の意識が、「広場」そのものを失わせているようにも感じられた。

今年度入間おやこ劇場では、文部科学省の委託事業である地域子ども教室推進事業に取り組んできた。東町公民館の協力をいただき週に1回、その名も「ごろごろ」。放課後の子どもたちが遊び心を全開にして、思い思いの遊びを展開しているこの場は、アンケートの結果にあった「近くて、雨の日でも遊べる、安全な場所」そのものだし、今の時代にあった「広場」なのだと思う。

こういった場所が市内のあちこちに作れたら、どんなに素敵だろうと思う。

そのためには子どものこと、子育てのことを話せる仲間を地域の中にもっともっと広げていくことが大事だし、そのことがこのアンケート結果を活かすことにつながるのだと思う。

【野田あさ子 入間おやこ劇場】

皆さんと一緒にこの催しに参加でき、集計など大変だけれど楽しかったです。

大変大きな仕事に参加したと自負しています。しかし、分析作業など 大変な部分は関谷さんなど他の方々にしていただいたので、感謝、感謝です。

【渡辺徹也 児童福祉課】

遊び相手に関して異年齢の遊び場がないこと、遊びの種類が自転車やゲームになっていることから、今の子どもに本来の遊び場が必要であると感じました。

【羽田二郎 あんず幼稚園】

放課後の子どもたちには、学校の空き教室、公民館など、場所を提供してもらえる場所で、地域の大人がボランティアで遊び場をつくるというのはどうでしょうか？みんなでアンケートを元に知恵を出し合って、実現に努力していきましょう。

【亀谷蓉子 NPO法人子育て広場あいくる】

